Pioneer sound.vision.soul

DVD/CD MD ミニコンポーネントシステム

X-MF7DV-M/-C

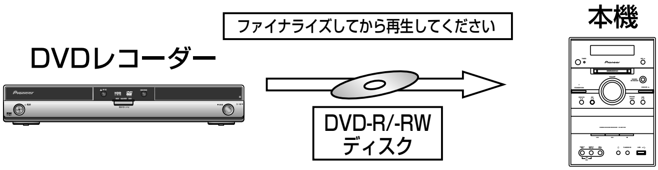
DVD VIDEO　COMPACT disc DIGITAL VIDEO　COMPACT disc DIGITAL AUDIO　Mini Disc　MDLP

DVD ビデオのリージョン番号

DVDプレーヤーとDVDビデオディスクには発売地域ごとにリージョンNo.(地域番号)が設けられています。海外で購入したDVDビデオディスクは、リージョンNo.の違いにより再生できない場合があります。本機のリージョンNo.は「2」です。

再生できるDVDビデオディスクのリージョン表示の例：2　ALL　1 2 4　など

DVDレコーダーをお持ちのお客様へ



※DVDレコーダーでビデオモード記録したDVD-R/-RWディスクを本機で再生するときは、
ファイナライズ（録画終了処理）してください。

インターネットによるお客様登録のお願い

http://www.pioneer.co.jp/support/

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。弊社では、お買い上げいただいたお客様に「お客様登録」をお願いしています。上記アドレスからご登録いただくと、ご使用の製品についての重要なお知らせなどをお届けいたします。なお、上記アドレスは、困ったときのよくある質問や各種お問い合わせ先の案内、カタログや取扱説明書の閲覧など、お客様のお役に立てるサービスの提供を目的としたページです。

RW COMPATIBLE

取扱説明書

安全上のご注意

●安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
●ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

⚠ 警告

異常時の処置

- 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置

- 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- 放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、またラックに入れる時はすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
→あおむけや横倒し、逆さまにする。
→押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
→じゅうたんやふとんの上に置く。
→テーブルクロスなどをかける。

- **着脱式の電源コード(インレットタイプ)が付属している場合のご注意:**
  付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

使用環境

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
- 風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 表示された電源電圧(交流100ボルト50 Hz/60 Hz)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法

- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物をおかないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- ぬれた手で(電源)プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店に交換をご依頼ください。
- 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

設置

- 電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。
- 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- キャスター付きの場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、おのおのの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。
- 電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

異常時の処置

- 本機の上にテレビを置かないでください。放熱や通風が妨げられて、火災や故障の原因となることがあります。(取扱説明書でテレビの設置を認めている機器は除きます。)

- 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

- 本機の上にテレビやオーディオ機器を載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。重い場合は、持ち運びは2人以上で行ってください。

- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

使用方法

- ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。

- レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

手を挟まれないよう注意

- お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。

- ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

- 旅行などで長期間ご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電池

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示(プラス(+)マイナス(−)の向き)に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 長時間使用しない時は、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また万一、もれた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。

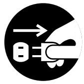
- 電池は加熱したり分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

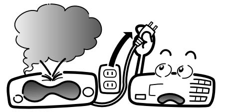
保守・点検

- 5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

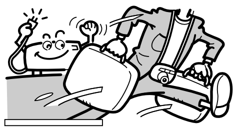
- お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

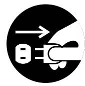
● 電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ（遮断装置）を抜く必要があります。万一の事故に備え、本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグ（遮断装置）に容易に手が届くように設置してください。





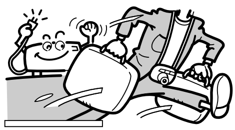
● 機器本体のSTANDBY/ONボタンで電源を切っても、電源の供給は停止しません。電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ（遮断装置）を抜く必要があります。旅行などで長期間、この製品をご使用にならないときには安全のため必ず電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

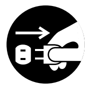




⚠ 注意

● 表示部が消えていても電源の供給は停止しません。電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ（遮断装置）を抜く必要があります。旅行などで長期間、この製品をご使用にならないときには安全のため必ず電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。





禁止

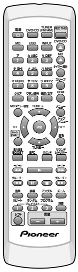
● 付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

本機の放熱について

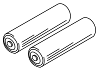
● 本機を設置する場合には、壁から１０ｃｍ以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置してください。ラックなどに入れるときには、本機の天面から１０ｃｍ以上、背面から１０ｃｍ以上、側面から１０ｃｍ以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

付属品を確認する

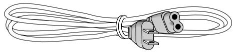
- リモコン × 1



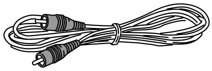
- 単３形乾電池※ × 2
  （AA/R6）
  ※動作確認用



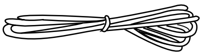
- 電源コード (2 m)× 1



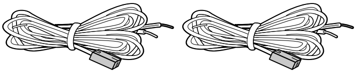
- ビデオコード (1.5 m)× 1



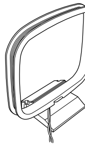
- FM 簡易アンテナ (1.4 m)×1



- スピーカーコード * × 2



- AM ループアンテナ × 1
  （図は組み立てた状態です。）



- 滑り止めパッド * × 8

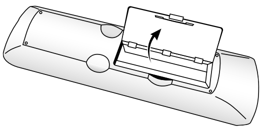


＊ スピーカー部と一緒に梱包されています

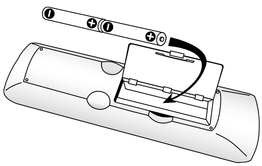
- 保証書
- 取扱説明書

リモコンに電池を入れる

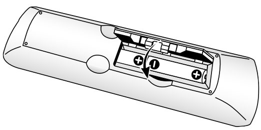
1. 裏ブタのタブを押しながら矢印の方向へ開きます。



2. ケース内に表記されている極性⊕(プラス)/⊖(マイナス)を合わせて、乾電池を正しく入れます。



3. 裏ブタを矢印の方向に閉めます。



注 意

乾電池を誤って使用すると液漏れや破裂などの危険があります。次の点についてご注意ください。(電池に記載されている注意事項もあわせてご覧ください。)

◆ 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを電池ケースの表示どおりに正しく入れてください。
◆ 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
◆ 乾電池には同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
◆ 長い間（1 か月以上）使用しないときは電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
◆ 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

もくじ

1 はじめに

2 再生

3 録音する

4 ラジオを聞く

5 ディスクの再生

6 MDを使う

7 画質調整

8 いろいろな音色を楽しむ

9 タイマーを使う

10 DVDの初期設定

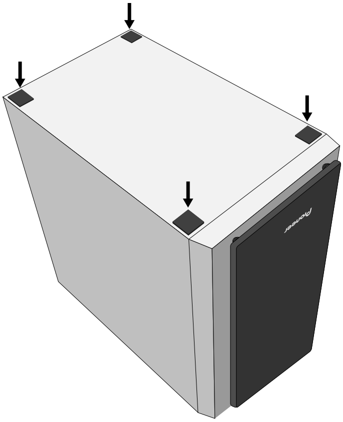
11 システムの設定

12 他機器の接続と設定

13 その他

スピーカーに滑り止めを貼る

左右のスピーカーの底面の角４カ所に付属の滑り止めパッドを貼り付けます。



スピーカーの設置

- 左右に置いたスピーカーはテレビからは等距離になるように設置してください。
- 本機は、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステムですが、まれに設置のしかたによっては、色むらが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15分から30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色むらを発生するような場合には、スピーカーをさらに離してご使用ください。近くに磁石や磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色むらを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。
- スピーカーを壁に掛けたり、天井に吊るしたりして使用しないでください。スピーカーが落下してケガをしたり、スピーカーを破損する原因となります。また、棚の上などの高い場所にも設置しないでください。本機のスピーカーの前面グリルは取り外すことができるため、しっかりと取り付けられていないとグリルが外れて落ちたときにケガの原因になることがあります。

スピーカーグリルの着脱

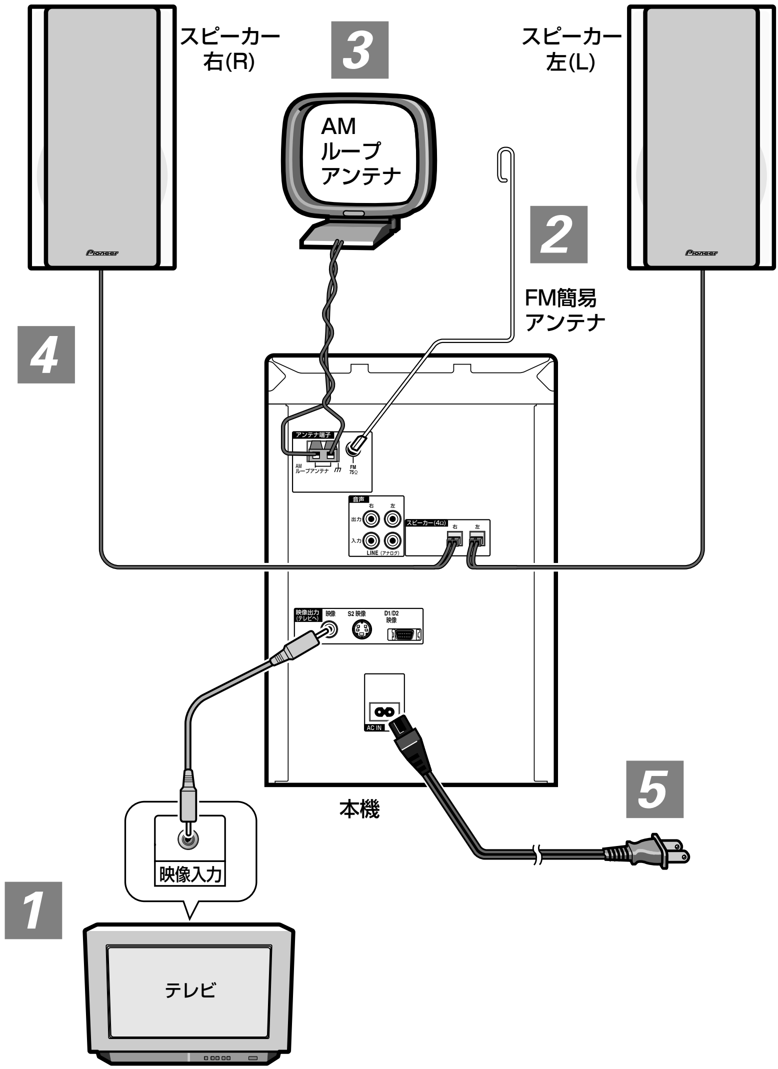
本機のスピーカーは前面のグリルを取り外すことができます。グリルを着脱するときは、次のように行ってください。

1 グリルの下側を両手で持ち、手前に軽く引っ張ってグリルの下側を外します。
2 同じように、グリルの上側を手前に引っ張り、グリルを本体から外します。
3 取り付けるときは、グリルの上側および下側にあるキャッチ部を本体の突起部に合わせて、押し込みます。

注 意

◆ スピーカーを保護するため、グリルは外したままにしないでください。

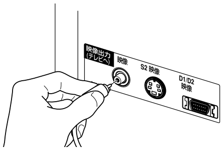
- アンテナは必ず接続してください。アンテナを接続しないと FM/AM 放送が受信できません。
- 接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源コードを抜いてください。また、電源コードはすべての接続が終わってから壁のコンセントへ接続してください。
- 本機とテレビの接続を行うときは、必ずテレビの電源を切ってから接続してください。
- 本機に外部機器を接続する場合は、93 ページを参照してください。



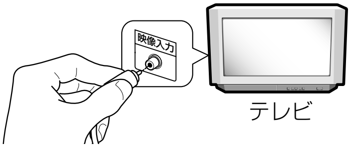
⚠ ● スピーカーは本機のスピーカーをご使用ください。

1 テレビと接続します

①付属のビデオコード（黄色のプラグ）を本機の映像出力端子に接続します。



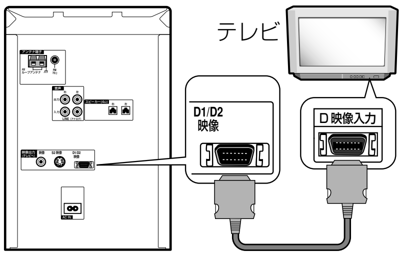
②ビデオコード（黄色のプラグ）の反対側をテレビの映像入力端子(VIDEO IN)に接続します。



より鮮明な映像でテレビを見るためには

D 映像入力端子付きテレビの場合

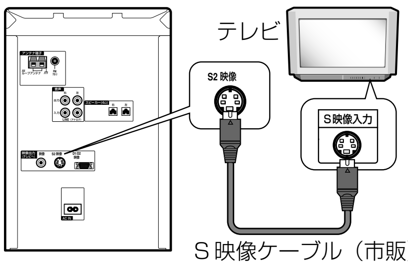
市販のD映像ケーブルで接続します。
本機の高品位な映像品質を楽しむときに最も適した接続です。本機のD1/D2端子は、テレビのD1、D2、D3、D4のいずれの入力端子にも接続することができます。



D4 映像ケーブル（市販）

S 映像入力端子付きテレビの場合

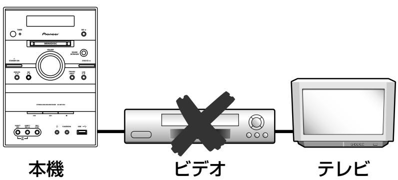
市販のＳ映像ケーブルで接続します。付属の映像ケーブルを使った接続より高品位な映像です。



S 映像ケーブル（市販）

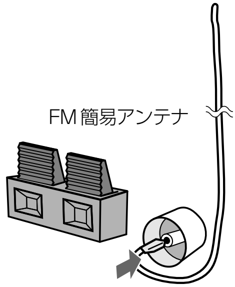
注 意

◆ **本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。**
本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、本機をビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。また、本機をビデオ内蔵テレビに接続すると、コピーガードによって正常な再生ができないことがあります。詳しくはお使いのテレビメーカーにお問い合わせください。



2 FM簡易アンテナを接続します

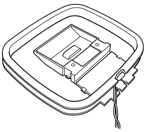
FM簡易アンテナは、中央のピンに差し込んで使用します。
またFM簡易アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないで最も良い受信状態が得られるように、ピンと張っておきます。



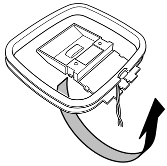
3 AMループアンテナを組み立ててから接続します

組み立て

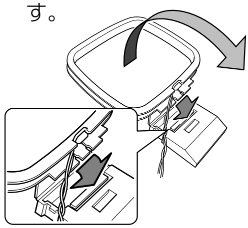
① **コードがねじれて巻かれている部分まで**をほどきます。



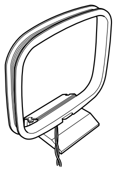
② 台を外側に出します。



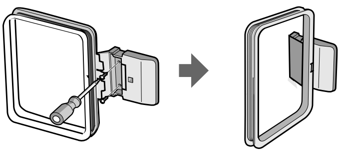
③ 突起部を溝にはめ込みます。



④ 組み立ては完成です。

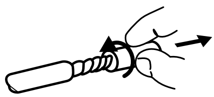


壁に取り付けるには....
ネジや画びょうなどを使って壁に取り付けてから組み立てます。

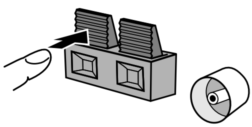


接続

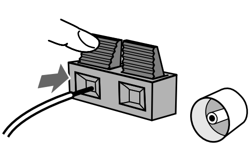
① アンテナコードの先端の被覆を、ねじりながら引き抜きます。



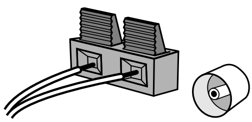
② 指でアンテナ端子のレバーを押します。



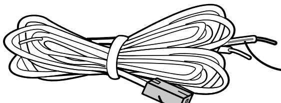
③ コードの先端を端子に挿入し、端子のレバーを押さえていた指を離します。



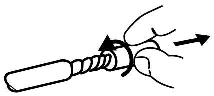
④ もう一方のコードも同様に、端子に接続します。



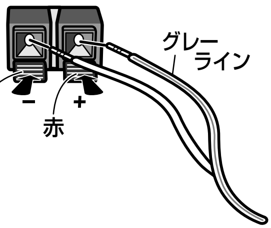
4 スピーカーコードを接続します



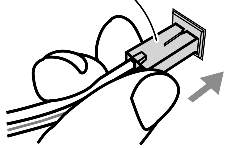
① スピーカーコードのコネクターが付いていない方の先端の被覆を、ねじりながら引き抜きます。



② スピーカー側の端子については、スピーカー端子のツメを押しながら芯線を端子に差し込みます。
スピーカーコードのグレーラインのあるほうを端子の赤側（⊕側）に接続します。グレーラインのないスピーカーコードは黒い端子の⊖側に接続します。



③ 本機のスピーカー端子へスピーカーコードのコネクターを差し込みます。コネクターの向きを確認して、ロックがかかるまでしっかりと奥まで差し込んでください。

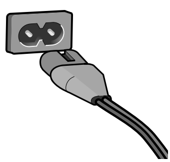


注 意

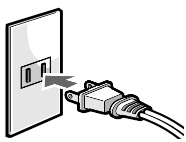
◆ スピーカーコードの芯線がはみ出して、芯線どうしが触れたりすると本機に過大な負荷が加わって動作が停止したり、故障することがあります。

5 電源コードを本体と壁のコンセントへ差し込みます

①電源コードを本機のAC インレットに差し込みます。



②電源コードのプラグ部を壁のコンセントに接続します。
はじめて電源コードをコンセントにつないだ時はデモモードになります。詳しくは21ページをご覧ください。

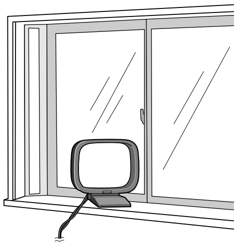


アンテナ接続について

アンテナ端子のアースマーク(⏚)はアンテナを接続した場合の雑音低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

AM ループアンテナ：

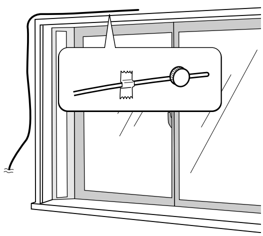
- 平らな面に置き、受信状態の最も良い方向に向けてください。
- アンテナは、本機から離して金属物と接触しない場所に置いてください。また、パソコン、テレビなどからもできるだけ離してください。ノイズの原因となります。
- 壁などに取り付ける場合は、AM放送の受信状態が最も良い方向を見つけ、取り付け位置を決めてください。



- できるだけ窓の近くに置くなど、置く位置や向きを変えて受信しやすい状態を探してください。

FM 簡易アンテナ：

- 付属のFM簡易アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないでピンと張ってください。
- 受信状態の良い方向が決まったら、画びょうやテープで貼り付けます。

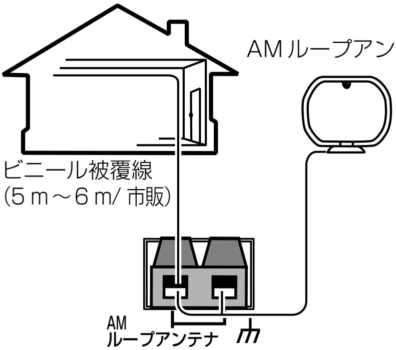


- 付属のFM簡易アンテナは、FM放送を手軽に受信するためのものです。より良い受信のためには、市販の屋外アンテナの使用をお勧めします。

付属アンテナでよく聞こえないとき

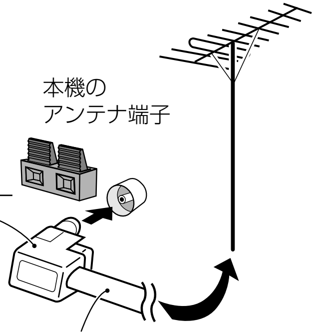
AM 外部アンテナをつなぐ

- AM 外部アンテナ（市販のビニール被覆線）を下図のように接続してください。

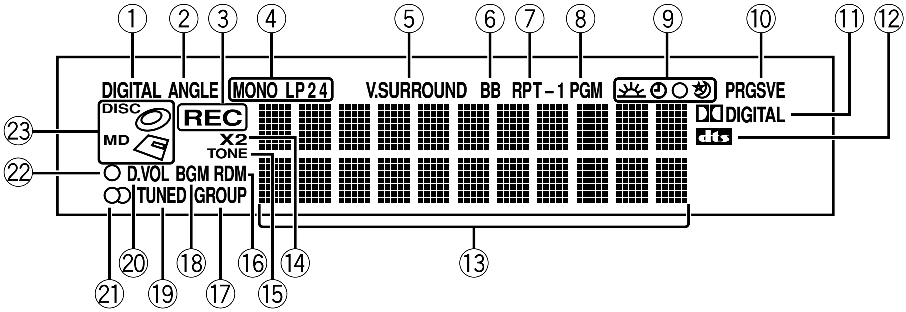


FM 屋外アンテナをつなぐ

- 市販のFM屋外アンテナを接続するには、市販の同軸ケーブルと変換アダプターを使って、下図のように接続してください。



表示部



① CDからMDへの録音の設定で、デジタル録音が設定されていると点灯します。（101ページ参照）

② DVDソフトを再生中、アングルを変更できる場面で点灯します。（50ページ参照）

③ 録音中に点灯します。

④ MDのステレオ長時間録音（LP2モード）設定時に[LP2]と点灯します。

MDのステレオ長時間録音（LP4モード）設定時に[LP4]と点灯します。

MDのモノラル長時間録音設定時に[MONO LP]と点灯します。

⑤ バーチャルサラウンドモードをオンに設定しているときに点灯します。（75ページ参照）

⑥ BASS BOOSTモードをオンに設定しているときに点灯します。（77ページ参照）

⑦ タイトル/ディスクリピート再生時には[RPT]と点灯し、チャプター/トラック（1曲）リピート再生時は、[RPT-1]と点灯します。（40、53ページ参照）

⑧ プログラム設定時、または再生時に点灯します。（42、54ページ参照）

⑨ [☀] ― 目覚ましタイマー設定時に点灯します。また、目覚ましタイマー動作時に点滅します。（78ページ参照）

[◷] ― 目覚ましタイマー、タイマー録音設定時と動作時に点灯します。（78、81ページ参照）

[○] ― タイマー録音設定時に点灯します。また、タイマー録音動作時に点滅します。（81ページ参照）

[☾] ― スリープタイマー設定時に点灯します。（84ページ参照）

⑩ D2映像出力でプログレッシブが選択されているときに点灯します。（86ページ参照）

⑪ ドルビーデジタル信号を再生しているときに点灯します。

⑫ DTS信号を再生しているときに点灯します。

⑬ 文字や数字を表示します。

⑭ 2倍速録音中に点灯します。

⑮ 高音（Treble）や低音（Bass）の設定が0以外のときや、SFCをオンにしているときに点灯します。（76ページ参照）

⑯ ランダム再生時に点灯します。（41、53ページ参照）

⑰ MDのグループ再生機能にて、グループプレイが設定されていると点灯します。（71ページ参照）

⑱ BGMモード時に点灯します。（52ページ参照）

⑲ FM/AM放送受信時に点灯します。

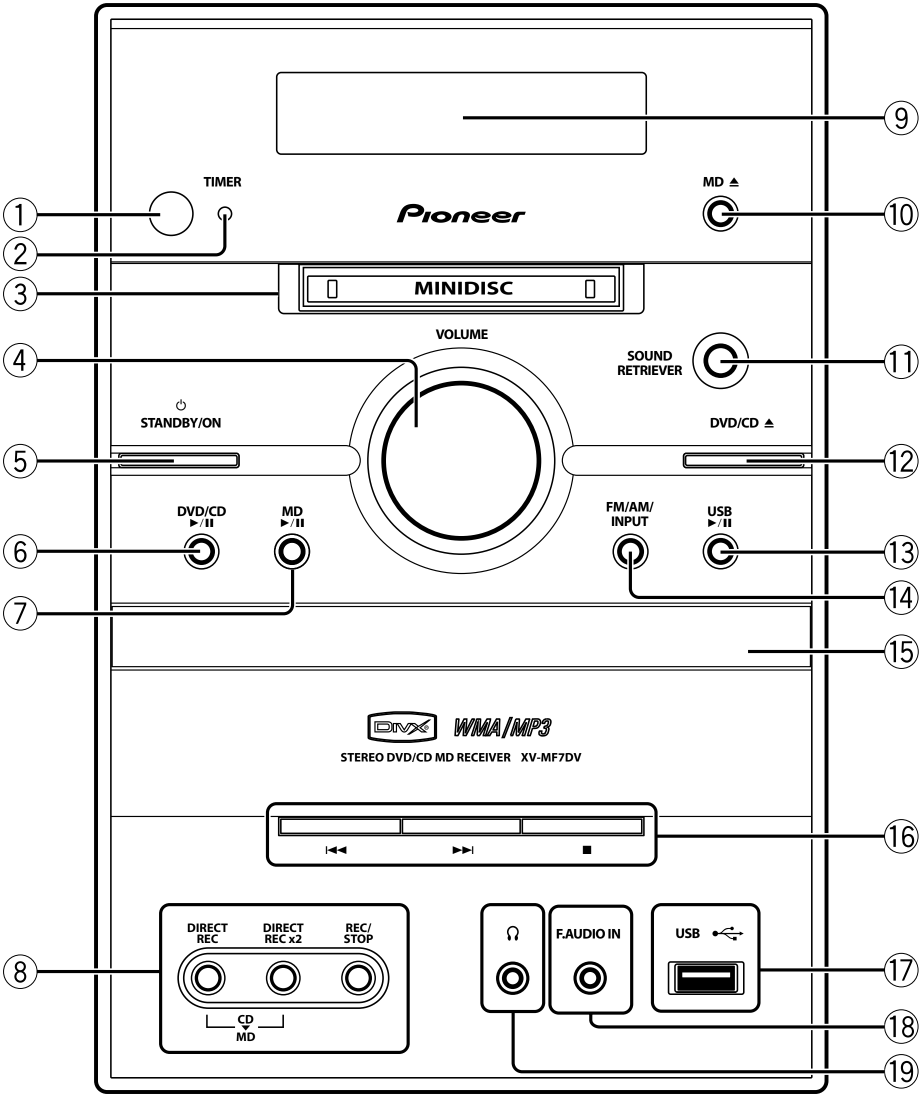
⑳ デジタル録音レベルを0 dB以外に設定すると点灯します。（57ページ参照）

㉑ FM放送でステレオ受信しているときに点灯します。

㉒ FM放送の受信設定をモノラルに設定すると点灯します。（35ページ参照）

㉓ 再生可能なディスクの挿入中に点灯します。

本体



液晶表示素子(LCD)について

本機で使用している液晶表示素子は、温度により色が変化する性質を持っています。室温の高い部屋や大音量で長時間動作させた場合に色調が灰色に変化することがありますが、温度が下がれば元に戻りますので安心してご使用ください。

① リモコン受光部

- 約 7 m 左右 30°以内の距離からここに向けて操作してください。
- 直射日光や蛍光灯の強い光が直接リモコン受光部に当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えるか、蛍光灯から離してください。

② タイマーインジケーター

目覚ましタイマー/タイマー録音が設定されていると点灯します。（電源オフ時のみ）

③ MD挿入部

④ VOLUME（音量調節）つまみ

⑤ ⏻STANDBY/ONボタン

押すと電源が入ります。もう一度押すとスタンバイ状態になり、本体表示部が消灯します。

⑥ DVD/CD▶/❚❚ボタン

ディスクを再生したり、一時停止します。

⑦ MD▶/❚❚ボタン

MD を再生したり、一時停止します。

⑧ ダイレクト録音ボタン(32、55ページ)

CD を自動で MD へ録音します。
× 2 は 2 倍速で録音します。

REC/STOPボタン(55ページ)

MD の録音を開始したり停止したりします。

⑨ 表示窓

⑩ MD⏏ボタン

MD を取り出します。

⑪ SOUND RETRIEVER（サウンドレトリバー）ボタン

サウンドレトリバー機能の切り換えを行うときに使用します。使用しているときは点灯します。

⑫ DVD/CD⏏ボタン

ディスクテーブルを開閉します。

⑬ USB▶/❚❚ボタン

本機に接続したUSBメモリーを再生したり、一時停止します。

⑭ FM/AM/INPUTボタン

押すたびに入力が切り換わります。下記の入力が表示窓に表示されます。

TUNER

FM・AM 放送を聞くときに合わせます。

F. Audio In

本機の F. AUDIO IN 端子に接続した外部機器の音を聞くときに合わせます。

Line

本機のLINE入力に接続した外部機器の音を聞くときに合わせます。

⑮ ディスクテーブル（23ページ）

⑯ ⏮ ⏭ ボタン

タイトル/チャプター/トラックを頭出しします。

■ ボタン

停止します。

⑰ USB 端子（29 ページ）

USB メモリーを接続します。

⑱ F. AUDIO IN端子（93ページ）

外部機器を接続するための入力端子です。接続すると自動的に入力が切り換わります（MD録音中を除く）。直径3.5 Φステレオミニプラグ付のケーブルをお使いください。

⑲ ヘッドホン端子

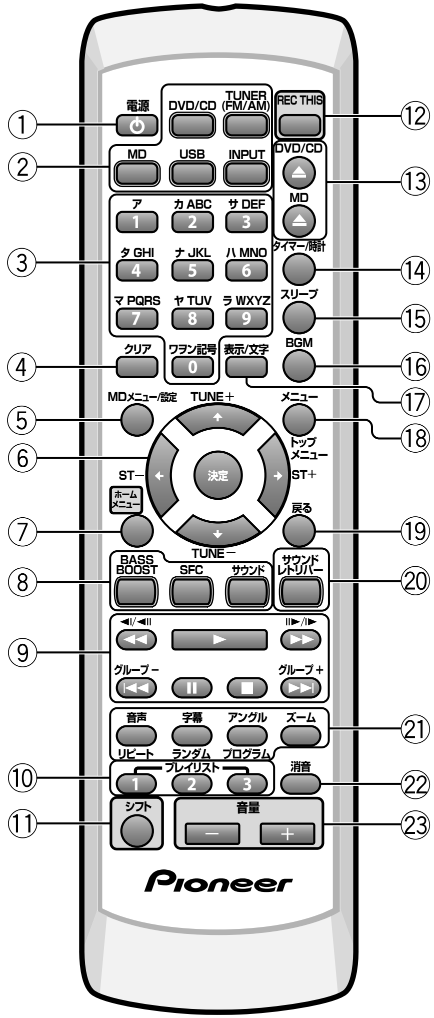
市販のヘッドホンを接続します。

インピーダンス16 Ω〜50 Ω（推奨32 Ω)、直径3.5 Φステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。
ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は出ません。

注 意

◆ 表示部が消えていても電源の供給は停止しません。電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ（遮断装置）を抜く必要があります。旅行などで長期間、この製品をご使用にならないときには安全のため必ず電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜いてください。火災の原因になることがあります。

リモコン



① ⏻電源ボタン

押すと電源が入ります。もう一度押すとスタンバイ状態になり、本体表示部が消灯します。

② 以下の5つのボタンを押すと、スタンバイ時でも電源がオンになります。また、ラジオ放送やディスクがセットされている場合は、再生を開始します。

DVD/CDボタン

DVD や CD を再生したり、一時停止します。

TUNER(FM/AM)ボタン

FM・AM 放送を聞いたり、記憶した放送局を呼び出すときに使用します。

MDボタン

MD を再生したり、一時停止します。

USBボタン

本機に接続したUSBメモリーを再生したり、一時停止するときに使用します。

INPUTボタン

本体後面部のLINE入力端子や前面部のF. AUDIO IN端子の音を聞くときに使用します。

③ 文字/数字ボタン

見たい / 聞きたいタイトル / チャプター / トラックを指定します。

また、文字を入力するときや、メニュー画面で項目を選択するときにも使用します。

④ クリアボタン

⑤ MDメニュー/設定ボタン

MD設定や本体設定などの各種設定に使用します。

⑥ ⇧ ⇩ ⇦ ⇨/ 決定ボタン

項目の選択や変更、または DVD などのメニューや設定画面で、カーソルを上下左右に移動します。

TUNE＋/−ボタン（35ページ）

ST＋/−ボタン（35～37ページ）

⑦ ホームメニューボタン

ホームメニュー画面を表示します。もう一度押すともとの画面に戻ります。

⑧ BASS BOOSTボタン（77ページ）

SFC(サウンドフィールドコントロール)ボタン（76ページ）

サウンドボタン（76ページ）

音質を調整するときに使用します。

⑨ ►ボタン

ディスクや MD、USB メモリーを再生するときに使用します。

■ ボタン
ディスクや MD、USB メモリーを停止するときに使用します。

II ボタン
ディスクや MD、USB メモリーを一時停止するときに使用します。

◀◀/◀I/◀II ボタン（26～27、30ページ）

▶▶/II▶/I▶ ボタン（26～27、30ページ）
ディスク再生中は映像や音声の早送り / 早戻しをします。一時停止中に押すとコマ送り/コマ戻し再生を行い、押し続けるとスロー再生をします。MD 再生中や一時停止中は、音声の早送り / 早戻しをします。

I◀◀ ▶▶I ボタン
タイトル / チャプター / トラックを頭出しします。

グループサーチボタン（27、69～70ページ）
シフトボタンを押しながら使用します。グループ登録された MD のグループの頭出しをするときに使用します。

⑩ プレイリスト1/2/3ボタン(47ページ)
お好みのファイルをプレイリストに登録するときに使用します。

⑪ シフトボタン

⑫ REC THISボタン（33ページ）
今聞いている CD(R/RW) の曲を、MD に録音します。

⑬ DVD/CD ⏏ ボタン
ディスクテーブルを開閉します。

MD ⏏ ボタン
MD を取り出します。

⑭ タイマー/時計ボタン（22、78～83ページ）
現在の時刻を見るときに使用します。また、時計の時刻を合わせたり、目覚ましタイマーやタイマー録音を設定します。

⑮ スリープボタン（84ページ）
スリープタイマーの設定を行います。

⑯ BGMボタン（52ページ）
BGM モードの設定を行います。

⑰ 表示/文字ボタン（51、60ページ）
表示や文字入力の種類を切り換えます。

⑱ メニューボタン
ディスクまたは USB メモリーのメニュー画面を表示するときに使用します。また、WMA/MP3 MPEG-4 AAC JPEG VR DVD-R/RW Video CD DivX® では、ナビゲーター画面を表示するときに使用します。

トップメニューボタン
シフトボタンを押しながら使用します。DVD ソフトの最上層のメニュー画面を表示します。

⑲ 戻るボタン
DVDの初期設定画面やメニュー画面が表示されているときに押すと、1つ前の項目に戻ります。

⑳ サウンドレトリバーボタン(77ページ)
サウンドレトリバー機能の切り換えを行うときに使用します。

㉑ 音声ボタン（50ページ）
言語、または音声を切り換えます。

字幕ボタン（49ページ）
DVD の字幕言語を切り換えます。

アングルボタン（50ページ）
DVD のアングルを切り換えます。

ズームボタン（49ページ）
映像を拡大します。

リピートボタン（40、53ページ）
シフトボタンを押しながら使用します。

ランダムボタン（41、53ページ）
シフトボタンを押しながら使用します。

プログラムボタン（42、 54ページ）
シフトボタンを押しながら使用します。

㉒ 消音ボタン
音を一時的に消す（ミュートする）ときに押します。もう一度押すとミュートは解除され、消音する前の音量に戻ります。

㉓ 音量ボタン

はじめに 1 再生できるディスクの種類

・本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
・下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

DVD	市販ディスク		DVD-R	DVD-RW
CD	ビデオCD	CD	CD-R	CD-RW
フジカラーCD	FUJICOLOR CD COMPATIBLE	FUJICOLOR CD COMPATIBLE	：このマークは、富士写真フイルム(株)の商標です。	
コダックピクチャーCD				

は DVD フォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。

コピーコントロール CD について
当製品は音楽 CD 規格に準拠して設計されています。CD 規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

本機で再生できないディスクの種類
DVD オーディオ、DVD-RAM、SACD、CD-G、リージョン No. が「**2**」「**ALL**」以外の DVD ビデオなど

DVD レコーダーなどで記録したディスクについて
- DVDビデオフォーマットまたはVRモードで記録されたDVD-R/RW/R DL（2層ディスク）を再生することができます。
- DVDビデオフォーマットで記録されたDVD+R/RW/R DL（2層ディスク）を再生することができます。

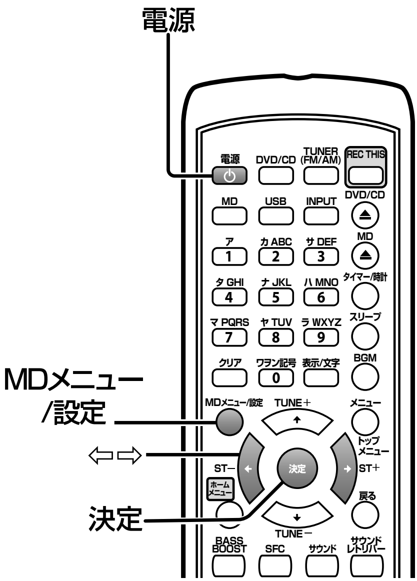
本文中の表記について

この取扱説明書では、本文中に記号が記載されています。記号には次のような意味があります。

- **DVD-Video** 市販のDVDビデオ、またはビデオモードで記録されたDVD-R/RW/R DL（2層ディスク）および DVD+R/RW/R DL（2 層ディスク）
- **VR DVD-R/RW** VR モードで記録された DVD-R/RW、DVD-R DL（2 層ディスク）
- **Video CD** ビデオ CD
- **CD(R/RW)** 市販の音楽用 CD、または CDDA フォーマットで音楽が記録された CD-R/RW
- **WMA/MP3** WMAまたはMP3ファイルが記録されたDVD-R/RW、CD-R/RW、USBメモリー
- **MPEG-4 AAC** MPEG-4 AACファイルが記録されたDVD-R/RW、CD-R/RW、USBメモリー
- **JPEG** JPEG ファイルが記録された DVD-R/RW、CD-R/RW、USB メモリー
- **DivX®** DivX ファイルが記録された DVD-R/RW、CD-R/RW
- **MD** MD

デモ表示を解除する

電源コードをコンセントに差し込んだときなど、表示部にいろいろな表示を自動的に行うことを、デモ表示といいます。
お買い上げ時は、“Demo On”に設定されています。



一時的にデモ表示を解除するには

リモコンや本体のいずれかのボタンを押します

デモ表示を一時的に解除します。この場合は、以下のときに再びデモ表示を行います。

- 電源プラグをコンセントに差し込んだとき
- DVD、CD、MDの再生や録音が終了して5分以上何も操作をしないとき（オートデモ）
- 停電したあと

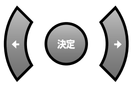
デモ表示をしないように設定するには

1. 

⏻ 電源ボタンを押して電源をオフにします

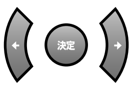
2. 

MDメニュー/設定ボタンを押します

3. 

⇦ ⇨で“Demo Mode”にして、決定ボタンを押します

Demo Mode

4. 

⇦ ⇨で“Demo Off”にして、決定ボタンを押します

電源がオフになりデモ表示が解除されます。再びデモ表示を設定する場合は、“Demo On”にしてから**決定ボタン**を押します。

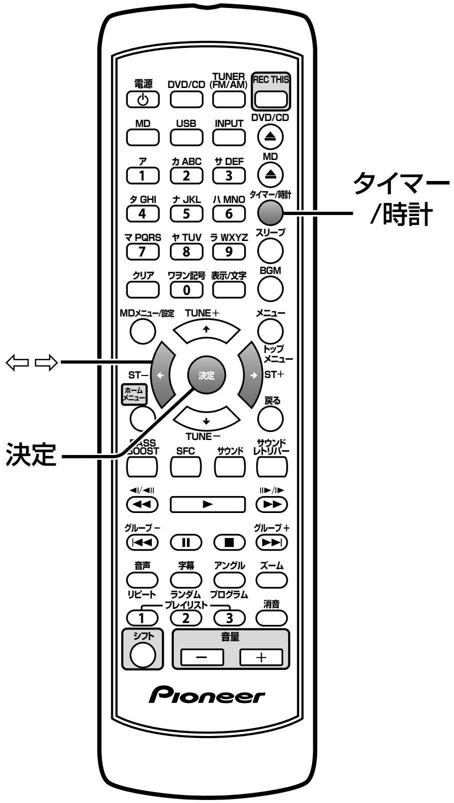
注 意

◆ デモ表示を解除した場合でも、電源コードを抜いたり停電した状態が長時間続くと、再度電源コードをコンセントに差したり通電が再開したときに、デモ表示をする場合があります。
◆ 初期化するとデモ表示を行います。（111 ページ参照）

Q&A

Q ： デモ表示をしない！
→ 22ページで時刻を設定すると、オートデモ表示を行いません。

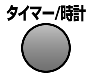
時計を合わせる



お買い上げ時の時計表示は、12 時間表示です。時計を合わせていないと、タイマー設定や動作（78〜84ページ参照）を行うことはできません。また、時計表示を 24 時間表示に切り換えることもできます。（92 ページ参照）

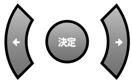
例）日曜日の午後 6 時 40 分に合わせる場合

1. リモコンのタイマー / 時計ボタンを押します



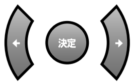
すでに時計を設定している場合は、時計表示中にもう一度**タイマー / 時計ボタン**を押してください。

2. ⇦ ⇨ で “Clock Adj.” を選んで、決定ボタンを押します



Clock Adj.

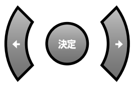
3. ⇦ ⇨ で「曜日」を合わせて、決定ボタンを押します



例の場合は、“Sun” にします。

Sun 6 : 00 pm

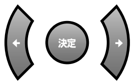
4. ⇦ ⇨ で「時」を合わせて、決定ボタンを押します



例の場合は、“6 pm” にします。

Sun 6 : 00 pm

5. ⇦ ⇨ で「分」を合わせて、決定ボタンを押します



例の場合は、“40” にします。

Sun 6 : 40 pm

「分」が入力され、時計の設定が終了しました。

時計を確認するには



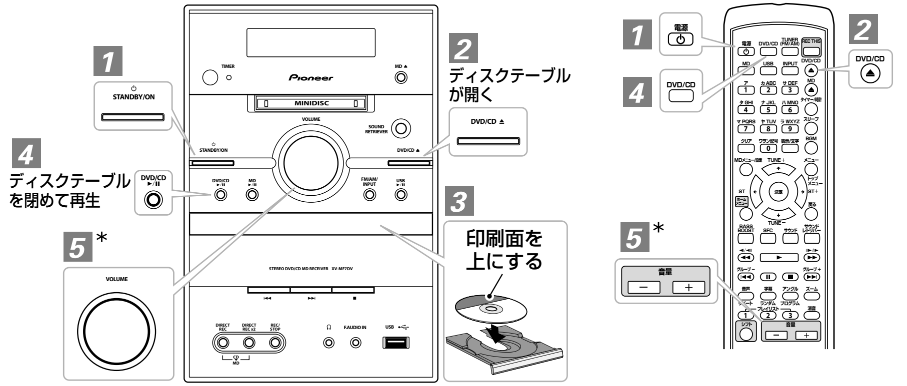
タイマー / 時計ボタンを押します

時計を 5 秒間表示します。
電源がオフ（スタンバイ状態）の場合でも、表示部が点灯して、5 秒間時計の表示をします。
時計合わせを行っていない場合は、時計を確認することができません。
停電したり、電源コードを抜くと、時計合わせが無効になります。再度時計合わせを行ってください。

はじめに 1 ディスクを再生する

あらかじめテレビの電源を入れて、テレビの入力を切り換えておいてください。

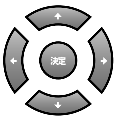
手順番号に沿って操作して再生してください。



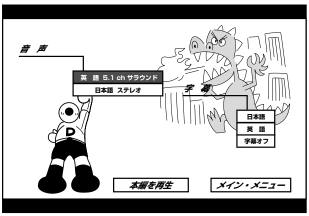
＊お好みの音量に調節してください。

メニュー画面が表示されたら

再生を始めると最初にメニュー画面を表示するDVDがあります。メニュー画面の内容や操作方法はDVDによって異なりますが、基本的な操作は以下のとおりです。



リモコンの ⇧⇩⇦⇨ で選択して決定ボタンで決定します



メ モ

- ▼ 画面の上下に帯がつくDVDがあります。本機の故障ではありません。
- ▼ DVDのメニューによっては、リモコンの**数字ボタン**で番号を選んで再生できるものもあります。

止めたところから再生する（リジューム / ラストメモリー機能）

DVD-Video VR DVD-R/RW Video CD CD(R/RW) DivX® では、本体の表示窓に“Resume”と表示され、停止したところを記憶します。

■ボタンを押してディスクを停止するとその場所を記憶するので、次回は続きから再生を開始します(リジューム機能)。また、ディスクを取り出してもDVD5枚、ビデオCD1枚分の停止した場所を記憶しています(ラストメモリー機能)。次回、そのディスクを入れると、取り出す前に停止した場所から再生を始めます。停止中に**■ボタン**をもう一回押すと、リジューム機能またはラストメモリー機能が解除され、次に再生するときはディスクの最初から開始します。

メ モ

- ▼ リジューム機能は、ディスクを取り出すと解除されます。また、電源を切ったり、入力をDVD/CD以外に切り換えたときも解除されます。
- ▼ VR DVD-R/RW CD(R/RW) DivX® では、ラストメモリー機能が働きません。
- ▼ ラストメモリー機能では、別のディスクを記憶すると、ビデオCDでは前のディスクのメモリー、DVDでは一番古いディスクのメモリーが消去されます。
- ▼ ラストメモリーを記憶させたくない場合は、**■ボタン**を押さずに**▲ボタン**でディスクを停止して、取り出してください。

電源を切る

電源

本体の⏻STANDBY/ONボタンまたはリモコンの電源ボタンを押します

メ モ

▼ 電源コードをコンセントから抜くときは、本体表示窓の“See you!”表示が消えていることを確認してください。“See you!”表示中に抜くと本機の設定がお買い上げ時の設定に戻ることがあります。

Q&A

Q1:電源が入らない！

→ 電源コードが正しくコンセントに接続されていますか？（13 ページ参照）

Q2:映像が映らない！

→ ビデオコード(黄)が正しくテレビに接続されていますか？（11 ページ参照）

→ テレビの入力切換を合わせましたか？テレビ側を操作して接続した入力に合わせてください。

→ プログレッシブ対応していないテレビに接続しているときに**[プログレッシブ]**を選択していませんか？（表示窓の**[PRGSVE]** が点灯していませんか？）。86ページを参照して、**[インターレース]**に切り換えてください。

Q3:リモコンで操作できない！

→ 本体との距離が離れすぎていませんか？約 7 m の範囲でのみ操作することができます。

→ リモコンをテレビに向けて操作していませんか？本体のリモコン受光部に向けて操作してください（16 ページ参照）。

→ 本機を蛍光灯の近くに設置していませんか？蛍光灯から離れた場所に設置してください。

Q4:ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう。または、再生ができない！

→ ディスクがディスクテーブルに正しくセットされていますか？

→ ディスクが汚れていませんか？ディスクをクリーニングしてください。

→ ディスクの表裏が正しくセットされていますか？

→ リージョンNo.が一致していますか？本機で再生できるリージョンNo.は「**2**」と「**ALL**」のみです。（98、104 ページ参照）

→ 本機の内部が結露している可能性があります。結露を除去してください。（114 ページ参照）

Q5：音が出ない！

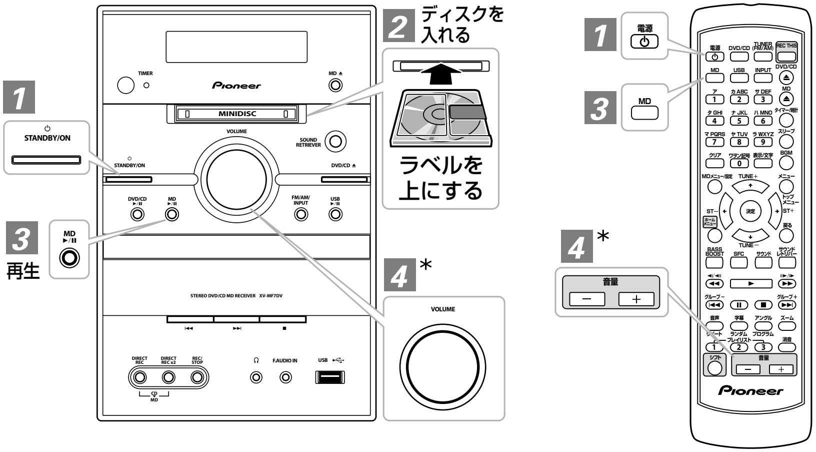
→ 音量がゼロになっていませんか？音量を調整してください。

→ ヘッドホンが挿入されていませんか？ヘッドホンを抜いてください。

→ スピーカーの接続は正しいですか？（10 ページ参照）

→ 消音状態になっていませんか？（表示窓に“Muting”と表示されていませんか？）

手順番号に沿って操作して再生してください。



＊お好みの音量に調節してください。

メ モ

▼ MDをセットするときは、ラベルを上にしてMDの矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。再生専用MDや誤消去防止用つまみが開いている MD を挿入すると、自動的に再生を開始します。

MD を取り出すには



本体またはリモコンのMD▲ ボタンを押して取り出します

電源を切る



本体の⏻STANDBY/ON ボタンまたはリモコンの電源ボタンを押します

メ モ

▼ 電源コードをコンセントから抜くときは、本体表示窓の "See you!" 表示が消えていることを確認してください。"See you!" 表示中に抜くと本機の設定がお買い上げ時の設定に戻ることがあります。

再生

DVD-Video / VR DVD-R/RW / Video CD / CD(R/RW) / WMA/MP3 / MPEG-4 AAC / DivX® / JPEG / MD

►

再生します

- DVD-Video では、再生を開始するとメニュー画面を表示するディスクがあります。メニュー画面の操作については 23 ページをご覧ください。
- Video CD では、再生を開始するとメニュー画面を表示するディスクがあります。メニュー画面の操作については 51 ページをご覧ください。
- JPEG と WMA/MP3 MPEG-4 AAC が同じディスクに記録されているときは、► **ボタン**を押すと、ディスクに含まれる画像ファイルと音楽ファイルを同時にそれぞれ繰り返し再生します。（48 ページ参照）
- DivX® と WMA/MP3 MPEG-4 AAC または JPEG が同じディスクに記録されているときは、まずはじめに、どのフォーマットを再生するかテレビ画面で選択します。

停止

DVD-Video / VR DVD-R/RW / Video CD / CD(R/RW) / WMA/MP3 / MPEG-4 AAC / DivX® / JPEG / MD

■

停止します

一時停止

DVD-Video / VR DVD-R/RW / Video CD / CD(R/RW) / WMA/MP3 / MPEG-4 AAC / DivX® / JPEG / MD

II

一時停止します

- 通常の再生に戻すには、一時停止中に ►、または II **ボタン**を押します。

頭出し（スキップ）

DVD-Video / VR DVD-R/RW / Video CD / CD(R/RW) / WMA/MP3 / MPEG-4 AAC / DivX® / JPEG / MD

|◄◄　►►|

再生中に ►►|（または |◄◄）ボタンを押します

- 押した回数だけチャプター / トラック / ファイルをスキップします。
- MD では先頭曲で |◄◄ **ボタン**を押すと最終曲に、最終曲で ►►| **ボタン**を押すと先頭曲にスキップします。

早送り / 早戻し再生

DVD-Video / VR DVD-R/RW / Video CD / CD(R/RW) / WMA/MP3 / MPEG-4 AAC / DivX® / MD

◄◄　►►

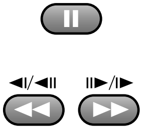
再生中に ►►（または ◄◄） ボタンを押します

- ボタンを押すたびに速さを切り換えることができます（DivX® MD では速さを切り換えることはできません）。
- 通常の再生に戻すには ► **ボタン**を押します。（MD ではボタンを離すと再生に戻ります）

コマ送り/コマ戻し再生

DVD-Video　VR DVD-R/RW　Video CD　DivX®

再生中に II ボタンを押して一時停止させ、II▶/I▶（または ◀I/◀II）ボタンを押します

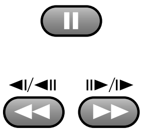


- コマ送り / コマ戻し再生は音声が出力されません。
- コマ送り / コマ戻し再生ができないディスクもあります。
- 再生方向を変更したとき、一瞬映像が動くことがあります。
- コマ戻し再生中、映像が揺れることがあります。
- 通常の再生に戻すには ▶ **ボタン**を押します。
- Video CD　DivX® では、コマ戻し再生をすることができません。

スロー再生

DVD-Video　VR DVD-R/RW　Video CD　DivX®

再生中に II ボタンを押して一時停止させ、II▶/I▶（または ◀I/◀II）ボタンを押し続けます



- 画面にスローの表示が出たら、手を離してもスロー再生を続けます。
- スロー再生中、ボタンを押すたびに速さを切り換えることができます。
- スロー再生は音声が出力されません。
- スロー再生ができないディスクもあります。
- 通常の再生に戻すには ▶ **ボタン**を押します。
- Video CD　DivX® では、逆方向のスロー再生ができません。

グループ指定再生

MD



再生中にシフトを押しながらグループ+/−ボタンを押します

- グループ登録されたグループを1つ送ったり戻したりします。（70ページ参照）

ダイレクトサーチ DVD-Video VR DVD-R/RW Video CD CD(R/RW) MD

タイトル/チャプター/トラックを指定して再生することができます。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 クリア 0 + 決定

数字（0～9）ボタンでタイトル/チャプター/トラック番号を入力して、決定ボタンを押します

再生中にできるダイレクトサーチの種類

DVD-Video	VR DVD-R/RW	Video CD CD(R/RW) MD
チャプターサーチ	タイトルサーチ	トラックサーチ

- ダイレクトサーチができないディスクもあります。
- DVD-Video のチャプターサーチでは、再生中のタイトル内のチャプターのみを指定することができます。
- ディスク停止中にダイレクトサーチを行うと、DVD-Video は**タイトルサーチ**になります。
- ランダム再生中、プログラム再生中はトラックサーチをすることができません。
- MD ではグループ再生（71ページ参照）しているときは再生中のグループの中でのトラックサーチになります。
- 入力を間違えたときは、**クリアボタン**を押してください。

Q&A

Q1: Video CD CD(R/RW)が再生できない。

→ パソコンで作成されたVideo CD CD(R/RW)は再生できないことがあります。

Q2: WMA/MP3 MPEG-4 AACが再生できない。

→ 記録したCD-R/RWがISO9660フォーマットに、DVDがUDF Bridge（UDFブリッジ）フォーマット準拠していない。

→ サンプリング周波数が32 kHz、44.1 kHz、または48 kHzで記録されていないファイル。

→ 可変ビットレート（VBR）またはロスレスエンコーディングのファイルを再生している。

→ DRMコピープロテクト（著作権保護）のかかったWMA/MPEG-4 AACファイル。（95ページ参照）

Q3: JPEGが再生できない。

→ 記録したCD-R/RWがISO9660フォーマットに、DVDがUDF Bridge（UDFブリッジ）フォーマット準拠していない。

→ 総ピクセル数が3072 ×2048ピクセル以下のベースラインJPEGファイルではない。

→ プログレッシブ JPEG ファイルは再生できません。

Q4: DivX®が再生できない。

→ DivX®ビデオの再生以外には対応していません。お手持ちのメディアのエンコード方式等をご確認ください。（96ページ参照）

お手持ちのUSBメモリーを本機に接続することで、USBメモリーに記録されている音楽ファイルや画像ファイルを本機で再生することができます。ステレオまたはモノラル音声を再生することができます。

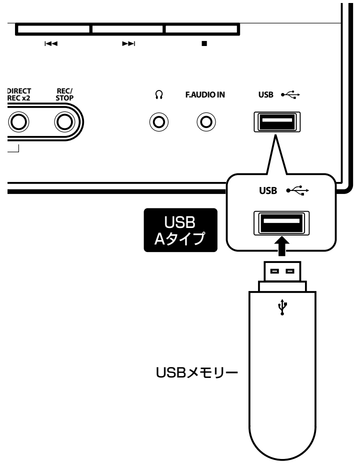
メモ

- ▼ 本機で再生できるUSBメモリーのファイルは、JPEG、WMA、MP3、MPEG-4 AACのいずれかで、DRMコピープロテクト（著作権保護）のかかっていないファイルのみです。USBメモリーのDivXファイルを再生することはできません。
- ▼ 本機とパソコンをUSBケーブルで接続して音楽ファイルや画像ファイルを再生することはできません。本機が対応しているUSBメモリーは、外付ハードディスクや携帯フラッシュメモリー、デジタルオーディオ再生機（FAT16、FAT32のフォーマットに対応）などのUSBマスストレージクラスに属する機器です。
- ▼ 本機ではすべてのUSBメモリーの再生および電源の供給を保証できない場合があります。また、万が一本機と接続したことでUSBメモリーのファイルが損失した場合、当社は一切の責任を負うことができませんので、あらかじめご了承ください。
- ▼ 容量の大きいUSBメモリーを接続したときは、読み込みに多少時間がかかることがあります。
- ▼ USBハブには対応しておりません。

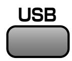
USBメモリーを再生するための接続

接続のしかた

本機のUSB端子にUSBメモリーを接続します。



本機で聞くには



USBボタンを押します

取り外すには



⏻ 電源ボタンを押して電源をオフにして、USBメモリーを取り外します

注 意

◆ USBメモリーの消費電力が大きすぎて電力が供給できないと“USB ERR”が表示されます。下記の操作を行ってみてください。それでも“USB ERR”が表示されるときは、USBメモリーが本機に対応していないということになります。

- 本機の電源をオフにしてから、再度電源を入れてみてください。

- 本機の電源をオフにしてからUSBメモリーを抜き、再度USBメモリーを接続し、電源を入れてみてください。
- USB以外の入力に切り換えてから、再度USB入力にしてみてください。
- ACアダプターが付属されているUSBメモリーをお使いの場合は、ACアダプターを接続して使用してみてください。

いろいろな再生のしかた

WMA/MP3　MPEG-4 AAC　JPEG

再生

再生します

停止

停止します

一時停止

一時停止します

頭出し（スキップ）

再生中に▶▶I（またはI◀◀）**ボタン**を押します

早送り / 早戻し再生

再生中にリモコンの▶▶（または◀◀）**ボタン**を押します

メモ

▼ USBメモリー内の曲をリピート、ランダム、プログラム、プレイリスト再生することはできません。

ナビゲーターを使って再生する

あらかじめテレビの電源を入れて、テレビの入力を切り換えておいてください。

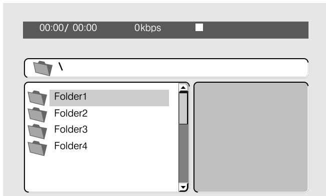
1. メニュー

メニューボタンを押してナビゲーター画面を表示させます

2. 決定

⇧⇩でフォルダーを設定して、決定ボタンを押します

ナビゲーター画面に表示されるフォルダー / ファイル名がUSBメモリー側に表示されるフォルダー/ファイル名と異なることがあります。

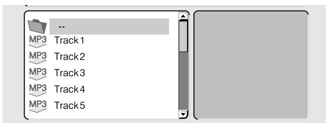


3.

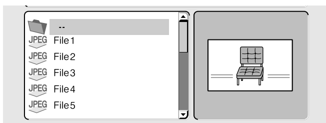
⇧⇩で再生したいファイル（トラック/タイトル）を選択します

- JPEG でファイルにカーソルを合わせると、選択されているファイルの画像が表示されます。
- ⇦**ボタン**を押すと、前の画面に戻ります。

＊ WMA/MP3　MPEG-4 AAC の場合



＊ JPEG の場合



4. 決定ボタンを押します

- 選択したファイルから再生を開始します。
- JPEG では、画像が次々に表示されます（スライドショー）。
- スライドショーで表示される画像のアスペクト比が異なるときは、画像の縦、または横に黒帯が出ることがあります。
- **メニューボタン**を押すと、ナビゲーター画面が終了します。

メ モ

▼ WMA/MP3 MPEG-4 AAC JPEG では、メモリー情報の読み込み中に、画面に**[読込中]**と表示されます。表示が消えてから再生してください。

▼ - - を選択して**決定ボタン**を押しても、上の階層に戻すことができます。

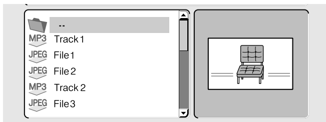
▼ ナビゲーターを使うと、フォルダーごとの再生となります。フォルダーをまたいで再生したいときは、USBメモリーを接続したあとに▶ **ボタン**を押して再生を開始してください。

音楽を聞きながら画像ファイルを再生する

USB メモリーに音楽ファイルと画像ファイルが両方含まれているときは、音楽ファイルを聞きながらスライドショーを表示することができます。

1. メニューボタンを押してナビゲーター画面を表示させます

2. ⇧ ⇩でフォルダーを設定して、決定ボタンを押します



3. ⇧ ⇩ で音楽ファイルを選択して、決定ボタンを押します

音楽ファイルを再生します。

4. ⇧ ⇩ で画像ファイルを選択して、決定ボタンを押します

音楽ファイルを再生しながら、スライドショーで画像ファイルが表示されます。音楽ファイルと画像ファイルは、フォルダー内で繰り返し再生します。

この時、▶、❚❚、⏮、⏭ **ボタン**での操作は画像ファイルが対象となります。

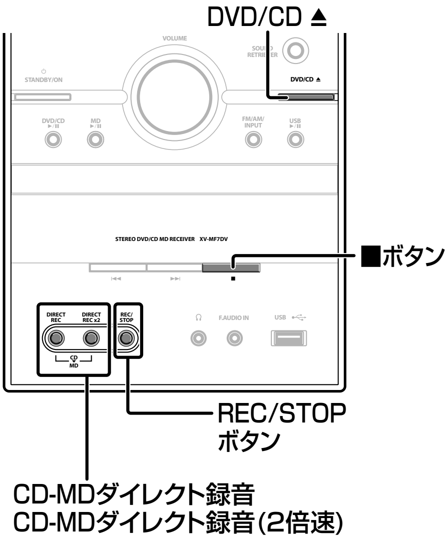
メ モ

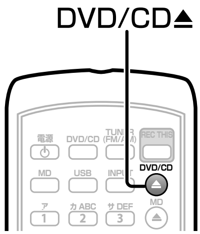
▼ ナビゲーターを使うと、フォルダーごとの再生となります。フォルダーをまたいで再生したいときは、USBメモリーを接続したあとに▶ **ボタン**を押して再生を開始してください。その際、❚❚、◀◀、▶▶、⏮、⏭ **ボタン**での操作は音楽ファイルが対象となります。

2 再生

CDをMDに録音する（ダイレクト録音）

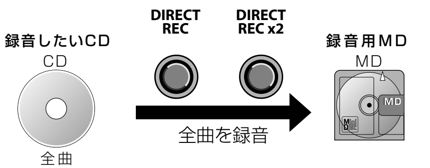
2 倍速録音は、CD からのデジタル録音のみ可能です。





CDの全曲をまるごと録音する

ボタンをひとつ押すだけで、セットされているCD の全曲を自動的に録音します。
また、CD の好きな曲だけを MD に録音する場合は、55 ページを参照してください。

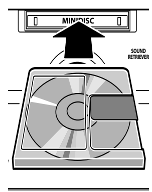


1. 録音もとのCDをセットします



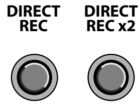
DVD/CD▲ ボタンを押して、ディスクテーブルを開けてからディスクをセットします。

2. 録音用 MD をセットします



ラベルを上にして MD の矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。

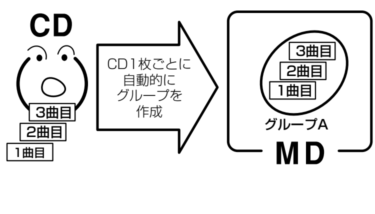
3. 通常録音をするときはCD-MDダイレクト録音ボタン（DIRECT REC）を、2倍速録音をするときはCD-MDダイレクト録音（2 倍速）ボタン（DIRECT REC ×2）を押します



表示窓に“CD STOP”（または“CD Resume”）と表示されているときに押してください。録音が開始されます。
録音が終了すると自動的に停止します。録音を中止する場合は、**■ ボタン**または **REC/STOP ボタン**を押します。

メ モ

▼ お買い上げ時は通常のステレオ録音に設定されています。LP2 または LP4 モード（34 ページ参照）に設定すると、より長時間録音ができます。
▼ セットしたディスクをまるごと録音すると、CD1枚ごとに自動でグループ登録 (68ページ参照) されます。



注 意

◆ CD(R/RW) 以外のディスクからはダイレクト録音ができません。マニュアル操作によるアナログ録音 (56ページ参照) となります。
◆ ダイレクト録音はDVD/CD、MD入力から行ってください。

Q&A

Q : **“Can’t COPY” と表示が出て録音できない！**

→ デジタル録音されたCD-R/CD-RWを、デジタルでMDに録音することはできません。101ページを参照して、アナログ録音に切り換えてください。

→ 曲の一部だけを録音することがあります。トラックイレース機能（64ページ参照）を使用して、消去してください。

2倍速録音での制限について

CDからMDへ2倍速録音を行った場合、録音を開始した時点から74分間は、同じCDを2倍速で録音できないようになっています。これは、HCMS(Hi-speed Copy Management System)により管理されているためです。この間に禁止されているディスクを録音する場合は、通常の録音を行ってください。



HCMSにより管理されている74分の間に同じディスクを再び2倍速録音すると、以下の例のように禁止残り時間を表示します。禁止残り時間の間は、禁止されているディスクの2倍速録音は動作しません。

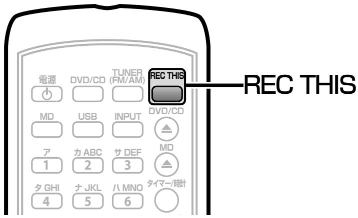
```
Can’t X2REC
 Wait 39min
```

注 意

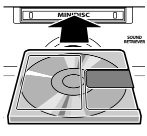
◆ 2倍速録音の禁止時間内であっても、異なるディスクであれば合計20枚まで、2倍速録音を行うことができます。
◆ アナログ録音設定のとき、2倍速録音はできません。デジタル録音に切り換えてください (101ページ参照)。
◆ 2倍速録音中、スピーカーおよびヘッドホンからは音楽が流れません。
◆ 録音中はディスクテーブルの開閉、MDの取り出し、入力切換など操作できないボタンがあります。

今聞いている曲を録音する（CDの1曲だけを録音する）

再生中の曲を簡単に録音できます。

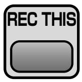


1. 録音用MDをセットします



ラベルを上にしてMDの矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。

2. 録音したいCDの曲の再生中に、REC THISボタンを押します



曲のはじめから録音を開始し、録音が終了するとMDは停止します。CDは、そのまま再生を続けます。
途中で録音を停止する場合は、■ボタンまたはREC/STOPボタンを押します。

注 意

◆ CDの1曲だけを録音した場合、グループ登録は行いません。
◆ 録音は1倍速となります。

MDLP

長時間録音（MDLP）の設定をする

MD に録音する設定を、通常のステレオ録音の約２倍（LP2 モード）または４倍（LP4 モード）にすると、長時間ステレオ録音ができます（MDLP録音）。数枚のCDを一枚のMDに録音するときに便利です。
たとえば、80分のMDではLP2モードで160分、LP4モードで320分の長時間録音ができます。
ただし、LP2 または LP4 モードで録音された曲は、MDLP機能が搭載されていない機器では再生できません。
各録音モードの違いは以下の表のとおりです。

録音モード	ステレオ/モノラル	録音時間	音質
Stereo	ステレオ(通常のステレオ録音)	1倍	◎
MONO LP	モノラル	2倍	◎
LP2	ステレオ(MDLP)	2倍	○
LP4*	ステレオ(MDLP)	4倍	△

◎ ...... 最良の音質です
○ ...... ◎ の音質より劣ります
△ ...... ○ の音質より劣ります

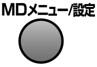
＊特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を可能にしているので、ごくまれに雑音のように録音される可能性があります。音質を重視する録音をする場合は、通常のステレオ録音か、LP2 モードでの録音をお勧めします。

メ モ

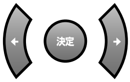
▼ お買い上げ時の録音モードは、Stereo(通常のステレオ録音)に設定されています。
▼ 長時間録音の設定は、一度設定すると次に切り換えるまで変更されません。

1. **録音設定したい録音もとの入力を選びます**

CD からの録音の場合は、**DVD/CDボタン**を押してから■**ボタン**を押します。

2. 

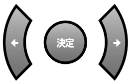
MD メニュー / 設定ボタンを押します

3. 

⇦ ⇨で "MD Menu" を選んで、決定ボタンを押します

MD　Menu

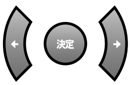
中止する場合は、■**ボタン**を押します。

4. 

⇦ ⇨ で "REC Mode" を選んで、決定ボタンを押します

REC　Mode

中止する場合は、■**ボタン**を押します。

5. 

⇦ ⇨ で録音のモードを選んで、決定ボタンを押します

以下のように切り換わります。

Stereo（通常のステレオ録音）
↓
LP2(ステレオ/MDLP)
↓
LP4(ステレオ/MDLP)
↓
MONO LP(モノラル) → Stereo へ戻る

LP2 モードを選んだときの表示

LP2

LP2 モードに設定した場合は、[LP2]が点灯します。
LP4 モードに設定した場合は、[LP4]が点灯します。
モノラル録音に設定した場合は、[MONO LP] が点灯します。

放送局を受信する

アンテナが接続されていないと、FM・AM放送を聞くことはできません。10、12、14ページを参照して、アンテナを接続してください。

1. TUNER ボタンを押します

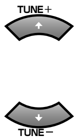


ラジオが聞ける状態になります。本体の **FM/AM/INPUT ボタン**を数回押してもFM・AMモードにすることができます。

FM 76.00MHz

押すたびに、FMとAMが切り換わります。
FM放送を聞くときはFMを、AM放送を聞くときはAMを選択してください。

2. ⇧⇩ を押して、聞きたい放送局の周波数に合わせます



周波数の合わせ方（チューニングのしかた）には、以下の3種類があります。

オートチューニング

⇧⇩ を押して、周波数が動き始めたら指を離します。
周波数が自動的に変化して、放送局を受信すると自動的に止まります。
途中で止めるときは、もう一度⇧⇩を押すか、**■ボタン**を押します。

マニュアルチューニング

⇧⇩ を1回ずつ押します。
周波数が1ステップずつ変化します。

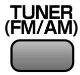
ハイスピードマニュアルチューニング

⇧⇩ **ボタン**を押している間、周波数が連続して変化し、指を離すと止まります。

FM 放送の雑音を減らす

遠い放送局や電波の弱い地域などで、FMのステレオ放送に雑音が多いときは、強制的にモノラルにして放送を聞きやすくします。
お買い上げ時は、放送局側に合わせて自動的にステレオとモノラルを切り換える **"Auto"** に設定されています。

1. TUNER ボタンを押して、FM 放送にします

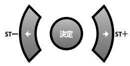


本体の **FM/AM/INPUT ボタン**を数回押してもFMモードにすることができます。

2. MD メニュー / 設定ボタンを押します

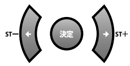


3. ⇦ ⇨ で "Tuner Setup" を選んで、決定ボタンを押します



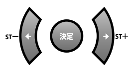
Tuner Setup

4. ⇦ ⇨ で "FM Mode" を選んで、決定ボタンを押します



FM Mode

5. ⇦ ⇨ で "Mono" を選んで、決定ボタンを押します



表示窓に、[○]と点灯します。
"Auto" に設定する場合は、**"Auto"** にします。

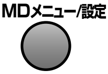
受信できるFMとAMの放送局を自動的に受信しながら、30局までステーション（記憶番号）に記憶させていきます。
FM局を記憶してからAM局の記憶を始めます。

1. TUNERボタンを押します

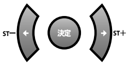


ラジオが聞ける状態になります。本体の**FM/AM/INPUTボタン**を数回押してもFM・AMモードにすることができます。

2. MDメニュー/設定ボタンを押します

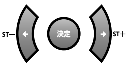


3. ⇦ ⇨ で "Tuner Setup" を選んで、決定ボタンを押します



Tuner Setup

4. ⇦ ⇨ で "Auto Preset" を選んで、決定ボタンを押します



Auto Preset

FM・AM放送の受信を開始します。はじめにFM局を受信してステーション1から順に記憶し、そのあとAM局を受信して記憶を開始します。

5. 放送局を受信すると、記憶させるかどうかの確認表示になります

ST– 1 SET ?
FM 79.50 MHz

6. 記憶させる場合は、決定ボタンを押します



記憶させない場合は**クリアボタン**を押します。**決定ボタン**を押すと、次の放送局の受信を開始します。

途中で終了する場合は、■ボタンを押します



30局まで記憶した場合や周波数が一巡した場合は、自動的に終了します。

放送局を手動で記憶させる

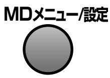
FM・AM放送合わせて30局まで、ステーション（記憶番号）に記憶することができます。
例）FM82.5 MHzをステーション3へ記憶させます

1. 記憶したい放送局を受信します

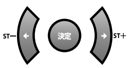
35ページを参照して受信します。例の場合は、FM 82.5 MHzを受信します。

FM 82.50MHz

2. MDメニュー/設定ボタンを押します

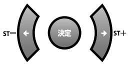


3. ⇦ ⇨ で "Tuner Setup" を選んで、決定ボタンを押します



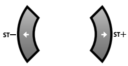
Tuner Setup

4. ⇦⇨で“ST.Memory”を選んで、決定ボタンを押します



ST . Memory

5. ⇦⇨で記憶するステーションを選びます



記憶するためのステーションは1～30まであります。

ST–　3　⇦⇨

6. 決定ボタンを押して記憶させます



FM 82.5 MHzがステーション3に記憶されました。

メモ

▼ 放送局を受信すると、表示部に[TUNED]が点灯します。FMステレオ放送のときは[ꝏ]も一緒に点灯します。

▼ 本機はテレビ放送の1～3チャンネルの音声も受信できます。
各チャンネルの周波数は次のとおりです。
1 ch： 95.75 MHz
2 ch： 101.75 MHz
3 ch： 107.75 MHz
音声はモノラルになります。2カ国語放送は主音声のみとなります。

▼ 自動で記憶させるステーション数と手動で記憶させるステーション数を合わせて30ステーション記憶させることができます。

注 意

◆ 本機のFM放送受信回路とテレビ音声受信回路とは兼用回路のため、地域によってはテレビの音声受信時にFM放送が混信することがあります。

◆ “Auto”を選択している場合でも、モノラル放送の場合や電波の弱い場合は、“ꝏ”は点灯しません。

◆ すでに記憶されているステーションへ違う放送局を記憶させると、前の放送局は消去されて、新しい放送局が記憶されます。

◆ 停電時など、ステーションに記憶した内容が消えてしまう場合があります。

記憶させた放送局を呼び出す

各ステーション（記憶番号）に記憶させた放送局を聞くことができます。放送局の記憶のしかたは 36 ～ 37 ページを参照してください。

1. TUNER ボタンを押します

TUNER (FM/AM)

ラジオが聞ける状態になります。本体の **FM/AM/INPUT ボタン**を数回押しても FM・AM モードにすることができます。

2. ⇦ ⇨ を押して、記憶したステーションを選びます

本体の **⏮ ⏭ ボタン**でも選択することができます。

```
ST – 1
FM  79.50MHz
```

メ モ

▼ **数字ボタン**を押してから**決定ボタン**を押してダイレクトにステーションを選ぶこともできます。

記憶させた放送局に名前をつける

記憶させた放送局（ステーション）に、11 文字以内で名前をつけることができます。
文字の入力方法については、60～61 ページを参照してください。

1. 名前をつけたいステーションを選びます

上記を参照してください。

2. MD メニュー / 設定ボタンを押します

MDメニュー/設定

3. ⇦ ⇨ で“Tuner Setup”を選んで、決定ボタンを押します

決定

```
Tuner Setup
```

4. ⇦ ⇨ で“ST. Name”を選んで、決定ボタンを押します

決定

```
ST . Name
```

5. 文字を入力して、ステーションに名前をつけます

文字の入力は、60 ～ 61 ページを参照してください。

6. MD メニュー / 設定ボタンを押して終了します

MDメニュー/設定

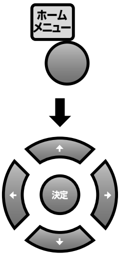
メ モ

▼ 記憶した放送局に名前がついている場合は、名前が表示されます。受信周波数を確認したいときは、**表示 / 文字ボタン**を押すと、選ばれているステーションの周波数を約 2 秒間表示します。
▼ 途中で文字の入力をやめるときは、**戻るボタン**を押してください。

プレイモード画面を表示する

以下のいろいろな機能を使うにはプレイモード画面を表示しなければならないことがあります。プレイモード画面は以下の手順で表示します。プレイモード画面は本機の入力がDVD/CDのときのみ表示することができます。





1. ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させます

2. [プレイモード]を選択して、決定ボタンを押します

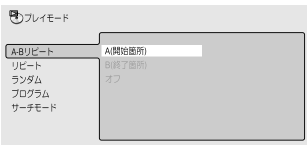
3. ⇧⇩⇦⇨ ボタンと決定ボタンでそれぞれの項目を選択、決定します

メ モ

▼ Video CD のPBC再生中は、プレイモード画面を表示することができません。PBC再生を解除してから表示してください。(51 ページ参照)

指定した部分を繰り返し再生する（A-B リピート）

DVD-Video　VR DVD-R/RW　Video CD　CD(R/RW)



1. 再生中にプレイモード画面を表示させ（上記）、[A-B リピート]を選択します

2. [A(開始箇所)]を選択して、開始したい箇所で決定ボタンを押します

3. [B(終了箇所)]を選択して、終了したい箇所で決定ボタンを押します

A-B リピート再生を開始します。
解除するときは、**[オフ]**を選択します。

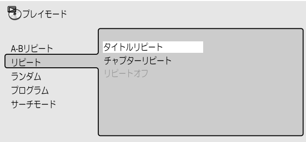
注 意

◆ 異なるタイトルをまたいで A-B リピート再生をすることはできません。
◆ A-B リピート再生ができないディスクがあります。

繰り返し再生する（リピート）

DVD-Video　VR DVD-R/RW　Video CD　CD(R/RW)　DivX®

プレイモード画面で操作するには



1. **再生中にプレイモード画面を表示させ(39ページ)、[リピート]を選択します**

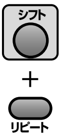
2. **リピート再生の種類を選び、決定ボタンを押します**

リピート再生を開始します。

- **タイトルリピート**
- **チャプターリピート**
- **ディスクリピート**
- **トラックリピート**
- **プログラムリピート（プログラム設定時）**

リピート再生の種類は、再生しているディスクによって異なります。
解除するときは**[リピートオフ]**を選択します。

ボタンで操作するには



再生中に、シフト＋リピートボタンを押します

リピート再生を開始します。
以下のように切り換わります。

- **タイトルリピート**
- **チャプターリピート**
- **ディスクリピート**
- **トラックリピート**
- **プログラムリピート（プログラム設定時）**

リピート再生の種類は、再生しているディスクによって異なります。

メ モ

▼ ディスクを停止するとリピート再生は解除されます。
▼ プログラム再生中（42ページ参照）に**シフト＋リピートボタン**を押すと、プログラム再生を繰り返します。

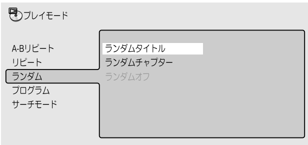
注 意

◆ リピート再生ができないディスクもあります。

順不同に再生する（ランダム）

DVD-Video　Video CD　CD(R/RW)

プレイモード画面で操作するには



1. 再生中にプレイモード画面を表示させ(39ページ)、[ランダム]を選択します

2. ランダム再生の種類を選び、決定ボタンを押します

次のタイトルなどからランダム再生を開始します。

- **ランダムタイトル**
- **ランダムチャプター**
  再生中のタイトル内のチャプターを順不同に再生します。
- **ランダムトラック**
  再生中のグループ内のトラックを順不同に再生します。
- **ランダムオン**
  ディスク内のトラックを順不同に再生します。
  ランダム再生の種類は、再生しているディスクによって異なります。
  解除するときは、**[ランダムオフ]**を選択します。

ボタンで操作するには



再生中に、シフト+ランダムボタンを押してランダム再生の種類を選び、決定ボタンを押します

ランダム再生を開始します。
以下のように切り換わります。

- **ランダムタイトル**　●**ランダムチャプター**
- **ランダムトラック**

ランダム再生の種類は、再生しているディスクによって異なります。

メ モ

▼ ディスクを停止するか、**[ランダムオフ]**を選択するとランダム再生は解除されます。
▼ ランダム再生中に ►►I **ボタン**を押すと、本機が順不同に次のタイトルなどを選んで再生します。また I◄◄ **ボタン**を押すと、現在再生中のタイトルなどの始めから再生します。

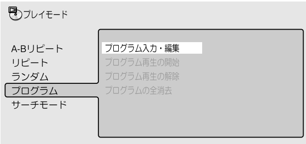
注 意

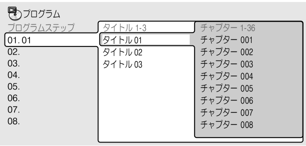
◆ ランダム再生できないディスクがあります。
◆ ランダム再生とプログラム再生を同時に行うことはできません。

好みの順に再生する（プログラム）

DVD-Video　Video CD　CD(R/RW)

プレイモード画面で操作するには





＊ディスクによってプログラム入力、編集画面が異なります。

1. プレイモード画面を表示させ（39ページ）、[プログラム]を選択します

2. [プログラム入力・編集]を選択して、決定ボタンを押します

3. プログラムしたいタイトル/チャプター/トラックを選択して、決定ボタンを押します

プログラム入力中に**戻るボタン**を押すと、プログラムした内容が無効になります。

4. 手順３を繰り返して、他のタイトルなどを入力します

ステップの間にプログラムを追加したいときは

①プログラムステップの追加したい箇所にカーソルを合わせます。

②追加するタイトルなどを選択して決定ボタンを押します。

追加した箇所にあったタイトルなどは、新しいプログラムの後ろに移動します。

入力中にプログラムを削除したいときは

①削除したいプログラムステップにカーソルを合わせます。

②クリアボタンを押します

プログラムが削除され、その後ろにあったタイトルなどが１つ前に繰り上がります。

5. ► ボタンを押します

プログラムした順に再生を開始します。

ボタンで操作するには

CD(R/RW)

聞きたい曲を最大 24 ステップまで、好きな順番に登録することができます。

シフト + プログラム

1. 停止中にシフト+プログラムボタンを押します

PGM00
00：00

上記のように表示されます。すでにプログラムされているときはプログラム総再生時間を表示します。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 クリア 0 + 決定

2. 聞きたい曲の番号の数字ボタンを押して、決定ボタンを押します

15 曲目を選んだときは、**数字ボタン**の 1 と 5 を押してから、**決定ボタン**を押します。
入力を間違えたときは、**クリアボタン**を押してください。

例）CD の 15 曲目を入力したとき

PGM01
15

3. 手順 2 を繰り返して、聞きたい曲番号を登録します

4. ► ボタンを押します

プログラムした順に再生を開始します。

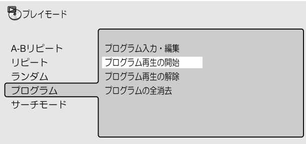
メ モ

▼ DVD-Video Video CD などのディスクのときは**シフト+プログラムボタン**を押すと、プログラム入力、編集画面となります（42 ページ参照）。
▼ プログラム再生中に、►►I **ボタン**を押すと、次にプログラムされたタイトルなどに移ります。
▼ プログラム再生中にプレイモード画面の**[リピート]**から**[プログラムリピート]**を選択、または**シフト+リピートボタン**を押すと、プログラムした内容を繰り返し再生します。（**プログラムリピート再生**）
▼ 一度停止してから、もう一度プログラム再生するときは、**シフト+プログラムボタン**を押してから ► **ボタン**を押します。

注 意

◆ プログラム再生をランダム(順不同に)再生することはできません。
◆ タイトルなどが変わるときに、プログラムしていないタイトルなどの映像が見えることがあります。これは故障ではありません。
◆ プログラム停止中に**クリアボタン**を押すと、プログラムが全消去されます。（ CD(R/RW) のみ）
◆ プログラム編集中に**クリアボタン**を押すと、最後にプログラムした内容が消去されます。

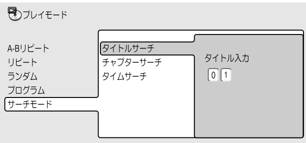
プログラム再生を開始 / 解除 / 全消去するには



- **プログラム再生の開始**
  すでにプログラムされている内容を始めから再生します。
- **プログラム再生の解除**
  通常の再生に戻ります。プログラムされている内容はそのまま残ります。
- **プログラムの全消去**
  プログラムされている内容をすべて消去します

見たい場面を探す（サーチモード）

DVD-Video　VR DVD-R/RW　Video CD　CD(R/RW)　DivX®



1. **再生中にプレイモード画面を表示させ（39ページ）、[サーチモード]を選択します**

2. **サーチモードの種類を選び、決定ボタンを押します**

- **タイトルサーチ**
- **タイムサーチ**
  （Video CD CD(R/RW)では、再生中のトラック内の時間を、DVD-Video DivX®では再生中のタイトル内の時間を指定して再生します。）
- **チャプターサーチ**
- **トラックサーチ**

サーチモードの種類は、再生しているディスクによって異なります。

3. **数字（0～9）ボタンで再生したいタイトル / チャプター / トラックまたは時間を入力して、決定ボタンを押します**

指定したタイトルなどから再生を開始します。

タイムサーチを選択したとき
21分43秒を再生するには、**2,1,4,3**を押して、**決定ボタン**を押します。
1時間4分（64分00秒）を再生するには、**6,4,0,0**を押して、**決定ボタン**を押します。

メ モ

▼ タイムサーチは再生中のみ選択することができます。

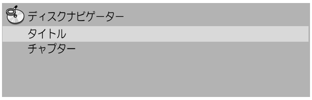
▼ DVD-Videoでは、ディスクメニューで見たい場面を探す（サーチする）ことができるディスクがあります。このときは、リモコンの**メニューボタン**でディスクメニューを表示させてサーチしてください。

▼ DivX®では、タイムサーチのみ選択することができます。

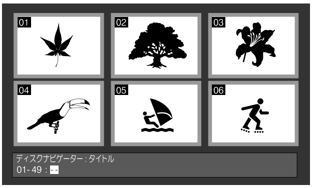
ディスクナビゲーターを使って再生する

DVD-Video　VR DVD-R/RW　Video CD





＊ ディスクによって表示内容が異なります。



1. 再生中にホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させます

2. [ディスクナビゲーター]を選んで、決定ボタンを押します

3. ⇧⇩ ボタンで種類を選択します

DVD-Video	VR DVD-R/RW	Video CD
タイトル チャプター	オリジナル：タイトル オリジナル：時間 プレイリスト：タイトル プレイリスト：時間	トラック 時間

•[時間]を選択すると、10分おきの画像を表示します。

4. 先頭の画面が６枚ずつ表示されるので、再生したいタイトルなどを探します

•▶▶I ボタンを押すと、次の６枚に切り換わります(I◀◀ ボタンで戻ります)。
•ホームメニューボタンを押すと、ディスクナビゲーター画面が終了します。
•戻るボタンを押すと、ディスクナビゲーターの種類を選択する画面に戻ります。

5. 数字ボタンで番号を入力して決定ボタンを押す

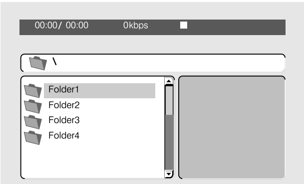
•番号にカーソルを合わせて決定ボタンを押しても再生することができます。

メ モ

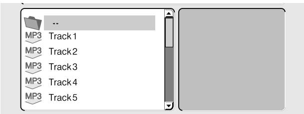
▼ Video CD のPBC再生中は ディスクナビゲーター画面を表示することができません。PBC再生を解除してください（51 ページ参照）。
▼ DVDレコーダーで録画して作られたタイトルを[オリジナル]、オリジナルをもとに編集用に作成したタイトルを[プレイリスト]といいます。
▼ プレイリストが作成されていないときは、メニュー画面に[プレイリスト]は表示されません。
▼ 一部の DVD-Video では、ディスクナビゲーターが使用できない場合があります。

WMA/MP3　MPEG-4 AAC　DivX®　**JPEG**

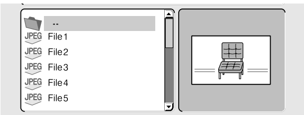




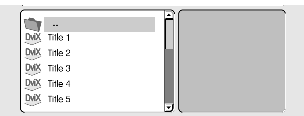
＊ WMA/MP3 MPEG-4 AAC の場合



＊ JPEG の場合



＊ DivX® の場合



1. ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させます

2. [ディスクナビゲーター]を選択して、決定ボタンを押します

3. ⇧⇩ ボタンでフォルダーを選択して、決定ボタンを押します

•半角英数字以外の文字には対応していません。半角英数字以外で入力されたフォルダー/トラック/ファイル名は文字化けしたり、[F_001]/[T_001]/[FL_001]のように表示されることがあります。

4. ⇧⇩ ボタンで再生したいトラック / ファイル / タイトルを選択します

• JPEG でファイルにカーソルを合わせると、選択されているファイルの画像が表示されます。
•⇦ **ボタン**を押すと、前の画面に戻ります。

5. 決定ボタンを押します

•選択したトラック/ファイルから再生を開始します。

• JPEG では、画像が次々に表示されます(スライドショー)。
•スライドショーで表示される画像のアスペクト比が異なるときは、画像の縦、または横に黒帯が出ることがあります。
•**ホームメニューボタン**を押すと、ディスクナビゲーター画面が終了します。

メモ

▼ (フォルダーアイコン) -- を選択して**決定ボタン**を押しても、上の階層に戻すことができます。

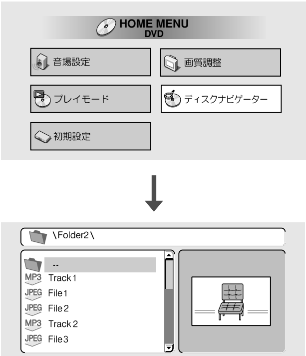
▼ ディスクナビゲーターを使うと、フォルダーごとの再生となります。フォルダーをまたいで再生したいときは、ディスクをセットしたあとに ▶ **ボタン**を押して再生を開始してください。

好みのファイルを記憶する（プレイリスト）

WMA/MP3　MPEG-4 AAC　JPEG

ディスクに含まれている音楽ファイルや画像ファイルからお好みのファイルを選んで、プレイリストに登録することができます。ディスク１枚につき３種類のプレイリストを作成することができます。１つのプレイリストには30ファイル登録することができます。また、ディスク10枚分のプレイリストを作成することができます。

プレイリストに登録するには



1. ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させます

2. [ディスクナビゲーター]を選択して、決定ボタンを押します

3. ⇧ ⇩ でフォルダーを選択して、決定ボタンを押します

4. ⇧ ⇩ でプレイリストに入れたいファイルを選択します

5. プレイリスト（1/2/3）ボタンを押します

6. 手順４～５を繰り返して、プレイリストを作成します

プレイリストを再生するには



停止中にプレイリスト（1/2/3）ボタンを押します

プレイリストの再生を開始します。
再生中は本体表示窓に[PGM]が点灯します。プレイリストに何も登録されているファイルがなかった場合は、“NO LIST”と表示されます。

プレイリストを消去するには



1. 停止中にプレイリスト（1/2/3）ボタンを押します

2. 上記「プレイリストに登録するには」の手順１～３を行います



3. ⇧ ⇩ でプレイリストから消去したいファイルを選択します



4. クリアボタンを押して消去します

メ モ

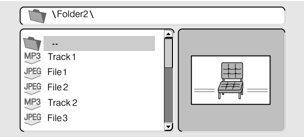
- ▼ プレイリストに入れたいファイルを再生中に、**プレイリスト(1/2/3)ボタン**を押すことで、プレイリストを作成することもできます。
- ▼ プレイリストの登録がディスク10枚分を超えると、最初に登録したディスクのプレイリストから順に消去されます。

音楽を聞きながら画像ファイルを再生する

WMA/MP3　MPEG-4 AAC　JPEG

ディスクに音楽ファイルと画像ファイルが両方含まれているときは、音楽ファイルを聞きながらスライドショーを表示することができます。





1. **ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させます**

2. **[ディスクナビゲーター]を選択して、決定ボタンを押します**

3. **⇧⇩でフォルダーを設定して、決定ボタンを押します**

4. **⇧⇩で音楽ファイルを選択して、決定ボタンを押します**

音楽ファイルを再生します。

5. **⇧⇩で画像ファイルを選択して、決定ボタンを押します**

音楽ファイルを再生しながら、スライドショーで画像ファイルが表示されます。音楽ファイルと画像ファイルは、フォルダー内で繰り返し再生します。
この時、▶、❚❚、⏮、⏭**ボタン**での操作は画像ファイルが対象となります。

メ モ

- ▼ ディスクナビゲーターを使うと、フォルダーごとの再生となります。フォルダーをまたいで再生したいときは、ディスクをセットしたあとに▶**ボタン**を押して再生を開始してください。その際、❚❚、◀◀、▶▶、⏮、⏭**ボタン**での操作は音楽ファイルが対象となります。

画像を拡大する(ズーム)

DVD-Video　VR DVD-R/RW　Video CD　DivX®　JPEG

ズーム


ズームボタンを押します

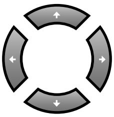
•ズームエリア(拡大する場所)が表示されます（ JPEG を除く)。⇧ ⇩ ⇦ ⇨ **ボタン**でズームエリアを移動することができます。
•押すたびに、2 倍 →4 倍 → 通常と切り換わります。

メ モ

▼ JPEG **では ► ボタン**を押してスライドショーに戻すこともできます。

画像を回転 / 反転させる

JPEG



⇧/⇩/⇦/⇨ ボタンを押します

⇨ － 押すたびに画像が時計回りに 90°回転します。
⇦ － 押すたびに画像が反時計回りに 90°回転します。
⇧ － 画像の上下が反転します。
⇩ － 画像の左右が反転します。

メ モ

▼ 通常のスライドショーに戻すには ► **ボタン**を押します。

字幕を切り換える

DVD-Video　DivX®

字幕


再生中に字幕ボタンを押します

•押すたびに字幕が切り換わります。

例

字幕　現在/総数 1/2　日本語
↓
字幕　現在/総数 2/2　英語
↓
字幕　オフ

字幕が収録されていないときは［－ / －］が表示されます。

メ モ

▼ ここで切り換えた字幕言語の設定は、リジューム機能（23ページ参照）を解除したとき、またはラストメモリーを記憶させないでディスクを取り出したときに初期設定（86ページ参照）の設定に戻ります。

▼ DVD-Video によっては**字幕ボタン**で字幕言語を切り換えられない場合があります。DVD のメニュー画面で切り換えてください。

音声を切り換える

DVD-Video　VR DVD-R/RW　Video CD　CD(R/RW)　DivX®



再生中に音声ボタンを押します

押すたびに音声が切り換わります。

例

音声	現在/総数 1/3	英語	Dolby Digital 3/2.1CH
音声	現在/総数 2/3	日本語	Dolby Digital 3/2.1CH
音声	現在/総数 3/3	英語	Dolby Digital 2/0CH

※ 3/2.1 CH はディスクに記録されている音声のチャンネル数です。詳しくは 105 ページをご覧ください。

- Video CD　CD(R/RW) では、ステレオ、1/L（左)、2/R（右）が切り換わります。
- 二カ国語で記録された VR DVD-R/RW では、主、副、主／副音声が切り換わります。

メ モ

- ▼ DVD-Video によっては**音声ボタン**で音声を切り換えられない場合があります。DVDのメニュー画面で切り換えてください。
- ▼ ディスクによっては音声を切り換えたときに一瞬静止画になることがあります。
- ▼ ここで切り換えた音声の設定は、リジューム機能（23ページ参照）を解除したとき、またはラストメモリーを記憶させないでディスクを取り出したときに初期設定（86ページ参照）の設定に戻ります。

アングルを切り換える

DVD-Video

複数のアングルが収録されている DVD-Video では、再生中にアングルを切り換えることができます(マルチアングル)。詳しくは 98 ページをご覧ください。



アングルボタンを押します

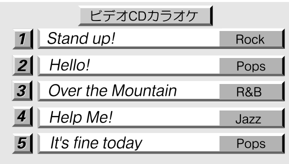
- 現在のアングルと、収録されているアングルの総数が表示されます。押すたびにアングルが切り換わります。

メ モ

- ▼ 複数のアングルが収録されている場所にくると、マークが画面に表示されます。マークを表示させたくないときは、初期設定の**[アングルマーク表示]**を**[オフ]**にします。(87 ページ参照)
- ▼ マークが表示されてもアングルを切り換えることができないディスクもあります。
- ▼ メニュー画面でアングルを切り換えることができるディスクもあります。

メニュー画面から再生する(PBC 再生) Video CD

Video CD では、メニュー画面に従って再生することをPBC(プレイバックコントロール)再生といいます。ディスクによって操作方法が異なります。ディスクに添付されている操作ガイドもあわせてご覧ください。



※ ディスクによって表示内容が異なります。

1. PBC再生対応ディスクを入れ、► ボタンを押して再生します

メニュー画面が表示されます。

2. 数字(0～9)ボタンで再生したいトラックを選択して、決定ボタンを押します

再生を開始します。再生中に**戻るボタン**を押すとメニュー画面に戻ります。

メニュー画面のページを進める、または戻すには

メニュー画面を表示中に ►►I または I◄◄ **ボタン**を押します。

メニュー画面のページを出さずに再生するには(PBC再生を解除して再生する)

停止中に**►►I**または**I◄◄ボタン**で選択します。また停止中に**数字(0～9)ボタン**で選択して、**決定ボタン**を押すことでも解除して再生することができます。

ディスクの情報を見る

DVD-Video　VR DVD-R/RW　Video CD　CD(R/RW)　WMA/MP3　MPEG-4 AAC　DivX®　JPEG

表示/文字



再生中に表示 / 文字ボタンを押します

ディスクの経過時間や残量などを表示します。

例



ディスクによっては、**表示/文字ボタン**を押すたびに表示内容が切り換わります。**表示 / 文字ボタン**を数回押すと、表示がオフになります。

メ モ

▼ Video CD のPBC再生中は一部の情報が表示されません。PBC再生を解除してください(上記参照)。

5 ディスクの再生

DVD/CD、MD、USBメモリーを続けて再生する(BGMモード)

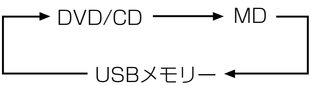
DVD/CD、MD、USBメモリーの音楽ファイルを自動的に続けて再生します。

1. 再生したいDVD/CDやMDやUSBメモリーがセットされていることを確認します

2. リモコンのBGMボタンを押します



以下のように再生します。



•BGMモード中は本体表示窓に［BGM］と点灯します。

3. 押すたびに、以下のように切り換わります。

On (ALC)

オートレベルコントロール（ALC）でそれぞれの入力の音量レベルを一定に調整します。

On

Off

BGMモードを解除するには

BGMボタンを押して、“Off”を選択します



セットしているDVD/CD、MD、USBメモリーが停止します。**音量ボタン**、**消音ボタン**以外のボタンでも解除することができます。

メモ

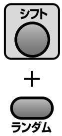
▼ DVD/CD、MD、USBメモリーの中のいずれかがセットされていない場合は、自動的に次の入力を再生します。
▼ **“On”** はオートレベルコントロール（ALC）が働きません。

注意

◆ BGMモード中に好きな曲を選んだり、一時停止、早送り、早戻し、スキップなどすると、BGMモードは解除されます。
◆ スリープタイマー設定中は **“On(ALC)”** のみ選択できます。
◆ BGMモード中、F.Audio IN 端子に外部機器を接続すると、BGMモードは解除されます。
◆ BGMモード中でUSB再生中にUSBメモリーを取り外した場合、次の入力を再生します。
◆ ディスクの内容によっては、次の入力に移動せず、再生し続けるものもあります。

MDを順不同に再生する（ランダム）

すべての曲から順不同に選んで、各曲を1回ずつ再生します。



シフト+ランダムボタンを押します

ランダム再生を開始します。
[RDM]と点灯します。
すべての曲の再生を終了すると、自動的に停止します。



ランダム再生をやめるには...

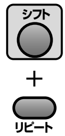
■ボタンを押すとランダム再生が解除され、演奏を停止します。

メモ

- ▼ ランダム再生中に▶▶|**ボタン**を押すと、別の曲を順不同に選んで再生します。
- ▼ ランダム再生中に**リピートボタン**を押すと、ランダム再生を繰り返し再生します。**（ランダムリピート再生）**
- ▼ プログラム再生中にランダム再生を開始すると、プログラムは解除、全消去します。

MDを繰り返し再生する（リピート）

再生している1曲だけを繰り返す1曲リピートとディスクの全曲を繰り返す全曲リピートとがあります。



シフト+リピートボタンを押します

押すたびに、以下のように切り換わります。



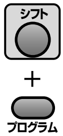
メモ

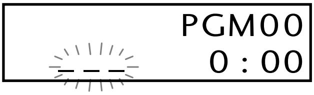
- ▼ 1曲リピート中に|◀◀ ▶▶|**ボタン**を操作して別の曲に移ったときは、その曲を繰り返し再生します。
- ▼ ランダム再生中またはプログラム再生中は、1曲リピートは選択できません。

MD を好みの順に再生する（プログラム）

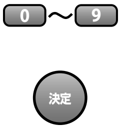
聞きたい曲を最大 30 曲まで、好きな順番に登録することができます。

1. MDが停止中に、シフト+プログラムボタンを押します



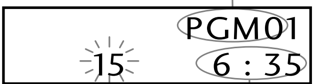


2. 聞きたい曲の番号の文字 / 数字ボタンを押して、決定ボタンを押します



15 曲目を選んだときは、**文字 / 数字ボタン**の 1 と 5 を押してから、**決定ボタン**を押します。

現在入力中のプログラム数



プログラム総再生時間

3. 手順2を繰り返して、聞きたい曲の曲番号を登録します

4. ► ボタンを押します



プログラムした順に再生を開始します。

登録を間違えたとき



MD が停止中にクリアボタンを押します

押すたびに最後に登録した曲から順に消えていきます。

プログラム登録した内容を確認する

プログラム再生中に**■ボタン**を押して再生を停止させてから、**⏮ または ⏭ ボタン**を押します。

プログラム登録した内容をすべて消す

次のいずれかの操作をしたときに消去されます。

- MD 停止中に **■ ボタン**を 1 回押したとき
- **MD⏏ボタン**を押して、MDを取り出したとき
- 電源をオフにしたとき
- **ランダムボタン**を押したとき
- 録音操作を行ったとき

メ モ

▼ プログラム再生中に、**⏮ ⏭ ボタン**を押すと、プログラムされた前後の曲に移ります。

▼ プログラム再生中に全曲リピート再生(53 ページ参照) を選択すると、プログラムした内容を繰り返し再生します。**（プログラムリピート再生）**

注 意

◆ プログラムのトータル時間が、512'00" 以上の場合は、プログラムのトータル時間は表示されません。

◆ グループ再生時は、グループ内の曲のみプログラム登録することができます。

CD の好きな曲だけを MD へ自動録音する

CDの曲を最大24曲まで、好きな順番でMDへ録音することができます。

1. 録音用MDをセットします

2. 録音もとのCDをセットします

3. CDが再生中のときは■ボタンを押します

4. シフト＋プログラムボタンを押します

シフト ＋ プログラム

```
PGM00
00：00
```

プログラム総再生時間を表示します。

5. 録音したい曲の番号の文字／数字ボタンを押して、決定ボタンを押します

0〜9　決定

15曲目を選んだときは、**文字／数字ボタン**の1と5を押してから、**決定ボタン**を押します。

CDの15曲目を入力した例

```
PGM01
15
```

6. 手順5を繰り返して、録音したい曲番号を登録します

7. 通常録音をするときは本体のダイレクト録音ボタン（DIRECT REC）を、2倍速録音をするときは2倍速ダイレクト録音ボタン（DIRECT REC ×2）を押します

DIRECT REC　DIRECT REC x2

録音が開始されます。
録音が終了すると自動的に停止します。録音を中止する場合は、**■ボタン**または**REC/STOPボタン**を押します。

メモ

- ▼ プログラム登録については、54ページもあわせてご覧ください。
- ▼ この方法で録音する前に、LP2またはLP4モード（34ページ参照）に設定すると、より長時間録音できます。
- ▼ 2倍速録音は、CDからのデジタル録音でのみ可能です。詳しくは32〜33ページを参照してください。

FM・AM放送をMDへ録音する

MDにFM・AM放送を録音します。

1. 録音用MDをセットします

2. TUNERボタンを押して、録音したい放送局を受信します

TUNER (FM/AM)

3. 本体のREC/STOPボタンを押します

REC/ STOP

録音が開始されます。

録音を止めたいときは

REC/ STOP

本体のREC/STOPボタンを押します

メモ

- ▼ この方法で録音する前に、LP2またはLP4モード（34ページ参照）に設定すると、より長時間録音できます。
- ▼ FM・AM放送を録音する場合は、自動的にアナログ録音となります。

DVD/CDやUSBメモリーの好きな部分をMDへ録音する

本機で再生できるDVD/CDやUSBメモリーを、MDへ録音することができます。USBメモリーまたはCD以外のディスクから録音する場合は、このマニュアル操作によるアナログ録音だけとなります。

1. 録音用MDをセットします

2. 録音したいDVD/CDやUSBメモリーを、本機にセットします

3.

DVD/CDの場合

DVD/CD

DVD/CDボタンを押して再生を開始し、録音したい部分の始めで、もう一度DVD/CDボタンを押して一時停止させます

USBメモリーの場合

USB

USBボタンを押して再生を開始し、録音したい部分の始めで、もう一度USBボタンを押して一時停止させます

4. REC/STOP

本体のREC/STOPボタンを押します

録音が開始されます。

5.

DVD/CDの場合

DVD/CD

DVD/CDボタンを押して再生を開始します

USBメモリーの場合

USB

USBボタンを押して再生を開始します

録音を止めたいときは

REC/STOP

本体のREC/STOPボタンを押します

メ モ

▼ この方法で録音する前に、LP2またはLP4モード（34ページ参照）に設定すると、より長時間録音できます。

外部機器をMDに録音する

本機に接続している外部機器を録音します。

1. 録音用MDをセットします

2. INPUT

INPUTボタンを押して、録音する外部機器の再生の準備をします

接続のしかたについては、93ページを参照してください。

3. REC/STOP

本体のREC/STOPボタンを押します

録音を開始します。
[REC]が点灯します。

4. 録音する機器の再生を開始します

録音を途中で止めたいときは

REC/STOP

本体のREC/STOPボタンを押します

メモ

▼ この方法で録音するときに、LP2 またはLP4モード（34ページ参照）に設定すると、より長時間録音できます。

デジタル録音レベルを調整する

デジタル録音の場合、通常はデジタル入力の録音レベルを調整する必要はありませんが、本機ではCDからのデジタル録音時に調整することができます。
たとえば、複数のCDから1枚のMDに録音する場合に、ディスク間の音量レベルを合わせるときに調整します。

1. 録音用MDをセットします

本機にMDがセットされていないと、デジタル録音レベルを調整することはできません。

2. DVD/CD DVD/CDボタンを押して、CDの再生を開始します

3. 101ページを参照して、デジタル録音に切り換えます

お買い上げ時は、デジタル録音に設定されていますので、操作は必要ありません。

4. MDメニュー/設定 MDメニュー/設定ボタンを押します

5. ⇦ ⇨で"MD Menu"を選んで、決定ボタンを押します

決定

MD Menu

6. ⇦ ⇨で"D.Vol"を選んで、決定ボタンを押します

決定

D.Vol

7. ⇦ ⇨を押して、デジタル録音レベルを調整します

＋ 0.5 dB ⇦ ⇨
L
R

この部分（10番目）のレベルに頻繁に到達しないように調整します。

8. 決定 決定ボタンを押します

メモ

▼ 調整範囲は、MIN(– ∞) ～ +18 dBの範囲内です。0 dBが初期値となります。
▼ 音量レベルが初期値である0 dB以外に調整されると、表示窓に[D.VOL]が点灯します。

6
MDを使う

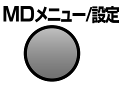
ディスクや曲、グループに名前をつける（ネーム機能）

録音した曲に曲名､録音したディスクにディスク名､登録したグループにグループ名を付けることができます。カタカナ、アルファベット（A～Z、a～z）数字、記号を使用できます。
曲名は１曲につき、100文字まで入力できます。ディスク名と曲名、グループ名を合わせて、１枚のディスクに約1700文字まで入力することができます。（ただしカタカナを入力すると、入力できる文字数は半分以下となります。）ディスクによっては1700文字入力できないこともあります。

ディスクに名前をつけるには （ディスクネーム機能）

準備 総曲数、総演奏時間が表示されている状態にします（曲が選ばれているときや再生中のときは ■ ボタンを押します）

1. MD メニュー / 設定ボタンを押します



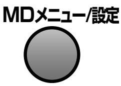
2. ⇦ ⇨ で“MD Menu”を選んで、決定ボタンを押します

MD Menu

曲に名前をつけるには（トラックネーム機能）

準備 ⏮ ⏭ ボタンで名前をつけたい曲を選びます
再生中または録音中でも名前をつけることができます。

1. MD メニュー / 設定ボタンを押します



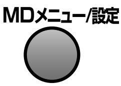
2. ⇦ ⇨ で“MD Menu”を選んで、決定ボタンを押します

MD Menu

グループに名前をつけるには（グループネーム機能）

準備 ■ボタンを押して、シフト＋グループ＋ / グループーボタンを押して名前をつけたいグループを選びます

1. MD メニュー / 設定ボタンを押します



2. ⇦ ⇨ で“MD Menu”を選んで、決定ボタンを押します

MD Menu

ネーム機能で入力できる文字の種類

アルファベット（大文字）：
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ.,'/□（空白）

アルファベット（小文字）：
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz.,'/□（空白）

数字、記号：
0123456789!”＃＄%&’（）＊+, ー./:;
<=>?@_`□（空白）

カタカナ：
アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲンァィゥェォャュョッ゛゜ー□（空白）

メ モ

▼ 誤消去防止用つまみが開いているMDには、ディスク/曲/グループに名前を付けることができません。

3. ⇦ ⇨ で "Disc Name" を選んで、決定ボタンを押します

Disc Name

4. 文字を入力して、ディスクに名前をつけます（60～61ページ）

5. MDメニュー/設定ボタンを押して終了します

途中で文字の入力をやめる場合は、**戻るボタン**を押します。

3. ⇦ ⇨ で "Track Name" を選んで、決定ボタンを押します

Track Name

4. 文字を入力して、ディスクに名前をつけます（60～61ページ）

5. MDメニュー/設定ボタンを押して終了します

途中で文字の入力をやめる場合は、**戻るボタン**を押します。

メ モ

▼ 再生中または録音中、曲に名前を入力している途中で次の曲になってしまったときは、そのときまで入力した文字は有効です。再生または録音が終わってからつづきを入力してください。

3. ⇦ ⇨ で "Group Name" を選んで、決定ボタンを押します

Group Name

4. 文字を入力して、ディスクに名前をつけます（60～61ページ）

5. MDメニュー/設定ボタンを押して終了します

途中で文字の入力をやめる場合は、**戻るボタン**を押します。

メ モ

▼ あらかじめグループ登録されているグループにのみ名前を付けることができます。

メ モ

▼ [/] を2回以上続けて入力することはできません。

文字を入力する

文字が入力できるモードのときに操作します。
リモコンでのみ操作することができます。

リモコンでの入力のしかた

文字入力を終了する場合は、**MD メニュー / 設定ボタン**を押します。

1. 入力する文字が表記されている文字 / 数字ボタンを押します

たとえば、大文字アルファベットが設定されているときに（ハ MNO 6）を押すと、押すたびにM→N→O→と切り換わります。

入力できる文字の種類



MDのディスクネームに、"N"を入力したときの例

表示/文字

文字の種類を変える場合は、表示 / 文字ボタンを押します

→ A-Z（大文字）[A] → a-z（小文字）[a] → 数字、記号 [0] → カタカナ [ア] →

2. 決定ボタンを押して決定します

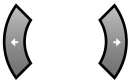
決定

次に入力する文字の**文字/数字ボタン**が、いま押した**文字/数字ボタン**と違う場合は、この操作は必要ありません。

文字の種類 / ボタン	アルファベット（大文字）	アルファベット（小文字）	数　字	カタカナ
ア 1	―――	―――	1	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ
カ ABC 2	A B C	a b c	2	カ キ ク ケ コ
サ DEF 3	D E F	d e f	3	サ シ ス セ ソ
タ GHI 4	G H I	g h i	4	タ チ ツ テ ト ッ
ナ JKL 5	J K L	j k l	5	ナ ニ ヌ ネ ノ
ハ MNO 6	M N O	m n o	6	ハ ヒ フ ヘ ホ
マ PQRS 7	P Q R S	p q r s	7	マ ミ ム メ モ
ヤ TUV 8	T U V	t u v	8	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ
ラ WXYZ 9	W X Y Z	w x y z	9	ラ リ ル レ ロ
ワヲン記号 0	空白（スペース） . , ' /	空白（スペース） . , ' /	0 空白（スペース） ! " # $ % & ' ( ) * + , — . / : ; < = > ? @ _ `	ワ ヲ ン ゛ ゜ ー 空白（スペース）

文字を挿入するには

1. 文字入力中に ⇦ ⇨ を押して、点滅を挿入する文字位置まで移動させます

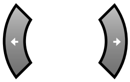


2. 挿入する文字を入力して、決定ボタンを押します



文字を削除するには

1. 文字入力中に ⇦ ⇨ を押して、点滅を削除する文字位置まで移動させます



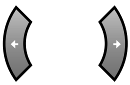
2. クリアボタンを押します



文字が削除されます。

文字を変更するには

1. 文字入力中に ⇦ ⇨ を押して、点滅を変更する文字位置まで移動させます

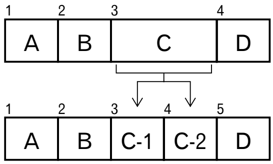


2. 新しく文字を入力して、⇨ を押します



曲を2つに分ける（デバイド機能）

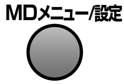
1曲を途中から2つの曲に分けます。分けた曲以降の曲番号は自動的に変更されます。分ける曲に曲名がついていた場合は、前の曲に名前がつきます。



準備 **再生中に曲を分ける位置でMDボタンを押します**

再生が一時停止します。

1. MDメニュー/設定ボタンを押します

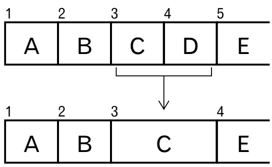


メモ

- ▼ 作業を途中で中止する場合は、■ **ボタン**を押します。
- ▼ 1枚のMDで最大254曲まで曲を分けることができますが、MDの状態によってはそれ以下になる場合もあります。

連続している2つの曲をつなぐ（コンバイン機能）

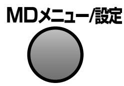
C、Dの2曲を1曲にして新しくCとします。つないだ曲以降の曲番号は、自動的に変更されます。つなぐ曲に曲名がついている場合は、前の曲の曲名がつきます。



準備 **つなぐ曲の曲番号が大きい曲の再生中に、MDボタンを押します**

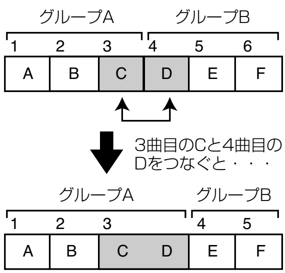
再生が一時停止します。
MD停止中に ⏮ ⏭ **ボタン**で曲番号を選んでから操作することもできます。

1. MDメニュー/設定ボタンを押します



メモ

- ▼ 作業を途中で中止する場合は、■ **ボタン**を押します。
- ▼ 離れた曲をつなぎたいときは、ムーブ機能（64～65ページ参照）で曲を連続させてからコンバイン機能でつないでください。
- ▼ グループ登録されているディスクで、グループをまたいで曲をつないだ場合、つないだ後ろの曲は前の曲のグループに登録されます。



つないだ後ろの曲（D）は、グループAの曲になります。

2. ⇦ ⇨ で "MD Menu" を選んで、決定ボタンを押します

MD Menu

3. ⇦ ⇨ で "Divide" を選んで、決定ボタンを押します

Track 3?

4. もう一度、決定ボタンを押します

"Complete" と表示されると操作終了です。

注 意

◆ 次の場合はデバイドの操作はできません。
・ランダム再生が設定されているとき（53 ページ）
・プログラム再生が設定されているとき（54 ページ）

◆ LP4 モードで長時間録音した曲を分けると、分けた部分でノイズが発生する場合があります。

2. ⇦ ⇨ で "MD Menu" を選んで、決定ボタンを押します

MD Menu

3. ⇦ ⇨ で "Combine" を選んで、決定ボタンを押します

つなぐ曲番号が表示されていることを確認します。

TRK 4+ 5?

4. もう一度、決定ボタンを押します

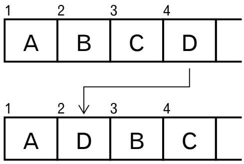
"Complete" と表示されると操作終了です。

注 意

◆ デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲はつなぐことができません。
◆ 違う録音モードで録音した曲同士は、つなぐことができません。
◆ 各録音モードで、ある一定の秒数以下の短い曲は、つながらないことがあります。
・通常のステレオ録音 .... 8 秒以下
・モノラル録音または LP2 録音 .... 16 秒以下
・ LP4 録音 .... 32 秒以下
◆ 次の場合、コンバインの操作はできません。
・ランダム再生が設定されているとき（53 ページ）
・プログラム再生が設定されているとき（54 ページ）

曲を移動する（ムーブ機能）

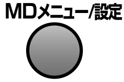
ある曲を好きな位置に移動して曲順を変えることができます。並べ替えたあとの曲番号は自動的に変更されます。



準備 **移動したい曲が再生中に、MDボタンを押します**

再生が一時停止します。
MD停止中に⏮ ⏭ **ボタン**で曲番号を選んでから操作することもできます。

1. **MD メニュー / 設定ボタンを押します**



メ モ

▼ 作業を途中で中止する場合は、■ **ボタン**を押します。
▼ グループ登録しているディスクの場合、移動した曲は移動先の曲のグループとなります。たとえば、グループBに登録されている曲をグループAの範囲の曲番号に移動すると、その曲はグループ A の曲になります。

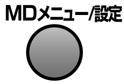
1 曲だけ消す（トラックイレース機能）

消したい曲を指定するだけで、1曲をまるごと消すことができます。消した曲は曲名ごと消えます。また、消した曲以降の曲番は自動的に変更されます。

準備 **消したい曲の再生中に、MD ボタンを押します**

再生が一時停止します。
MD停止中に⏮ ⏭ **ボタン**で曲番号を選んでから操作することもできます。

1. **MD メニュー / 設定ボタンを押します**



メ モ

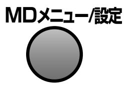
▼ 作業を途中で中止する場合は、■ **ボタン**を押します。

全曲を消す（オールイレース機能）

一度にディスク中の全曲を消すことができます。ディスク名や曲名、グループ名も消えます。

準備 **MD ボタンを押し、■ボタンを押します**

1. **MD メニュー / 設定ボタンを押します**



メ モ

▼ 作業を途中で中止する場合は、■ **ボタン**を押します。

2. ⇦ ⇨ で "MD Menu" を選んで、決定ボタンを押します

MD Menu

3. ⇦ ⇨ で "Move" を選んで、決定ボタンを押します

TRK 4→ 2?

3. ⇦ ⇨ で移動先の曲番号を選んで、決定ボタンを押します

ムーブ機能を実行します。"Complete" と表示されると操作終了です。

注 意

◆ 次の場合、ムーブの操作はできません。
・ランダム再生が設定されているとき（53 ページ）
・プログラム再生が設定されているとき（54 ページ）

2. ⇦ ⇨ で "MD Menu" を選んで、決定ボタンを押します

MD Menu

3. ⇦ ⇨ で "Track Erase" を選んで、決定ボタンを押します

消したい曲番号が表示されていることを確認します。

Track 6?

4. もう一度、決定ボタンを押します

"Complete" と表示されると操作終了です。

注 意

◆ 次の場合、トラックイレースの操作はできません。
・ランダム再生が設定されているとき（53 ページ）
・プログラム再生が設定されているとき（54 ページ）

2. ⇦ ⇨ で "MD Menu" を選んで、決定ボタンを押します

MD Menu

3. ⇦ ⇨ で "All Erase" を選んで、決定ボタンを押します

OK?

4. もう一度、決定ボタンを押します

"Complete" と表示されると操作終了です。

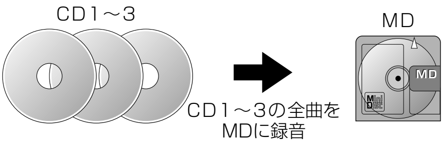
注 意

◆ 次の場合、オールイレースの操作はできません。
・プログラム再生が設定されているとき（54 ページ）

MDのグループ機能について

グループ機能とは

長時間録音モード（LP2またはLP4モード）で録音すると、複数のCDを１枚のMDに録音できたり、100曲以上録音できたりして便利です。



しかし・・・
「録音した３枚目のCDはMDの何曲目からなの？」というように曲を見つけるのが大変です。
そこで・・・
本機では、MDに収録されている曲をグループ機能を使って簡単に操作できます。

グループディスクを作成する（グループ登録）– 68ページ

• グループを登録する
MDディスクに収録されている複数の曲をグループとして登録したディスク（グループディスク）を作成します。なお、本機でMD1枚に登録できるグループ数は、最大99個です。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J

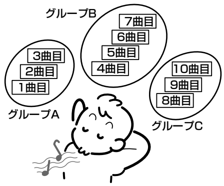
グループ登録すると

グループA			グループB				グループC		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J

一度グループ登録したあとでも、以下の編集ができます。
• グループを変更する（69ページ参照）
• 登録したグループを解除する（70ページ参照）
• 登録したグループをすべて解除する（70ページ参照）

聞きたいグループを選ぶ（グループサーチ機能）– 70ページ

指定したグループ先頭曲の頭出しを簡単にすることができます。



グループA ➡ グループB ➡ グループCの先頭曲（1曲目 ➡ 4曲目 ➡ 8曲目）というように、各グループの先頭曲の頭出しが簡単に行えます。

選択したグループだけ再生するよう設定する（グループ再生機能）–71ページ

グループ登録されているMDで、ディスク全体の再生を行うオールトラックプレイモードと、選択したグループの再生だけを行うグループプレイモードとに切り換えることができます。

グループ登録したMDディスクについて

グループ機能はMD規格の推奨方法に基づいています。
本機でグループ編集したMDディスクは、ほかのグループ機能搭載機器でもグループ編集ができます。



ディスクネーム「CM SONGS」
グループネーム

「グループA」			「グループB」				
1	2	3	4	5	6	7	8
A	B	C	D	E	F	G	H

上図のようなグループ登録したMDディスクのグループ情報は、実際はディスクネームの情報を格納する場所に書かれています。
そのため、グループ機能を搭載していない機器でディスクネームを表示させると、以下のように表示されますが故障ではありません。
0; CM SONGS ／／ 1 – 3; グループ A ／／ 4 – 8; グループ B ／／

グループディスクをグループ機能を搭載していない機器で編集した場合

グループ登録したグループディスクを、グループ機能を搭載してない機器で編集しないでください。

たとえば、ムーブ機能やトラックイレース機能の編集を行うと、グループとして登録していた曲番号が編集前と異なってしまいます。

本機のグループ機能の制限

パイオニア製以外の機器でグループ登録された MD ディスクのなかには、グループネームはあるのに、曲番号の範囲が無いグループもあります。その場合、本機ではグループとして認識されません。これらのグループは以下の編集をすると消去されますのでご注意ください。

- MD の編集（58 ～ 65 ページの操作）
- グループの登録、変更、解除（68～70ページの操作）

グループ機能を使う

1. MDメニュー/設定 MD メニュー / 設定ボタンを押します

2. ⇦ ⇨で"MD Menu"を選んで、決定ボタンを押します

MD Menu

3. ⇦ ⇨ で各設定項目を選んで、決定ボタンを押します

- グループ登録（68ページ参照）

New Group

- グループ変更（69ページ参照）

Group Edit

- グループ解除（70ページ参照）

GroupCancel

- グループ再生機能（71 ページ参照）

Play Area

メ モ

▼ 作業を途中で中止する場合は、■**ボタン**を押します。

グループディスクを作成する（グループ登録）

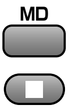
MDに収録されている複数の曲をグループ登録します。ただしグループ登録は、曲番号が１～３のように連続している曲でしか行うことはできません。
曲番号が離れている場合は、ムーブ機能（64～65ページ参照）を使用して、あらかじめ連続した曲番号になるようにしておきます。
１枚のMDディスクに登録できるグループは、最大で99個です。

> *『CDの全曲をまるごと録音する』*（32ページ参照）の手順で録音した場合、すでにCD一枚ごとにグループ登録されています。

グループを登録する

例）12～15曲目を新しいグループに設定します。

準備



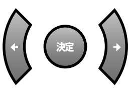
MDボタンを押し、■ボタンを押します

「グループ機能を使う」（67ページ参照）の手順1～3を行います。

1. **“New Group”と表示されているのを確認します**

New Group

2.

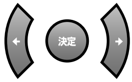


⇦ ⇨でグループの先頭曲を選んで、決定ボタンを押します

文字/数字ボタンでダイレクトに曲を選ぶこともできます。

TRK 12→ 1?

3.



⇦ ⇨でグループの最終曲を選んで、決定ボタンを押します

文字/数字ボタンでダイレクトに曲を選ぶこともできます。

TRK 12→ 15?

“Complete”と表示されると操作終了です。

注 意

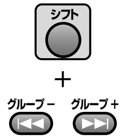
- ◆ **1つの曲を複数のグループに登録することはできません。**たとえば、1～3曲目をグループAに3～5曲目をグループBに、というように3曲目を2つのグループに登録することはできません。
- ◆ 曲を飛び越えてグループ登録することはできません。たとえば1、3、5曲目というような飛び飛びの曲番号を1つのグループとして登録することはできません。
- ◆ すでに登録されているグループと登録しようとしているグループの曲の範囲が重なる場合、登録することはできません。
- ◆ 本機でグループ登録したMDディスクでも、グループ機能のないMDプレーヤーではグループ再生をすることはできません。またその場合、ディスクネームに入力していない文字列が表示されます。これは、グループ登録した情報をディスクネームで管理しているためで、MDプレーヤーの故障ではありません。
- ◆ グループプレイ（71ページ参照）が設定されているときは、グループ登録をすることはできません。

グループディスクを変更する

グループを変更する

例）12～15曲目のグループを10～13曲目に変更します。

準備



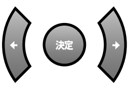
MDの停止中にシフト+グループサーチボタンを押して変更するグループの先頭曲を選びます

「グループ機能を使う」（67ページ参照）の手順1～3を行います。

1. “Group Edit”と表示されているのを確認します

```
Group Edit
```

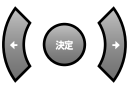
2. ⇦ ⇨ でグループの先頭曲を選んで、決定ボタンを押します



リモコンの**文字/数字ボタン**でダイレクトに選ぶこともできます。

```
TRK 10→ 15?
```

3. ⇦ ⇨で押して、グループの最終曲を選んで、決定ボタンを押します



リモコンの**文字/数字ボタン**でダイレクトに選ぶこともできます。

```
TRK 10→ 13?
```

“Complete” と表示されると操作終了です。

メ モ

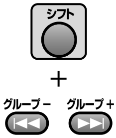
▼ 1つの曲を複数のグループに登録することはできません。

注 意

◆ すでに登録されているグループと、変更しようとしているグループの曲の範囲が重なる場合は、変更ができません。
◆ グループプレイ（71ページ参照）が設定されているときは、変更することはできません。

登録したグループを解除する

準備



MDの停止中にシフト+グループサーチボタンを押して解除するグループの先頭曲を選びます

「グループ機能を使う」（67ページ参照）の手順1～3を行います。

1. **“GroupCancel”と表示されているのを確認します**

GroupCancel

⇩

TRK　12→　15?

2. 

もう一度、決定ボタンを押します

“Complete”と表示されると操作終了です。

注 意

◆ グループプレイ（71ページ参照）が設定されいるときは、グループ解除をすることはできません。

登録したグループをすべて解除する

準備



MDボタンを押し、■ボタンを押します

「グループ機能を使う」（67ページ参照）の手順1～3を行います。

1. **“GroupCancel”と表示されているのを確認します**

GroupCancel

⇩

All?

2. 

もう一度、決定ボタンを押します

“Complete”と表示されると操作終了です。

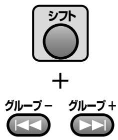
聞きたいグループを選ぶ（グループサーチ機能）

グループ登録されているMDの場合、指定したグループ先頭曲の頭出しを簡単にすることができます。
グループ登録されていない場合は、68ページを参照してグループ登録をしてください。

準備

グループ登録されたMDをセットします

1.



次のグループに進むには･･･

シフト+グループサーチボタンの+を押します

一回押すと次のグループに進み、押した回数だけグループをスキップします。

前のグループに戻るには･･･

シフト+グループサーチボタンの－を押します

一回押すと、前のグループの始めに戻ります。

注 意

◆ プログラム再生が設定されている場合は、グループを選ぶことはできません。
◆ ランダム再生中は、グループを選ぶことはできません。
◆ グループに名前が入力されていない場合は、“No Name”と表示されます。

選択したグループだけ再生する(グループ再生機能)

グループ登録されているMDで、選択したグループだけを再生するように設定することができます。

- **グループプレイ**
  グループサーチ機能（70ページ参照）で選択したグループ内の曲だけ再生します。
- **オールトラックプレイ**
  グループに関係なく、ディスク全体の再生を行います。

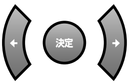
準備 MDが停止していることを確認します

「グループ機能を使う」(67ページ参照)の手順1～3を行います。

1. “Play Area”と表示されているのを確認します

Play　Area

2. ⇦ ⇨ でオールトラックプレイかグループプレイかを選んで、決定ボタンを押します



- グループプレイ

Group

- オールトラックプレイ

All

グループプレイを設定した場合は、[Group]が点灯します。

メモ

▼ お買い上げ時は、オールトラックプレイが設定されています。
▼ 再生モードがグループプレイのときに全曲リピート再生を設定すると、繰り返し再生される曲は、選択されているグループ内の全曲です。
▼ 再生モードがグループプレイのときにランダム再生を設定すると、無作為に再生される曲は、選択されているグループ内の全曲です。

注 意

◆ グループプレイに設定されていると、MDの編集作業（58～65ページ参照)、グループディスクの編集 / 作成（67～70ページ参照）はできません。オールトラックプレイに設定してから操作をしてください。

停止中、本体表示部でMDのディスク情報を見るには



停止中に、表示/文字ボタンを押します

押すたびに表示内容が切り換わります。

- オールプレイモードで、曲番号の指定がないとき（■ **ボタン**を押した状態）

ディスク名* (HIT SONGS)
ディスクの全曲数(16)/ 総再生時間(61'34")

```
HIT SONGS
   16   61:34
```

ディスク名* (HIT SONGS)
録音可能時間 **（42'07"）

```
HIT SONGS
REC    42:07
```

- グループプレイモードで、曲番号の指定がないとき（■ **ボタン**を押した状態）

グループの先頭曲－最終曲(24-35)
選択しているグループ内の全曲数 (12)/ 選択しているグループの総再生時間 (20'56")

```
GRP      24– 35
       12   20:56
```

グループ名* (ALBUM BEST)
グループの先頭曲－最終曲(24-35)

```
ALBUM  BEST
GRP  24–35
```

グループ名* (ALBUM BEST)
録音可能時間 **（22'26"）

```
ALBUM  BEST
REC    22:26
```

- 停止中に ⏮ ⏭ **ボタン**を押すと、以下の表示になります。

曲名表示*（TOMORROW）
選んだ曲の曲番号 (8)/ 再生時間 (3'01")

```
TOMORROW
   8    3:01
```

選んだ曲がグループ登録されている場合
グループ名* (ALBUM BEST)
グループの先頭曲－最終曲(24-35)

```
ALBUM  BEST
GRP  24–35
```

再生中、本体表示部でMDのディスク情報を見るには



再生中に、表示/文字ボタンを押します

押すたびに表示内容が切り換わります。

曲名表示*（TOMORROW）
再生曲の番号 (8)/曲の再生経過時間 (0'48")

```
TOMORROW
   8    0:48
```

曲名表示*（TOMORROW）
再生曲の番号 (8)/ 曲の残り時間 (2'13")

```
TOMORROW
   8    2:13
```

選んだ曲がグループ登録されている場合
グループ名* (ALBUM BEST)
グループの先頭曲－最終曲(24-35)

```
ALBUM  BEST
GRP  24–35
```

メ モ

▼ 録音中に**表示/文字ボタン**を押すと、表示内容が切り換わりますが､録音している入力によって表示内容は異なります。

注 意

◆ 停止中の表示で曲番号を指定した場合は､その曲がグループ登録されていないと**表示/文字ボタン**を押しても表示は切り換わりません。

* ディスク名や曲名、グループ名が入力されていない場合は､**“No Name”**と表示されます。

** 再生専用のMDの場合は表示されません。

画質を調整してより見やすくする

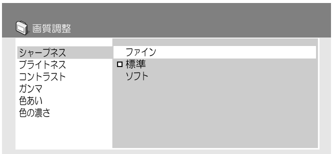
はじめに**DVD/CD ボタン**を押してから、以下の操作をしてください。



↓

項目によって設定画面が異なります。

例 1



例 2



＊ **戻るボタン**を押すと、前の画面に戻ります。

1. ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させます



2. [画質調整]を選んで、決定ボタンを押します



3. ⇧⇩⇦⇨ ボタンと決定ボタンで、各項目を設定します



シャープネス
画像の鮮明度を調整します。
•**ファイン、標準** (お買い上げ時の設定)、**ソフト**

ブライトネス
画面の明るさを調整します。
•**− 20 〜＋ 20** (お買い上げ時の設定：**0**)

コントラスト
最も明るい部分と最も暗い部分との明るさの比率を調整します。
•**− 16 〜＋ 16** (お買い上げ時の設定：**0**)

ガンマ
画像の暗い部分の見えかたを強調します。
•**大、中、小、オフ** (お買い上げ時の設定)

色あい
緑色と赤色のバランスを調整します。
•**緑 9 〜赤 9** (お買い上げ時の設定：**0**)

色の濃さ
色の濃さを調整します。色のりの多いアニメなどで効果があります。
•**− 9 〜＋ 9** (お買い上げ時の設定：**0**)

4. ホームメニューボタンを押して、設定画面を終了します

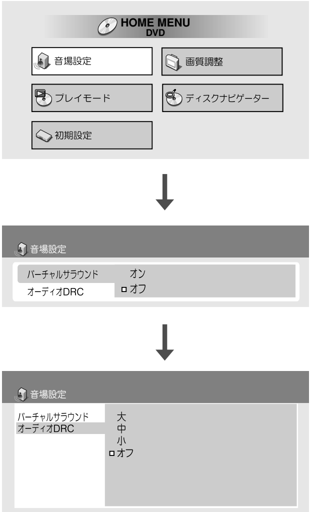


メ モ

▼ ディスクやテレビ（モニター）によっては効果がはっきりしないことがあります。

音場を設定する

はじめに **DVD/CD ボタン**を押してから、以下の操作をしてください。



1. 

ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させます

2. 

[音場設定]を選んで、決定ボタンを押します

3. 

⇧⇩⇦⇨ ボタンと決定ボタンで、各項目を設定します

4. 

ホームメニューボタンを押して、設定画面を終了します

バーチャルサラウンド
左右のフロントスピーカーだけで、臨場感のある立体音場を楽しむときに使用します。
•**オン、オフ**(お買い上げ時の設定)

オーディオ DRC
オーディオDRC(ダイナミックレンジコントロール)を切り換えることで、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生する効果があります。たとえば、深夜に映画を見るようなときに変更します。
•**大、中、小、オフ** (お買い上げ時の設定)

メ モ

- ▼ **[バーチャルサラウンド]** の効果が少ないディスクもあります。
- ▼ **[バーチャルサラウンド]** を **[オン]** に設定していると、バーチャルサラウンドの効果のままMDに録音されます。
- ▼ BGM モードの時は、DVD/CD、USB 入力にのみ効果があります。
- ▼ オーディオ DRC は、ドルビーデジタル音声だけに働きます。
- ▼ ディスクによっては効果の少ないものがあります。

音質を変えて再生する

音楽ライブが収録された DVD や映画が収録されているDVDなど、収録されている内容によって音質を変え、より良いサウンドを楽しむことができます。
お買い上げ時は、**"Flat"** に設定されています。

SFC ボタンを押します



押すたびに以下のように切り換わります。Flat以外に設定されたときは、[TONE]が点灯します。

- 低音、高音が強調され、迫力のある音質

Rock

- コンサートホールのような広がり感のある音質

Hall

- セリフがはっきりする音質

Drama

- 通常の音質

Flat

注 意

◆ SFCでの音質の設定を行うと、高音(Treble)や低音(Bass)の設定は強制的に 0 になり、Bass Boost は強制的に Off になります。

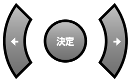
高音と低音を調整する

再生する曲の高音（Treble）と低音（Bass）の音質を、それぞれ調整することができます。
お買い上げ時は、**Bass : 0**、**Treble : 0** に設定されています。

1. サウンドボタンを押します

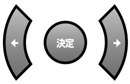


2. ⇦ ⇨ で "Tone" を選んで、決定ボタンを押します



Tone

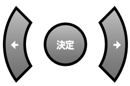
3. ⇦ ⇨ で "Bass" のレベルを調整して、決定ボタンを押します



- 低音の音質を調整します

Bass

4. ⇦ ⇨ で "Treble" のレベルを調整して、決定ボタンを押します



- 高音の音質を調整します

Treble

メモ

▼ 調整範囲は、± 5 までです。
▼ 0 以外に設定されたときは、[TONE]が点灯します。

注 意

◆ 高音や低音を調整すると、SFC での音質の設定は Flat（通常の音質）になり、Bass Boost は強制的に Off になります。

低音を強調する

低音を強調して迫力ある低音で再生します。
お買い上げ時は、**“Off”** に設定されています。

1. BASS BOOST

BASS BOOST ボタンを押します

現在の設定が表示されます。

Off

2. BASS BOOST

押すたびに “On” と “Off” が切り換わります

On

Off

“On” にすると、**[BB]**が点灯します。

メ モ

▼ **サウンドボタン**を押して、サウンドメニューから設定することもできます。

注 意

◆ Bass Boost の音質の設定を行うと、SFC での音質の設定はFlatになり、高音や低音の設定は強制的に 0 になります。

圧縮音声を高音質化する

WMA、MP3、MPEG-4 AACなどの圧縮音声を再生するときに効果的です。圧縮音声は圧縮処理される際、人が感じ取りにくい部分の音声が削除されてしまいます。サウンドレトリバー機能では、削除されてしまった部分の音声をDSP処理によって補い、音の密度感、抑揚感を向上させて再生します。
お買い上げ時は、MD、F.Audio In、USB 入力で “On” に設定されています。

1.

サウンドレトリバーボタンを押します

SOUND RETRIEVER

S.retriever Off

2.

押すたびに “On” と “Off” が切り換わります

SOUND RETRIEVER

On

Off

“On” にすると、本体の**サウンドレトリバーボタン**が点灯します。

8 いろいろな音色を楽しむ

目覚ましタイマー

本機の時計機能を使うと、指定した曜日の同じ時刻に再生を開始して終了させることができます。たとえば、お気に入りのCDを目覚まし時計の代わりに再生させることができます。

例）月曜日と木曜日の午前7時40分に再生がスタートし、午前8時15分に再生が終わるようにタイマーをセットするとき

時計を合わせていないと、タイマーの設定ができません。（22ページ参照）

1. 再生したい機器の入力に切り換えます

TUNER (FM/AM)

ラジオ放送
FM/AMボタンを押してから、好きな放送局を受信します。

DVD/CD

DVD/CD
ディスクをセットし、**DVD/CDボタン**を押します。

MD

MD
MDをセットし、**MDボタン**を押します。

USB

USBメモリー
USBメモリーをセットし、**USBボタン**を押します。

INPUT

外部機器
INPUTボタンを押して、F. Audio InまたはLineを選択したあと、外部機器の準備しておきます。

2. 音量の調整を行います

設定した音量でタイマーがオンになります。

音量 − ＋

3. タイマー／時計ボタンを押します

タイマー/時計

4. 時刻を表示中にタイマー／時計ボタンをもう一度押します

タイマー/時計

5. ⇦ ⇨で“Wake−up”を選んで、決定ボタンを押します

Wake−up

6. ⇦ ⇨で“Timer Edit”を選んで、決定ボタンを押します

Timer Edit

7. ⇦ ⇨で開始時刻の「時」を合わせて、決定ボタンを押します

例の場合は、“7 am”にします。

On 7:00am

8. ⇦ ⇨で開始時刻の「分」を合わせて、決定ボタンを押します

再生開始時刻が設定されます。

例の場合は、“40”にします。

On 7:40am

9. ⇦ ⇨で終了時刻の「時」を合わせて、決定ボタンを押します

例の場合は、“8 am”にします。

Off 8:40am

10. ⇦ ⇨で終了時刻の「分」を合わせて、決定ボタンを押します

例の場合は、“15”にします。

Off 8:15am

11. ⇦⇨で設定したい「曜日」を合わせて、⇧⇩で設定するかしないかを選んで、決定ボタンを押します

例の場合は“Mon”と“Thu”にします。

＊M＊＊T＊＊　Thu

＊は設定しない曜日を表します。

12. 以降すべての「曜日」の設定が終わると設定内容が表示されます

＊M＊＊T＊＊　ok?

⇩

決定ボタンで確定します。

＊M＊＊T＊＊　ok

設定内容を表示し、[時計マーク]と[日の出マーク]が点灯します。

13. 電源 ⏻電源ボタンを押して、電源をオフにします

タイマーインジケーターが点灯します。

途中で設定を中止にするには

■ボタンを押します

再度、目覚ましタイマーを設定するときは、はじめから設定し直してください。

設定を解除 / 再設定するには

1. 電源 ⏻電源ボタンを押して、電源をオンにします

2. タイマー/時計 タイマー / 時計ボタンを押します

3. タイマー/時計 時刻を表示中にタイマー / 時計ボタンをもう一度押します

4. ⇦⇨で“Wake－up”を選んで、決定ボタンを押します

Wake－up

5. 設定を解除する場合は、⇦⇨で“Timer Off”にします

目覚ましタイマーが解除されます。

Timer　Off

再設定する場合は、⇦⇨で“Timer On”にします

Timer　On

6. 決定ボタンを押します

タイマーの設定内容を確認するには

1. 

⏻ 電源ボタンを押して、電源をオフにします

2. 

タイマー / 時計ボタンを押します

電源が入り、現時刻を表示します。

3. 

時刻を表示中にタイマー / 時計ボタンをもう一度押します

設定内容を表示します。

メ モ

▼ 表示されるアルファベットは以下の曜日を表します。

S（Sun）：日曜日
M（Mon）：月曜日
T（Tue）：火曜日
W（Wed）：水曜日
T（Thu）：木曜日
F（Fri）：金曜日
S（Sat）：土曜日

▼ 再生させたい機器や音量ボリュームなどの設定した内容は、解除しない限り指定した曜日の同時刻に実行されます。

▼ 1回の目覚ましタイマーの継続時間が23時間 50 分を超える設定はできません。

注 意

◆ 停電したり電源コードを抜くと、時計表示されません。この場合は目覚ましタイマーの設定も解除されていますので、時刻を合わせてからあらためて目覚ましタイマーを設定し直してください。

◆ 開始時刻と終了時刻を同じにすると、目覚ましタイマーは動作しません。

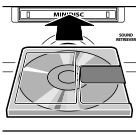
タイマーを使う 9 タイマー録音

本機の時計機能を使うと、決めた曜日の同じ時刻にラジオ放送、またはLINE端子に接続した機器の録音を開始して終了させることができます。たとえば、お出かけするときや深夜のラジオ放送をタイマー録音を使ってMDに録音することができます。

例）月曜日から金曜日の午前7時40分から午前8時15分までタイマー録音する場合

時計を合わせていないと、タイマーの設定をすることはできません。(22ページ参照)

1. 録音用MDをセットします



ラベルを上にしてMDの矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。

2. 録音したい機器の準備をします

ラジオ放送

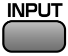
TUNER (FM/AM)



FM/AMボタンを押してから、録音したい放送局を受信します。

外部機器

INPUT



INPUTボタンを押して、Lineを選択したあと、LINE端子に接続した機器の準備をしておきます。

3. タイマー / 時間ボタンを押します

タイマー/時計

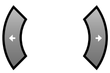


4. 時刻を表示中にタイマー/時間ボタンをもう一度押します

タイマー/時計

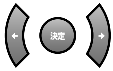


5. ⇦ ⇨で"Timer REC"を選んで、決定ボタンを押します



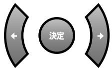
Timer REC

6. ⇦ ⇨で"Timer Edit"を選んで、決定ボタンを押します



Timer Edit

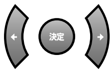
7. ⇦ ⇨で開始時刻の「時」を合わせて、決定ボタンを押します



例の場合は、"7 am"にします。

On 7:00 am

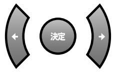
8 ⇦ ⇨で開始時刻の「分」を合わせて、決定ボタンを押します



再生開始時刻が設定されます。
例の場合は、"40"にします。

On 7:40 am

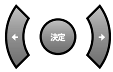
9. ⇦ ⇨で終了時刻の「時」を合わせて、決定ボタンを押します



例の場合は、"8 am"にします。

Off 8:40 am

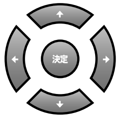
10. ⇦ ⇨で終了時刻の「分」を合わせて、決定ボタンを押します



例の場合は、"15"にします 。

Off 8:15 am

11.



⇦⇨で設定したい「曜日」を合わせて、⇧⇩で設定するかしないかを選んで、決定ボタンを押します

例の場合は“Mon”から“Fri”にします。

```
＊MTWTF＊   Fri
```

12.

以降すべての「曜日」の設定が終わると設定内容が表示されます

```
＊MTWTF＊  ok?
```

⇩



決定ボタンで確定します。

```
＊MTWTF＊  ok
```

設定内容を表示し、[◷]と[○]が点灯します。

13.



⏻電源ボタンを押して、電源をオフにします

タイマーインジケーターが点灯します。

途中で設定を中止にするには



■ボタンを押します

再度タイマー録音を設定するときは、始めから設定し直してください。

タイマー録音中に録音を途中で止めるには



本体のREC/STOPボタンを押します

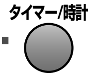
設定を解除 / 再設定するには

1.



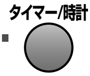
⏻電源ボタンを押して、電源をオンにします

2.



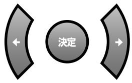
タイマー / 時計ボタンを押します

3.



時刻を表示中にタイマー / 時計ボタンをもう一度押します

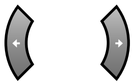
4.



⇦⇨で“Timer REC”を選んで、決定ボタンを押します

```
Timer  REC
```

5.



設定を解除する場合は、⇦⇨で“Timer Off”にします

タイマー録音が解除されます。

```
Timer  Off
```

再設定する場合は、⇦⇨で“Timer On”にします

```
Timer  On
```

6.

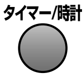


決定ボタンを押します

タイマー録音の設定内容を確認するには

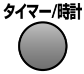
1. 

⏻電源ボタンを押して、電源をオフにします

2. 

タイマー / 時間ボタンを押します

電源が入り、現在の時刻を表示します。

3. 

時刻を表示中にタイマー / 時間ボタンをもう一度押します

設定内容を表示します。

メ モ

▼ MD に録音するときに、LP2 または LP4 モード（34 ページ参照）に設定すると、より長時間録音できます。
▼ 1 回のタイマー録音の継続時間が 23 時間 50 分を超える設定はできません。

注 意

◆ タイマー録音中は、音量はMIN（最小）になり音は出ません。なお、タイマー録音終了後も音量はMIN（最小）のままです。タイマー録音開始後の音声を聞く場合は、音量を調整してください。
◆ タイマー録音は設定を解除しない限り、指定した曜日の同じ時刻に実行されます。
◆ タイマー録音では録音準備のため、開始時刻の約30秒前に電源が入りますので、1～10の手順を開始時刻の 1 分以上前に行ってください。1分以上前に手順を行わなかった場合、録音ができない場合があります。
◆ タイマー録音動作中の表示の明るさは、"Dark"の設定になります。（91ページ参照）

スリープタイマー

設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。音楽を聴きながら眠ったり、録音したまま外出したりするときに便利です。
設定できる時間は、5分、15分、30分、60分、90分の5種類と、スリープオートです。
時計を合わせていないと、スリープタイマーを使用することはできません。（22ページ参照）

1. スリープボタンを押します

スリープ

現在の設定を表示します。

2. 押すたびに以下のように切り換わります

スリープ

スリープタイマーを設定すると、表示部の[]が点灯します。

→ Auto* → 5分 → 15分 → 30分 → 60分 → 90分 → Off →

* スリープオート(Sleep Auto)

CD(R/RW) MD DivX® Video CD などのディスクの再生中、またはMDの録音中に選ぶことができます。
再生または録音が終了して本機が停止してから約1分後に自動的に電源が切れます。

3. 決定ボタンを押します

決定

メモ

▼ スリープタイマー設定後に、上記手順1を行うことで、電源が切れるまでの時間を確認することができます。
▼ スリープタイマーを設定すると、自動的にALC（オートレベルコントロール）が働き、それぞれの曲の音量レベルを一定に調整します。

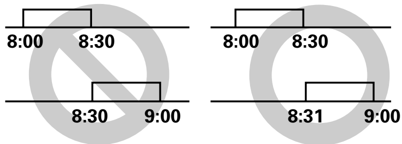
注意

◆ スリープ動作中の表示の明るさは、“Dark”の設定になります。（91ページ参照）
◆ Video CD では、PBC再生中やリピート再生中には、スリープオートは動作しません。
◆ DVD、USBメモリー、MP3/WMA、MPEG-4 AAC、JPEGなどを再生中は、スリープオートは動作しません。
◆ リピート再生しているCDやMDなどでは、Sleep Autoの設定はできません。

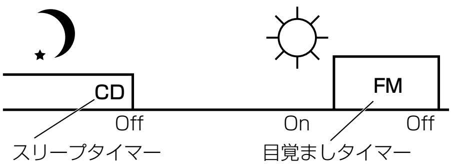
タイマーを同時に使ったとき

目覚ましタイマーとタイマー録音を組み合わせて使う場合、以下の注意が必要です。

◆ 目覚ましタイマーとタイマー録音が連続する設定をするときは、設定時刻が重ならないように設定間隔を1分以上あけてください。設定時間に間隔があいていないと、あとに動作予定のタイマー録音が動作しません。



◆ タイマー録音、目覚ましタイマー、スリープタイマーのタイマー動作が重なったときは、先に動作する方が優先します。
また、開始時刻が重なったときはタイマー録音が優先されます。
◆ スリープタイマーと目覚ましタイマーを組み合わせて使うことができます。
たとえば、夜はCDを聞きながらスリープタイマーで電源をオフにして寝て、朝はFMで目覚めるといったことができます。



初期設定を変更する



1. **ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させます**

2. **[初期設定]を選択して、決定ボタンを押します**

ディスクの再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。

3. **⇧ ⇩ ⇦ ⇨ ボタンと決定ボタンを使って、各項目を設定します**

●：お買い上げ時の設定

映像出力

設定項目	設定内容
テレビ画面 お使いのテレビに合わせてテレビ画面の縦横比を設定します。	●**4:3(レターボックス):** 従来サイズのテレビと接続して、16:9の映像をレターボックス方式(画面の上下に黒い帯を入れて、4:3の画面で16:9の映像を再現する方式)で見たいとき。 ○**4:3（パンスキャン）:** 従来サイズのテレビと接続して、16:9の映像をパンスキャン方式(16:9の映像の左右をカットして4:3の画面全体に映し出す方式)で見たいとき。**この設定はディスクが対応していないとできません。** ○**16:9 :** ワイド（16:9）テレビと接続したとき。

お使いのテレビが従来サイズ(4:3)のとき 		お使いのテレビがワイドテレビ(16:9)のとき 	
本機の設定	映像の見えかた	本機の設定	映像の見えかた
4:3 (レターボックス)	16:9の映像  4:3の映像 	16:9(ワイド)	16:9の映像  4:3の映像 
4:3 (パンスキャン)	16:9の映像  4:3の映像 		

* 画面の比率（アスペクト比）の切り換えができないディスクもあります。ディスクのジャケットなどで確認してください。

設定項目	設定内容
D2 映像出力 D1/D2映像端子に出力される映像をインターレースかプログレッシブに設定します。	○**プログレッシブ：**プログレッシブ映像信号に対応しているテレビまたはプロジェクターのとき。 ●**インターレース：**プログレッシブ映像信号に対応していないテレビまたはプロジェクターのとき。 ➡ **[プログレッシブ]**を選択して決定を押すと確認の画面が出ます。変更を行う場合は、**決定ボタン**を押してください。変更しない場合は、その他のボタンを押してください。 ▼ **[プログレッシブ]**と**[インターレース]**を切り換えるとき、映像が乱れることがあります。 ▼ **[プログレッシブ]**と**[インターレース]**を再生中に切り換えることはできません。ディスクを停止させてから切り換えてください。

• 本機とプログレッシブ対応テレビの互換性について
現在一部のプログレッシブ対応テレビは本機と完全な互換性が取れていないため、画像に乱れが生じる場合があります。プログレッシブ再生時に不具合が生じた場合は本機の出力をインターレースに切り換えてください。また、当社のプログレッシブ対応テレビと本機との互換性についてご質問のある場合は当社のカスタマーサポートセンターへお問い合わせください(裏表紙参照)。

●：お買い上げ時の設定

言語

設定項目	設定内容
音声言語 DVD ビデオの音声言語を変更します。	●**日本語：**日本語にするとき。 ○**英語：**英語にするとき。 ○**その他の言語：**136 言語の中から任意の音声を選びます。（89 ページ参照） ▼ ディスクによっては、ディスクで決められている音声の言語になることがあります。 ▼ ディスクによっては、音声の言語をディスクメニューで選択するようになっています。このときは、リモコンの**DVDメニューボタン**を押してディスクメニューを表示させてから音声の言語を選択してください。
字幕言語 DVD ビデオの字幕言語を変更します。	●**日本語：**日本語にするとき。 ○**英語：**英語にするとき。 ○**その他の言語：**136 言語の中から任意の字幕を選びます。（89 ページ参照）

設定項目	設定内容
	▼ ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。 ▼ ディスクによっては、字幕の言語をディスクメニューを使用して選択するようになっています。このときは、リモコンの**DVDメニューボタン**を押してディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選択してください。
DVD メニュー言語 DVDビデオのディスクメニューに表示する言語を変更します。	●**字幕言語に連動：[字幕言語]**で選択されている言語でメニュー画面を表示するとき。 ○**日本語：**日本語でメニュー画面を表示するとき。 ○**英語：**英語でメニュー画面を表示するとき。 ○**その他の言語：**136 言語の中から任意の言語を選びます。（89 ページ参照）
字幕表示 DVD ビデオの字幕を表示する / しないを設定します。	●**オン：**字幕を表示するとき。 ○**オフ：**字幕を表示しないとき。ただし、DVD ビデオの中には強制的に字幕を表示するディスクもあります。

●：お買い上げ時の設定

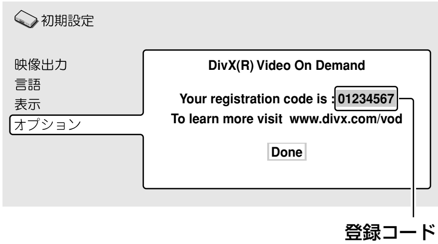
表示

設定項目	設定内容
画面表示言語 テレビ画面の操作表示言語を設定します。	●**日本語：**操作表示言語を日本語にするとき。 ○ **English：**操作表示言語を英語にするとき。
アングルマーク表示 アングルマーク（🎥）を表示する / しないを設定します。	●**オン：**テレビ画面に🎥マークを表示するとき。 ○**オフ：**テレビ画面に🎥マークを表示しないとき。

オプション

設定項目	設定内容
視聴制限 暴力シーンなどを含む DVD ビデオには、視聴制限のレベルを設けたものがあります（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます）。本機のレベルを小さくしておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。	**◆暗証番号** **◆レベル変更** **◆国 / 地区コード** **➡ 暗証番号を登録するには** **①[暗証番号]を選んで決定ボタンを押します** **②数字（0～9）ボタンで４桁の暗証番号を入力して、決定ボタンを押します** ▼ 暗証番号はメモしておくことをお勧めします。 ▼ 暗証番号を忘れてしまったときは、本機を初期化して、再度設定してください（111 ページ参照）。 ▼ ディスクによっては、視聴制限されたシーンだけをとばして再生するものもあります。詳しくはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。 ▼ 視聴制限されたディスクを再生すると、暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。このときは、暗証番号を入力しないと再生することができません。 **➡ 暗証番号を変更するには** **①[暗証番号変更]を選んで決定ボタンを押します** **②数字（0～9）ボタンですでに登録してある暗証番号を入力して、決定ボタンを押します** **③数字（0～9）ボタンで新しい暗証番号を入力して、決定ボタンを押します** **➡ レベルを変更するには** **①[レベル変更]を選んで決定ボタンを押します** **②数字（0～9）ボタンで４桁の暗証番号を入力して、決定ボタンを押します** **③レベルを選んでから、決定ボタンを押します** **➡ 国 / 地区コードを変更するには** 国 / 地区コード表（90 ページ参照）を見ながら操作してください。 **①[国コード]を選んで決定ボタンを押します** **②数字（0～9）ボタンですでに登録してある暗証番号を入力して、決定ボタンを押します** **③数字（0～9）ボタンで[コード]、または ⇧ ⇩ で[国 / 地区コード表]を入力してから、決定ボタンを押します**

設定項目	設定項目　設定内容
	▼ 国/地区コードを変更したときは、ディスクを一度取り出してください。再度ディスクをセットすると変更が有効になります。
DivX VOD DivX VOD フォーマットで記録されたファイルを本機で再生する場合、そのDivX VOD ファイルの配信先に対して本機の登録コードが必要な場合があります。その場合は、Displayで確認した登録コードをお使いください。	◆ Display ➡DivX VOD 登録コードを確認するには ①[DivX（R）VOD]を選択し、⇨ ボタンを押します。 ②[Display]を選択して決定ボタンを押します。



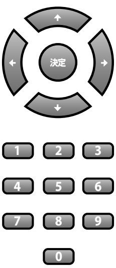
▼ DivX VOD フォーマットで記録されたファイルは DRM コピープロテクション（著作権保護）がかかっており、登録されたプレーヤーでのみ再生することができます。
▼ 本機の登録コードが承認されていないDivX VOD ファイルを再生すると「Authorization Error」と表示され再生することができません。

注 意

◆ DivX VOD ファイルには視聴回数が設定されているものがあります。そのようなDivX VOD ファイルを本機で再生すると残りの視聴回数がOSD画面に表示されます。残りの視聴回数が0のファイルを本機が読み込むと「Rental Expired」と表示され再生することができません。また、視聴回数の設定されていない DivX VOD ファイルについては、OSD 画面には残りの視聴回数は表示されず、何度でも再生することができます。

言語の設定で［その他の言語］を選んだとき

言語コード表（90 ページ参照）にある 136 言語の中から選ぶことができます。DVD に収録されていない言語を設定したときは、収録されているいずれかの言語でメニュー画面が表示されます。



1. [その他の言語]を選択して、決定ボタンを押します

2. ⇧ ⇩ ⇦ ⇨　ボタンまたは数字ボタンを使って[言語表]または[コード]を選んで、決定ボタンを押します

言語によってはコード番号しか表示されないものもあります。詳しくは言語コード表（90 ページ参照）をご覧ください。

言語コード表

言語名(言語コード), **入力コード**

Japanese (ja), **1001**
English (en), **0514**
French (fr), **0618**
German (de), **0405**
Italian (it), **0920**
Spanish (es), **0519**
Chinese (zh), **2608**
Dutch (nl), **1412**
Portuguese (pt), **1620**
Swedish (sv), **1922**
Russian (ru), **1821**
Korean (ko), **1115**
Greek (el), **0512**
Afar (aa), **0101**
Abkhazian (ab), **0102**
Afrikaans (af), **0106**
Amharic (am), **0113**
Arabic (ar), **0118**
Assamese (as), **0119**
Aymara (ay), **0125**
Azerbaijani (az), **0126**
Bashkir (ba), **0201**
Byelorussian (be), **0205**
Bulgarian (bg), **0207**
Bihari (bh), **0208**
Bislama (bi), **0209**
Bengali (bn), **0214**
Tibetan (bo), **0215**
Breton (br), **0218**
Catalan (ca), **0301**
Corsican (co), **0315**
Czech (cs), **0319**
Welsh (cy), **0325**
Danish (da), **0401**
Bhutani (dz), **0426**
Esperanto (eo), **0515**
Estonian (et), **0520**
Basque (eu), **0521**
Persian (fa), **0601**
Finnish (fi), **0609**
Fiji (fj), **0610**
Faroese (fo), **0615**
Frisian (fy), **0625**
Irish (ga), **0701**
Scots-Gaelic (gd), **0704**
Galician (gl), **0712**
Guarani (gn), **0714**
Gujarati (gu), **0721**
Hausa (ha), **0801**
Hindi (hi), **0809**
Croatian (hr), **0818**
Hungarian (hu), **0821**
Armenian (hy), **0825**
Interlingua (ia), **0901**
Interlingue (ie), **0905**
Inupiak (ik), **0911**
Indonesian (in), **0914**
Icelandic (is), **0919**
Hebrew (iw), **0923**
Yiddish (ji), **1009**
Javanese (jw), **1023**
Georgian (ka), **1101**
Kazakh (kk), **1111**
Greenlandic (kl), **1112**
Cambodian (km), **1113**
Kannada (kn), **1114**
Kashmiri (ks), **1119**
Kurdish (ku), **1121**
Kirghiz (ky), **1125**
Latin (la), **1201**
Lingala (ln), **1214**
Laothian (lo), **1215**
Lithuanian (lt), **1220**
Latvian (lv), **1222**
Malagasy (mg), **1307**
Maori (mi), **1309**
Macedonian (mk), **1311**
Malayalam (ml), **1312**
Mongolian (mn), **1314**
Moldavian (mo), **1315**
Marathi (mr), **1318**
Malay (ms), **1319**
Maltese (mt), **1320**
Burmese (my), **1325**
Nauru (na), **1401**
Nepali (ne), **1405**
Norwegian (no), **1415**
Occitan (oc), **1503**
Oromo (om), **1513**
Oriya (or), **1518**
Panjabi (pa), **1601**
Polish (pl), **1612**
Pashto, Pushto (ps), **1619**
Quechua (qu), **1721**
Rhaeto-Romance (rm), **1813**
Kirundi (rn), **1814**
Romanian (ro), **1815**
Kinyarwanda (rw), **1823**
Sanskrit (sa), **1901**
Sindhi (sd), **1904**
Sangho (sg), **1907**
Serbo-Croatian (sh), **1908**
Sinhalese (si), **1909**
Slovak (sk), **1911**
Slovenian (sl), **1912**
Samoan (sm), **1913**
Shona (sn), **1914**
Somali (so), **1915**
Albanian (sq), **1917**
Serbian (sr), **1918**
Siswati (ss), **1919**
Sesotho (st), **1920**
Sundanese (su), **1921**
Swahili (sw), **1923**
Tamil (ta), **2001**
Telugu (te), **2005**
Tajik (tg), **2007**
Thai (th), **2008**
Tigrinya (ti), **2009**
Turkmen (tk), **2011**
Tagalog (tl), **2012**
Setswana (tn), **2014**
Tonga (to), **2015**
Turkish (tr), **2018**
Tsonga (ts), **2019**
Tatar (tt), **2020**
Twi (tw), **2023**
Ukrainian (uk), **2111**
Urdu (ur), **2118**
Uzbek (uz), **2126**
Vietnamese (vi), **2209**
Volapük (vo), **2215**
Wolof (wo), **2315**
Xhosa (xh), **2408**
Yoruba (yo), **2515**
Zulu (zu), **2621**

国／地区コード表

国名／地区名 , **入力コード , 国／地区コード**

アメリカ, **2119, us**
アルゼンチン, **0118, ar**
イギリス, **0702, gb**
イタリア, **0920, it**
インド, **0914, in**
インドネシア, **0904, id**
オーストラリア, **0121, au**
オーストリア, **0120, at**
オランダ, **1412, nl**
カナダ, **0301, ca**
韓国, **1118, kr**
シンガポール, **1907, sg**
スイス, **0308, ch**
スウェーデン, **1905, se**
スペイン, **0519, es**
タイ, **2008, th**
台湾, **2023, tw**
中国, **0314, cn**
チリ, **0312, cl**
デンマーク, **0411, dk**
ドイツ, **0405, de**
日本, **1016, jp**
ニュージーランド, **1426, nz**
ノルウェー, **1415, no**
パキスタン, **1611, pk**
フィリピン, **1608, ph**
フィンランド, **0609, fi**
ブラジル, **0218, br**
フランス, **0618, fr**
ベルギー, **0205, be**
ポルトガル, **1620, pt**
香港, **0811, hk**
マレーシア, **1325, my**
メキシコ, **1324, mx**
ロシア, **1821, ru**

表示全体の明るさをかえる

部屋の明るさに応じて表示の明るさを、明るい設定（Light）と暗い設定（Dark）に切り換えることができます。ディマー機能といいます。お買い上げ時は、明るい設定（Light）になっています。

1. MDメニュー/設定

MD メニュー / 設定ボタンを押します

2. 決定

⇦ ⇨で "Dimmer" を選んで、決定ボタンを押します

Dimmer

3.

⇦ ⇨ でお好みの明るさを選びます

明るくするときは、"Light" を選びます。

Light

暗くするときは、"Dark" を選びます。

Dark

4. 決定

決定ボタンを押します

メモ

▼ スリープタイマーやタイマー録音が設定されているときは、ディマー機能の設定によらず、表示は暗くなります。

ボリュームの設定をかえる

最小音量値から最大音量値までのボリュームの変化ステップ量が 50 ステップのノーマルモードと、80ステップのファインモードとがあります。お買い上げ時は、ノーマルモードになっています。ファインモードにすると、小さな音量のときに微調整がしやすくなります。

1. 電源

⏻ 電源ボタンを押して、電源をオフにします

2. MDメニュー/設定

MD メニュー / 設定ボタンを押します

3. 決定

⇦ ⇨ で "Volume Mode" を選んで、決定ボタンを押します

Volume　Mode

4.

⇦ ⇨ でボリュームの設定を選びます

ノーマルモードのときは、"Normal" を選びます。

Normal

ファインモードのときは、"Fine" を選びます。

Fine

5. 決定

決定ボタンを押します

電源がオフになります。
この設定を変えると、ボリューム値は、"MIN" にリセットされます。
ファインモードの設定時にボリュームを操作すると表示窓に

Volume [F]
10

と表示されます。
(ボリューム 10 を設定した例)

時計の表示モードをかえる

時計の表示を、12時間表示と24時間表示とに切り換えることができます。お買い上げ時は、12 時間表示になっています。

1. ⏻ 電源ボタンを押して、電源をオフにします

2. MD メニュー / 設定ボタンを押します

3. ⇦ ⇨ で "Hour Format" を選んで、決定ボタンを押します

Hour Format

4. ⇦ ⇨ でお好きな表示を選択します

12 時間表示

12–Hour

24 時間表示

24–Hour

5. 決定ボタンを押します

電源がオフになります。

キーロック機能を使う

この機能をオンにすると、本体の操作ボタンがすべて使用できなくなります。
小さなお子さまのいる家庭でのいたずら防止に便利な機能です。
お買い上げ時は、キーロック機能はオフに設定されています。

1. ⏻電源ボタンを押して電源をオフにします

2. MDメニュー/設定ボタンを押します

3. ⇦ ⇨ で "Key Lock" を選んで、決定ボタンを押します

Key Lock

4. ⇦ ⇨で、キーロック機能のオン / オフを選びます

キーロック機能のオンのとき

Lock ON

キーロック機能のオフのとき

Lock OFF

5. 決定ボタンを押します

電源がオフになります。

外部機器と接続する

本機には、外部機器の接続用の端子として、本体後面部にアナログ入出力端子があります。また、本体前面部にはアナログ入力端子とUSB入力端子があります。USBメモリーの再生については29ページを参照してください。

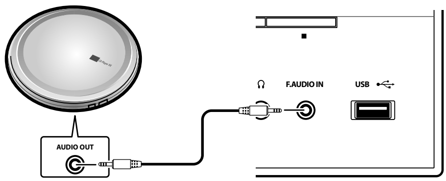
本体前面部のF.AUDIO IN端子でアナログ接続する場合

ポータブルCDプレーヤーやMDプレーヤーなどのアナログ出力端子のある機器を、前面部のF. AUDIO IN端子に接続することができます。F. AUDIO IN端子に接続すると入力は自動で「F. Audio In」に切り換わります。接続した機器を本機で聞いたり、本機のMDで録音したりすることもできます。

接続のしかた

本機の**F. AUDIO IN端子**と接続機器のアナログ出力端子やヘッドホン出力端子を、市販のステレオミニケーブルで接続します。

ポータブルCDプレーヤーなど



メモ

▼ 外部機器のヘッドホン出力端子と接続しているときは、外部機器の音量調節によって本機のスピーカーから聞こえる音量が変わります。

注意

◆ MDに録音しているときは、**F.AUDIO IN端子**に接続しても入力は「F. Audio In」に切り換わりません。

◆ タイマー機能を設定している場合は、**F.AUDIO IN端子**に接続していても入力は「F.Audio In」に切り換わりません。

本体後面部のLINE端子でアナログ接続する場合

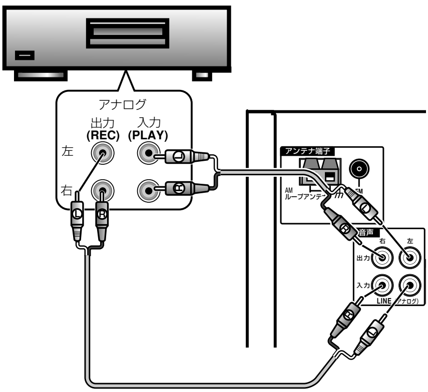
CD-R、MD、カセットデッキなどのアナログ入出力端子のある機器を、本機に接続することができます。接続した機器を本機で聞いたり、本機のMDで録音したりすることもできます。また、接続した機器で本機のMDなどの音声を録音することができます。

接続のしかた

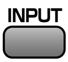
本機の**LINE（アナログ）入力端子**と接続機器のアナログ出力端子、本機の**LINE（アナログ）出力端子**と接続機器のアナログ入力端子とを、それぞれ市販のオーディオコードで接続します。

• 詳しくはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

カセットデッキなどの機器



外部機器を本機で聞くには



INPUTボタンを押して“Line”を選びます

押すたびに“Line”と“F. Audio In”が切り換わります。

DVDの再生について

- 本機はDVDビデオフォーマット、またはVRモードで記録されたDVD-R/RW/R DL（2層ディスク）ディスクを再生することができます。ただし、ファイナライズしていないDVDビデオフォーマットのDVD-R/RWディスクを再生することはできません。
- 本機はDVDビデオフォーマットで記録されたDVD+R/RW/R DL（2層ディスク）ディスクを再生することができます。ただし、ファイナライズしていないディスクは再生することができません。また、録画時の編集内容どおりには再生されないことがあります。
- DVDレコーダーで編集(シーン消去など)をした箇所を再生すると、そのつなぎ目で一瞬映像が止まります。これは故障ではありません。

※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。また、DVDビデオフォーマット記録、およびVRモードでの記録については105ページもあわせてご覧ください。
VRモードで記録できるディスクはDVD-R/RWだけです。また、VRモードで記録されたDVD-R/RWを本機にセットすると「DVD VR」と表示されます。

- 本機はMP3/WMA/JPEG/MPEG-4 AAC/DivX®が記録されたDVD-R/RWを再生することができます。ただし、ディスクによっては「再生ができない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などが起きることがあります。
- UDF Bridge（UDFブリッジ）フォーマットに準拠して記録したディスクを使用してください。
- マルチボーダー（104ページ）には対応していません。マルチボーダーディスクのときは、最初のボーダーのみ再生します。
- 1枚のディスクに最大299フォルダーまで、各フォルダーごとにフォルダーとトラックの数の合計で648まで認識・再生することができます。ただし、フォルダーの構成によっては、すべてのフォルダー、トラックが認識・再生できない場合があります。

CD-R/CD-RWディスクの再生について

- 本機は音楽CDフォーマット、ビデオCDフォーマット、MP3やWMAの音楽データ、またはJPEGの静止画像が記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。ただし、ディスクによっては「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などが起きることがあります。
- 本機は再生専用機です。CD-R/CD-RWディスクに録音することはできません。
- ファイナライズしていないCD-R/CD-RWディスクを再生することはできません。

※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

- ISO9660レベル1/レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- マルチセッション（104ページ参照）には対応していません。マルチセッションディスクのときは、最初のセッションのみ再生します。
- 1枚のディスクに最大299フォルダーまで、各フォルダーごとにフォルダーとトラックの数の合計で648まで認識・再生できます。

DualDiscの再生について

- 「DualDisc」は、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入したり、取り出しをしたりするときに再生面の反対側の面に傷がつく場合があります。傷がついた面は再生すると不具合が出る場合があります。
- DVD面ではないオーディオ面は、一般的なCDの物理的規格に準拠していないために、再生できないことがあります。
- 「DualDisc」のDVDの面は再生可能です。ただし、DVDオーディオは再生できません。
- なお、「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

MP3 の再生について

- MPEG1 オーディオレイヤー 3 のサンプリング周波数 32 kHz、44.1 kHz、または 48 kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは**[このフォーマットは再生できません]**と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート（VBR: Variable Bit Rate）には対応していません(再生できる場合、表示窓の時間表示が速くなったり、遅くなったりします)。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- 音質的には、記録ビットレート 128 kbps を推奨します。

WMA の再生について

- 外装箱に印刷された、Windows Media® のロゴは、本機がWMAデータの再生に対応していることを示しています。
  WMA とは、「Windows Media Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。

  Windows Media、Windows のロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- WMA とは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7, 7.1, Windows Media Player for Windows XP、または Windows Media 9 Series を使用してエンコードすることができます。
- サンプリング周波数 32 kHz、44.1 kHz、または48 kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは**[このフォーマットは再生できません]**と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)、またはロスレスエンコーディング(loss-less encoding) には対応していません。
- DRM コピープロテクト（著作権保護）のかかった WMA ファイルは再生できません。
- 「.wma」、または「.WMA」という拡張子がついた WMA ファイルのみ再生することができます。
- WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation の認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

MPEG-4 AAC の再生について

- AACとは「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG-2 および MPEG-4 で使用される音声圧縮技術に関する基本フォーマットです。AAC データは、作成に使用したアプリケーションによってファイル形式と拡張子が異なります。
- 本機では、iTunes®を使用してエンコードされた、拡張子が「.m4a」の AAC ファイルの再生に対応しています。故障の原因となりますので、「.m4a」以外の拡張子の付いたAACファイルを再生しないでください。iTunes は米国および他の国々で登録された Apple Computer Inc. の商標です。
- AAC ファイルにエンコードした iTunes のバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。また、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。
- 再生可能なAACファイルのサンプリング周波数は、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz です。再生可能な AAC ファイルのビットレートは、16 kbps～320 kbpsです。可変ビットレートには対応していません。
- iTunes MUSIC STORE で購入された楽曲は、CD-R/RWに記録して再生することはできません。
- DRM コピープロテクト（著作権保護）のかかった MPEG-4 AAC ファイルは再生できません。

JPEG の再生について

- JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式(画像フォーマット)のひとつです。
- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- 本機では、フジカラー CD、コダックピクチャー CD、または CD-R/CD-RW/CD-ROMに記録されているJPEGファイルを再生することができます(記録方法などによって再生できないこともあります)。

- 総ピクセル数が3072×2048ピクセル以下のベースラインJPEGファイル、およびExif 2.2*4（104ページ参照）に準拠したJPEGファイルの静止画再生に対応しています。
- 「.jpg」、または「.JPG」という拡張子がついたJPEGファイルの静止画像を表示することができます。
- プログレッシブJPEGには対応していません。
- ファイルサイズが大きいファイルは画像の再生に時間がかかることがあります。

*4 *デジタルスチルカメラ用画像ファイルフォーマット規格(Exif)Ver2.2、JEIDA-49-1998 (社)電子情報技術産業協会 JEITA*

DivXの再生について

- 本機はDivX® Certified製品です。
- DivXはDivX, Inc.が開発したメディア技術です。DivXのメディアファイルには圧縮された画像データが含まれます。また、DivXファイルはメニューや複数の字幕、音声の切り替えといった高度な再生機能をつけることも可能です。
- 本機ではDVD-R/DVD-RW/CD-R/CD-RW/CD-ROMディスクに記録されたDivXファイルを再生することができます。
- DivXファイルはDVDビデオのようにファイルを「タイトル」と呼びます。DivXファイルはタイトルのアルファベット順に再生されますので、ディスクに記録する際はタイトル名のつけ方にご注意ください。
- 標準のDivX®メディアファイル再生機能が付いたDivX®ビデオを再生（DivX® 6も含むすべてのバージョンに対応）することができます。
- 「.avi」または「.divx」という拡張子がついたDivXファイルのみ再生することができます。また本機では、「.avi」という拡張子はMPEG4として認識しますが、MPEG4の中でもDivXファイルでない場合があります。その場合は本機では再生することができませんのでご注意ください。
- DivX、DivX Certified、および関連するロゴはDivX, Inc.の商標です。これらの商標は、DivX, Inc.の使用許諾を得て使用しています。

注 意

◆ レコーダー、またはパソコンで記録したDVD-R/DVD-RWディスク、CD-R/CD-RWディスクを再生できないことがあります（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など）。

◆ パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください）。

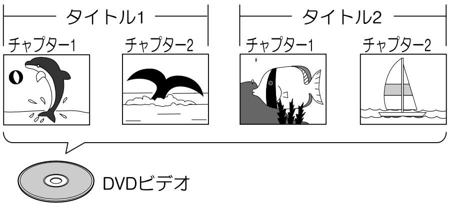
◆ パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。

◆ ファイナライズしていないDVD-R/DVD-RW/CD-R/CD-RWディスクを再生することはできません。

◆ 詳しいCD-R/CD-RWディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意をご覧ください。

タイトルとチャプターについて

DVDではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています（DVDビデオにはメニュー映像が記録されているソフトがありますが、このメニュー映像はどのタイトルにも属していません）。
DVDビデオの映画ソフトなどでは、ふつう1つの映画が1つのタイトルに対応し、複数のチャプターで構成されています。また、カラオケソフトのように1曲が1タイトルとなっているディスクもありますし、このような区切りになっていないディスクもあります。



トラックについて

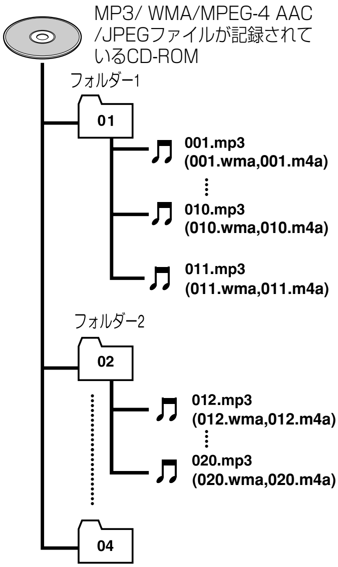
CDやビデオCDでは、ディスクをトラックという単位で分けています（一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。またさらに、トラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります）。

ビデオCD/CDのトラックについて

- ディスクをトラックという単位で分けています。一般的には1曲が1つのトラックに対応しています。また、さらにトラックがインデックスという単位で分けられているディスクもあります。

WMA/MP3/MPEG-4 AAC /JPEGについて

WMA/MP3/MPEG-4 AACのフォルダー/トラックの名前や、JPEGのフォルダー/ファイルの名前を表示することができます(半角英数字で入力された文字のみ)。半角英数字以外で入力されているフォルダー/トラック/ファイルの名前は[F_001]/[T_001]/[FL_001]のように表示されることがあります。



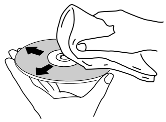
DVD/CDディスクの取り扱いかた

保管

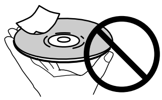
- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

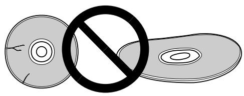
ディスクの取り扱い

- ディスクに指紋やホコリが付くと、再生ができなくなることがあります。このようなときは、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。



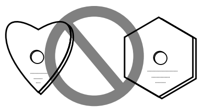
- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。
- ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生ができなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
- ディスクを2枚重ねて再生しないでください。





特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形など）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

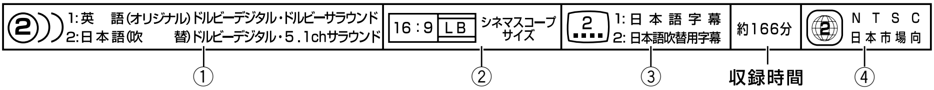


レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやホコリがたまると、音飛びしたり画像が乱れたりすることがあります。このような場合は、**「保証とアフターサービス」**（115ページ参照）をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクを使用するとレンズを破損する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

DVDビデオのディスクレーベルやディスクジャケットにはいろいろなマークが表記されています。これらのマークの意味を知っておくと、そのディスクがどのように記録されているかを読みとることができます。また、そのマークによって、本機で再生中に利用できる機能も異なります。
ここでは、DVD ビデオのディスクジャケットに表記されているおもなマークをご紹介します。

DVD ビデオ(DVD-VIDEO)のディスクジャケットの例



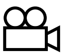
① ディスクに記録されている**音声の数と種類・音声トラック方式**を示しています(音声の切り換えは、50 ページをご覧ください)。

② 再生可能な**テレビ画面サイズや見えかた**を示しています。このディスクの場合、16：9の画面サイズの映像の左右が圧縮されて記録されており、テレビの種類に合わせて本機の設定を合わせておくと、シネマスコープサイズの映像を楽しむことができます(85 ページ参照)。

③ ディスクに記録されている字幕の数と言語などの種類を示しています(字幕の切り換えは、49 ページをご覧ください)。
DVD ビデオでは最大 32 種類の字幕を記録することができます。

④ ディスクの**地域番号(リージョンナンバー)**です。
DVDプレーヤーとDVDビデオディスクには、発売地域ごとに地域番号(リージョンナンバー)が設定されています。再生するディスクに記載された地域番号がプレーヤーに設定された番号を含まない場合、そのディスクを再生することはできません。本機（日本向け）の再生可能地域番号は２番で、ディスクに記載された地域番号が２番を含むか**「ALL」**となっている場合に再生が可能です。

その他のマーク


舞台中継やスポーツ中継などでは、複数台のカメラで撮影している場合がほとんどです。DVDビデオでは、最大９つのカメラアングルで撮影された映像を同時に収録することができます。このマークが付いたDVDビデオでは、同一場面を複数のアングルから見て楽しむことができます(50 ページ参照)。

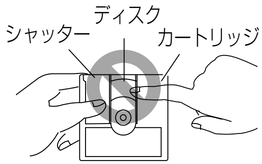
メ モ

▼ **DVD-Video** の音声タイプは、「ドルビーデジタル」、「DTS」、「リニアPCM」の３つが現在主流となっています。（103 ～ 105 ページの用語解説を参照）

MDの取り扱いかた

⚠ 注意

・ディスクに直接触れないでください。
・シャッターを無理に開けると壊れます。
・分解しないでください。



右記マークのディスクをお使いください。

MD とは

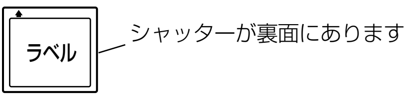
- 直径64 mmのディスクをカートリッジに収めたもので、ホコリに強く、キズも付きにくいなど CD に比べ取り扱いが簡単です。
- 録音や再生はデジタル方式ですので、CD に迫る高音質を再現します。また、テープのようにからんだり、伸びたりすることがなく、音質も劣化せず耐久性に優れています。

MD の種類について

再生専用と録音・再生用があります。

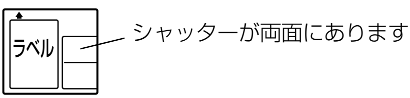
■再生専用 MD（録音はできません）

CD と同じ光ディスクを使っています。



■録音・再生用 MD

光磁気ディスクを使っているので、繰り返し録音することができます。



保管

- ケースに入れて保管してください。
- 次のようなところには保管しないでください。
  －高温多湿の場所
  －直射日光が当たる場所
  －砂やホコリの入りやすい場所

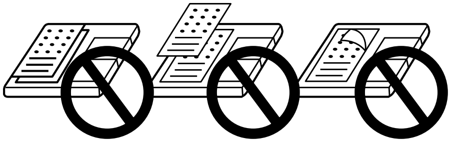
カートリッジのお手入れ

乾いた布でホコリや汚れを軽く拭き取ってください。

ラベルの貼り付けについて

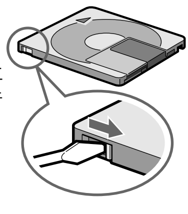
以下のことをお守りください。正しく貼られていない場合、MDが取り出せなくなります。

- 指定の場所(エリア内)に貼ってください。
- 重ねて貼り付けないでください。
- ラベルが浮いたり、めくれたりしたら新しいラベルに貼り替えてください。

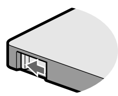


録音した MD を誤消去しないために

側面にある誤消去防止つまみを開けると録音できなくなります。



再び録音や編集をしたいときは、つまみを閉じます。



TOC(トック)が記録されています

曲や音声と共に、曲番号·曲名や録音場所など、曲を認識するための情報として（TOC:Table of Contents）が記録されています。
したがって、再生や編集をするときには、曲番号・曲名や録音場所など、曲を認識するための情報としてTOCを手がかりに動作しています。ですからMDで曲の録音をしたり編集作業をした場合は、TOC 情報もディスクに記録しますし、TOC 情報を書き換えたりもしています。

MD 録音とテープ録音の違い

- MD は片面だけの録音です。
- 録音できる場所を自動的に探して録音します。
- 録音の前に録音できる残り時間が確認できます。

TOC を記録するときの注意

TOCの記録中に電源コードを抜いたり、本体に衝撃を与えないでください。TOCが正しく記録されず、正しく再生できない場合があります。
- TOC 記録中は、以下の表示をします。

TOC Write

TOC はいつ MD に記録される？

- **MD▲ ボタン**を押したとき
- 電源を切ってスタンバイ状態になるとき
- 録音を停止したとき

録音や編集中に停電すると

MD への録音中に、電源スイッチを切ったり電源コンセントが抜けたり停電があった場合は、その時の録音や編集内容はすべて消えてしまうことがあります。
すでに録音や編集をしているMDに、追加して録音や編集をしていた場合は、追加していた部分が消えてしまいます。

MD に録音できない場合

- 再生専用MD（市販の音楽ソフト）に録音しようとしたとき
- MD が誤消去防止状態になっているとき
- MD の録音可能時間が残っていないとき
- “Disc Full” または “Toc Full” が表示されたとき
- TOC が異常のとき

LP2、LP4 録音について

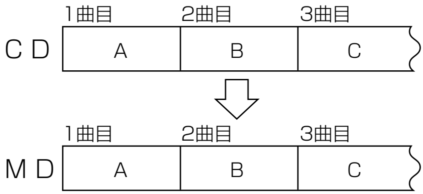
本機でLP2、LP4モードで録音した曲は、MDLP対応機器以外では再生できません。
LP4 モードでの録音は、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を可能にしているので、ごくまれに雑音が録音される可能性があります。
音質を重視する録音をする場合は、通常のステレオ録音か、LP2モードでの録音をお勧めします。

曲番号について

MD に曲や音声を録音すると、自動的に曲番号がつけられます。追加録音したときは、順に曲番号が大きくなります。

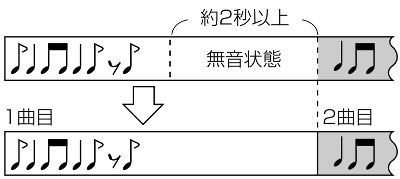
CD をデジタル録音したとき

CDなどについている曲番号と同じ所に、1曲ごとの曲番号が自動的につきます。ただし４秒以下の曲がある場合などは、CDの曲番号と録音したMDの曲番号が一致しないことがあります。



アナログ録音のとき

２秒以上の無音部分があると曲間と判断し、次に音が入力されたときに、曲番号が自動的につきます（オートマーク機能)。



- 信号に雑音があるときなど、録音する内容によっては、正しい位置に曲番号がつかないこともあります。

アナログ録音したMDからデジタル録音したとき

MDなどについている曲番号と同じところに1曲ごとの曲番号が自動的につきます。ただし、2秒以下の曲があるときなどは、録音もとのMDと録音したMDの曲番号が一致しないことがあります。

デジタルコピーに関するご注意

デジタルオーディオ（CD、MD、CD-R、衛星デジタル音楽放送など）では、音声信号をデジタル信号でやり取りすることができます。
アナログ信号と違いデジタル信号でのやり取りでは、音楽を劣化の少ない状態で録音することが可能なために、音楽ソフトの著作権を保護するコピー規制が必要となりました。
それが、シリアルコピーマネージメントシステム(Serial Copy Management System)で、デジタル信号による録音を「何世代まで」と規制している方式です。概要は、以下のとおりです。

1 **デジタル録音されたものを、さらに別のデジタル録音機器（MDやCD-R）へデジタル録音することはできない。**

2 **アナログ録音されたものは、別のデジタル録音機器（MDやCD-R）へ1度だけデジタル録音することができる。**

CD(CD-R/CD-RW)のアナログ録音とデジタル録音を切り換える

CD(CD-R/CD-RW)からMDへ録音する場合、デジタル録音とアナログ録音とを切り換えることができます。たとえば、CD-Rからの録音で **“Can' t COPY”** と表示が出て録音できない場合は、アナログ録音に切り換えてから録音します。

1. **CD(CD-R/CD-RW)をセットします**

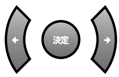
CD(CD-R/CD-RW)以外のディスクをセットすると、アナログ録音固定となり操作することできません。

2. 

CDが再生中のときは、■ボタンを押します

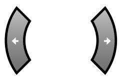
3. 

MDメニュー/設定ボタンを押します

4. 

⇦ ⇨で“Input Sel.”を選んで、決定ボタンを押します

Input Sel.

5. 

⇦ ⇨を押して、デジタルかアナログかを選びます

- デジタル録音（お買い上げ時）

Digital

- アナログ録音

Analog

6. 

決定ボタンを押します

アナログ録音に設定すると、表示窓から[DIGITAL]が消灯します。

MD のシステム上の制約

MD は従来のカセットテープや DAT とは異なる方式で録音されます。そのため、録音方法や編集のしかたによって、次のような症状が出ることがあります。
これらは、システム上の制約によるものですので、故障ではありません。

症状	システム上の制約
MD の最大録音時間になっていないのに "Disc Full"(ディスク フル) が表示されることがある。	MD では、TOC に MD 上の録音場所の区切りが登録されます。何度も部分的に消去して録音したり、編集をくり返したりすると、曲数が最大（255曲）になっていなくても、TOC(トック)の情報がいっぱいになるので、録音できなくなります。 （このような MD は、不要なトラックを消去するか全曲イレース機能を行えば、使用できます。） ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音できなくなるため録音時間が少なくなります。
短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある。	録音残り時間を表示するとき、12 秒以下（通常のステレオ録音で録音時）の短い曲などは曲として数えられないことがあるためです。
MD に録音した時間と録音の残り時間の合計が最大録音時間と一致しないことがある。	通常は、1 クラスタ(通常のステレオ録音で約2秒）を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約2秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。また、MD にキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。
残り再生時間や総再生時間が、実際の再生時間と一致しないことがある。	計算処理の制約により、誤差が生じる場合があります。
編集で曲と曲とをつなげないことがある。	録音・編集をくり返して行ったMDでは、コンバイン機能を使えないことがあります。
録音された曲を早戻し／早送りすると、音がとぎれることがある。	録音・編集をくり返して行ったMDでは、早戻し／早送り中に音がとぎれることがあります。
総入力文字数が1700文字以下になることがある。	文字編集をくり返していると、入力文字が最大数に達する前に "Name Full" と表示されることがあります。

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。従来サイズのテレビでは4：3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16:9の比率となっています。臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

インターレース(飛び越し走査)
映像の1画面を半分ずつ2回に分けて描きます。最初に奇数番目の走査線を描き、目の残像を利用して、次に偶数番目の走査線を描いて1画面(フレーム)を表示します。従来のテレビの走査方式として採用されています。通常、解像度の数字の後ろに「i」を付けて(525iなど)表記します。

映像出力(コンポジット)
輝度信号(Y)と色信号(C)を混合して1本のコードで伝送できるようにした信号です。ただし、入力機器側で混合された輝度信号(Y)と色信号(C)を分離しなければなりません。この輝度信号(Y)と色信号(C)を分離するときの精度で画質の良さが決まります。

視聴制限
暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限のレベル（大小）が設けられたものがあります。ディスクのレベルよりも小さいレベルに本機の視聴制限レベルを設定すると、暗証番号を入力しない限り再生ができなくなります。

ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。ダイナミックレンジは、デシベル（dB）単位で測定されます。
ダイナミックレンジを圧縮する（オーディオDRC）と、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。

ドルビーデジタル *[1]
DVDの標準音声タイプのことです。モノラルやステレオで記録されているソフトもあれば、現在最も主流となっている5.1 ch サラウンドで記録されているソフトもあります。
ドルビーデジタル（5.1 ch サラウンド）で記録されているソフトとは、5つのチャンネルの個別にそれぞれのシーンに合った音声が記録されていて、サブウーファーから出力される低音も記録されているソフトのことをいいます。

*[1] *ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。*

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオCD(バージョン2.0)に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクの再生が楽しめます。また、高/標準解像度の静止画も楽しむことができます。

プログレッシブ(順次走査)
映像の1画面を2回に分けずに1画面ずつ描きます。特に静止画の文字やグラフィックス、横線などの多い画像で、チラツキを抑えた美しい画像を楽しめます。通常、解像度の数字の後ろに「p」を付けて(525p など)表記します。

マルチアングル
通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影した映像の1つを番組ディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っていますので、視聴者側で視点(カメラ)を選ぶことはできません。
DVDビデオには同時に複数のカメラで撮影したすべての映像が記録されているものがあり、プレーヤー側で自由に選ぶことができます。
DVDビデオではアングルを最大9つまで記録することができます。

マルチ音声言語
DVDの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を持っているものがあります。DVDでは音声を最大8言語(8ストリーム)まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチ字幕言語(サブタイトル)
映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDでは字幕の言語を最大32カ国語まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチセッション

CD-R や CD-RW にデータを記録するとき、その記録の始めから記録の終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1 枚のディスクに 2 つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

マルチボーダー

DVD-R や DVD-RW にデータを記録するとき、その記録の始めから記録の終わりまでをひとまとめにした単位をボーダーといいます。マルチボーダーとは、1 枚の DVD-R/RW ディスクに 2 つ以上のボーダーデータを記録する方法のことです。

リージョン No.

DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに地域番号(リージョン No.)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョンNo.は「2」です(本体後面部に表記されています)。

リニア PCM

音声の圧縮を行わない方式です。ミュージカルや音楽コンサートなどを収録した DVD ビデオの場合によく使われます。48 kHz/16 bit、96 kHz などの表示があることもあります。

D 端子

デジタル放送に対応したテレビなどの機器に装備されている映像信号(Y、C_B/P_B、C_R/P_R)と映像信号のフォーマットを識別する制御信号を 1 つのコネクタで接続する端子です。

DivX

DivX は DivX, Inc. が開発したメディア技術です。DivXのメディアファイルには圧縮された画像データが含まれます。また、DivXファイルはメニューや複数の字幕、音声の切り替えといった高度な再生機能をつけることも可能です。

DRM コピープロテクト

DRM（Digital Rights Management）コピープロテクトは著作権保護のための技術で、無許可の複製を防止するため録音時に使用したPCなどの機器以外での再生を制限するなどの機能です。詳しくは、録音に使用した機器・アプリケーションの取扱説明書やヘルプなどをご覧ください。

DTS[*2] 2.0 CHANNEL

DTS とはデジタルシアターシステム（Digital Theater Systems）の略で、5.1chのデジタル・サラウンド録音再生方式です。これは最新のサラウンド方式で、DVDビデオのオプション音声タイプとして認められています。

**2 "DTS"、及び "DTS 2.0" は米国 Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。米国Digital Theater Systems, Inc. の実施権に基づき製造されています。*

DVD ビデオフォーマット記録

、または マークの付いている市販の DVD ビデオディスクと同じ方式(フォーマット)でDVD-R/DVD-RWディスクに一筆書きのように記録することをいいます。

パイオニアの DVD レコーダーではこれをビデオモード記録といいます。ビデオモードには、高画質で録画するモードと、長時間で録画するモードがあります。

Exif

Exchangeable Image File Formatの略でエグジフと読みます。富士写真フイルムが開発したデジタルスチルーカメラ用のファイルフォーマットです(JEIDA規格)。撮影日などの撮影や画像に関する情報とサムネイル画像が収録できるように拡張されているファイルフォーマットです。

GUI

Graphical User Interfaceの略です。画面にメニューを表示し、それを操作することでより使いやすい環境を提供します。

JPEG

JPEG とは、ITU-TS(国際電気通信連合: 旧 CCITT)と ISO(国際標準化機構)で定められた、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式(画像フォーマット)のひとつです。JPEG 形式の画像ファイルには「.jpg」という拡張子が付きます。デジタルカメラで撮った写真などもほとんど JPEG 形式で保存されています。

MP3

MP3とは、MPEG1 オーディオレイヤー 3 という圧縮方法で圧縮した音楽データです。「.mp3」または「.MP3」という拡張子の付いたファイルを MP3 ファイルと呼びます。拡張子とは、OS やアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表す文字符号です。ピリオドと3文字のアルファベットで構成されています。

MPEG

Moving Picture Experts Group の略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。
DVDの映像やビデオCDの映像/音声は、この方式で記録されています。DVDの中には、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。

MPEG-4 AAC

AACとは「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG-2およびMPEG-4で使用される音声圧縮技術に関する基本フォーマットです。
AACデータは、作成に使用したアプリケーションによってファイル形式と拡張子が異なります。本機では、iTunes® を使用してエンコードされた、拡張子が「.m4a」のAACファイルの再生に対応しています。ただし、DRMコピープロテクト（著作権保護）のかかったファイルやエンコードするiTunesのバージョンによっては再生できないことがあります。
iTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Computer, Inc.の商標です。

S1 映像出力

S1とは映像のアスペクト比(4:3、16:9)の識別信号の入ったS映像信号です。

S2 映像出力

S1に加え画像信号形態(レターボックス、パンスキャン)の識別信号の入ったS映像信号です。S2対応のワイドテレビでは、適切な映像モードに自動的に切り換わります。

VRモード(ビデオレコーディングフォーマット)記録

映像、および音声信号をDVDレコーダーでDVD-R/RWディスクの不特定な位置に即時書き込み*することをいいます。(*即時書き込み＝パソコンでは、入力されたデータをすぐにハードディスク(リムーバブルメディア)に書き込まず、一度メモリーに記憶します。そのあと、CPU(OS)が順番を整理してハードディスクに書き込みます。これに対して、データが入力された順にハードディスクに書き込んでいくことを即時書き込みといいます。)
パイオニアのDVDレコーダーではこれをVRモード記録といいます。VRモードには、標準な画質で録画するモードと画質、および録画時間を自由に設定して録画するモードがあります。

WMA

「Windows Media® Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media® Player Ver.7、7.1、またはWindows Media Player for Windows® XP、またはWindows Media® Player 9 Seriesを使用してエンコードすることができます。
Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
WMAファイルは、米国Microsoft Corporationより認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

3/2.1CH

3/2.1はディスクに記録されているチャンネル数を表しています。

例）5.1CHの場合

- フロントチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- センターチャンネル[(1CH)]
- サラウンドチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- LFE *1チャンネル[1CH×0.1 *2＝0.1CH]

*1 重低音強調効果の意
*2 音声全体に対して低音が占める割合

テレビ画面には下記のように表示されます。



13 その他

故障かな?と思ったら

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビなどもあわせてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

症状	原因 / 対策	参照ページ
すべてに共通		
音が出ない。	• 電源コードが外れています。電源コードを正しく接続してください。 • すべてのコードが完全に接続されていません。「本機の接続を行う」を参照して、正しく接続してください。 • スピーカーコードがショート（接触）していませんか？スピーカーコードの芯線をしっかりとねじり、もう一度スピーカー端子に接続し直してください。 • ミューティング状態になっていませんか？リモコンの**消音ボタン**を押してください。 • 音量がゼロになっていませんか？音量を調整してください。 • ディスクが汚れていませんか？ディスクをクリーニングしてください。 • 一時停止、コマ送り、またはスローなどの再生をしていませんか？ • ヘッドホンが挿入されていませんか?ヘッドホンを抜いてください。 • 2 倍速録音をしていませんか？	13 9-14 13 19 17,19 97 26-27,30 16
音量を調節しても音がなかなか小さくまたは大きくならない。	• ボリューム設定が“Fine”になっています。ボリューム設定を“Normal”にしてください。	91
スピーカーからノイズが出る。	• 本機の近くで携帯電話を使用すると、ノイズが出ることがあります。本機から離れてご使用ください。	
設定した内容が消えてしまった。	• 本機の電源が入っているとき、強制的に電源コードを抜く、または停電などが起きると、設定した内容が消えてしまうことがあります。電源コードは、必ず**⏻電源ボタン**を押して、表示窓の“See you!”表示が消えてから抜いてください。特に他機器のACアウトレットに電源コードを接続しているときはご注意ください。接続している機器の電源と連動して本機の電源が切れます。電源コードは、なるべく壁などのコンセントに接続することをお勧めします。	
本体の操作ボタンを押しても動作しない。	• キーロック機能が、オンに設定されていませんか？キーロック機能をオフに設定してください。 • 録音中のため、動作に制約がある状態になっていませんか？録音が終了するまでお待ちください。	92
DVD/CD 関係		
画面が止まり、本体やリモコンのボタン操作を受け付けなくなってしまった。	• ■ **ボタン**を押してから、もう一度再生してください。	

症状	原因 / 対策	参照ページ
スピーカーから音が出ない。	• ディスクが汚れていませんか？ • 一時停止、コマ送り、またはスローなどの再生をしていませんか？	26-27
ディスクテーブルを閉めても出てきたり、再生ができない。	• ディスクが極端に汚れていませんか?ディスクをクリーニングしてください。 • ディスクはディスクテーブルに正しくセットされていますか？ディスクを正しくセットしてください。 • リージョンNO.は一致していますか？リージョン「2」か「ALL」のディスクを使用してください。リージョンNO.の違うDVDディスクを再生させると「本機とディスクのリージョンNO.（地域番号）が違うので再生できません」とテレビ画面に表示されます。 • ディスクを表裏逆に入れていませんか?ディスクを正しくセットしてください。	97 23 98,104 23
映像が映らない。	• プログレッシブ入力に対応していないテレビとD映像接続しているときに**[プログレッシブ]**を選択すると映像が正常に出力されません。映像が何も表示されなくなった場合は付属のビデオコードで接続してから、映像出力方式を**[プログレッシブ]**から**[インターレース]**に変更してください。 • ビデオコードは十分差し込まれていますか？しっかりと差し込んでください。 • 接続しているビデオコードが断線していませんか？ビデオコードを変えて接続してみてください。	86
DVDの音声や字幕が切り換わらない。	• ディスクには複数の字幕や音声が記録されていますか？DVDディスクのジャケットを確認してください。 • リモコンの**音声ボタン**や**字幕ボタン**で切り換わらないDVDディスクがあります。そのときは、DVDのメニュー画面で切り換えてください。	98 87
画面が縦または横に伸びる、またはアスペクトが切り換わらない。	• テレビ画面とのアスペクト比の設定は合っていますか？テレビ画面のアスペクト比の設定をしてください。	85
DVD再生中に画像が乱れる、または暗い。	• 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っています。そのようなディスクを再生したとき、画像の一部に横縞が入るなどの症状が出るものもありますが、故障ではありません。	
DVD映像をVTRに録画したり、VTRを通して再生すると再生画面が乱れる。	• 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っています。そのようなディスクをVTRを通して、またはVTRに録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません。	11

症状	原因 / 対策	参照ページ
本機をビデオ内蔵テレビに接続してDVDを再生すると映像が乱れる。	• ビデオ内蔵テレビの機種によっては、コピーガードの働きにより正常に再生されないことがあります。詳しくは、お使いのテレビメーカーにお問い合わせください。	
DVDとCDで音量差を感じる。	• これはディスクの記録方式の違いによるものです。故障ではありません。	
MD関係		
録音ができない。	• MDが誤消去防止状態になっていませんか？誤消去防止ツマミを閉じてください。 • 再生専用MD（市販の音楽ソフト）に録音しようとしていませんか。新しい録音用MDと交換してください。 • Disc Fullになっています。不要な曲を消去するか、新しい録音用MDと交換してください。	**99** **100**
2倍速録音ができない。	• アナログ録音設定になっていませんか？デジタル録音設定に切り換えてください。	**101**
モノラルで録音されてしまう。	• モノラル長時間モードになっていませんか？長時間録音モードを通常のステレオ録音にしてください。	**34**
MDを入れても“No Disc”や“Error”が表示される。	• ディスクにキズが付いていませんか？新しいMDに交換してください。	
再生音がとぎれる。	• 振動の多い不安定な場所で使用していませんか？平らな安定した場所に移し変えてください。 • 結露現象が起きていませんか？ 1時間ほど放置してから使用してください。	**113** **114**
CDをデジタル録音したときに音が歪む。	• 録音レベルが大きすぎます。デジタル録音レベルを小さくしてください。	**57**
CDをデジタル録音したときに音が小さい。	• 録音レベルが小さすぎます。デジタル録音レベルを大きくしてください。	**57**
グループ機能が使えない。	• グループディスクと認識されていません。または、グループ機能がない機器でディスク名を変更しませんでしたか？ディスク名を消去してグループを登録し直してください。	**68**
本機でMDLP録音したMDが他の機器で再生できない。	• 再生しようとしていた機器が、MDLPに対応していますか？ MDLPで録音したMDは、MDLP対応機器で再生してください。	

症状	原因 / 対策	参照ページ
2 つの曲をつなぐこと（コンバイン)ができない。	• デジタルとアナログで録音された曲をつなごうとしていませんか？デジタル（アナログ）で録音された曲はデジタル（アナログ）録音された曲どうしでつないでください。 • MDLP で、違う録音モードで録音した曲どうしをつなごうとしていませんか？MDLPの同じ録音モードで録音した曲どうしをつないでください。	34
USB 関係		
USB マスストレージ機器を認識しない。	• 一度電源を切ってから、再度電源を入れてみてください。 • USB メモリーは正しく接続されていますか？ USB 端子に正しく挿入してください。 • USB メモリーのフォーマットは FAT16、FAT32 に対応していますか？フォーマットをご確認ください。 • USB ハブには対応しておりません。	29
USBメモリー再生中に正しい表示を行わない。	• USBメモリーのファイル名に日本語が含まれていませんか？日本語の表示には対応していません。 • USBメモリーのデータにセキュリティが施されていませんか？暗号化やパスワードでの保護がされていないかご確認ください。	29
USBメモリーのファイルを再生することができない。	• ファイルにDRMコピープロテクト（著作権保護）がかかっていませんか？DRMコピープロテクト（著作権保護）のかかったWMA や MPEG-4 AACのファイルは再生することができません。パソコンなどで CD などの音楽データを取り込む場合、設定によっては著作権保護がかかることがあります。	94-96
放送関係		
放送が聞こえない、聞こえにくい。	• アンテナが接続されていますか？アンテナを正しく接続してください。 • アンテナの向き、位置が悪くなっていませんか？アンテナの向きや位置を調整してください。 • 電気器具（蛍光灯、ドライヤーなど）を使用していませんか？雑音を発生させる機器の使用をやめてください。	10, 12, 14 12
FM 放送がステレオなのにステレオにならない。	• 表示部の[O]（モノラルインジケーター）が点灯していませんか？FM放送の受信設定を “Auto” にして、[O] を消灯してください。	35
その他		
タイマーが作動しない。	• 現在時刻の設定がされていますか？現在時刻を設定してください。	22

症状	原因 / 対策	参照ページ
外部機器として接続した録音機器などから音が出ない。	• 本機の音声出力端子、または接続した録音機器などの音声入力端子に音声ケーブルが正しく差し込まれていますか？または、外れていませんか？ • オーディオコード(赤/白)のプラグや本機の音声出力端子、または接続した録音機器などの音声入力端子が汚れていたら拭いてください。 • 接続した録音機器などの音量が最小になっていませんか？	**93** **93**
リモコンが効かない。	• リモコンの電池がなくなっています。新しい電池にかえてください。 • 電池のプラスとマイナスの向きを間違えてリモコンに入れていませんか？正しく入れてください。 • 蛍光灯がリモコン受光部の近くにあります。蛍光灯をリモコン受光部から離してください。	**6** **6** **17**
電源が入らない、または電源が突然オフになった。（再び電源を入れたときにエラーメッセージが表示される場合があります）	• 電源コードを抜かずに、1 分後に再び ⏻ **電源ボタン**を押して電源を入れてみてください。 • スピーカーコードがショート（接触）していませんか？スピーカーコードの芯線をしっかりとねじり、もう一度スピーカー端子に接続し直してください。 • 本体の周りに十分なスペースが空いていますか？風通しが良くなるように設置を変えてみてください。 • 音量を下げて使用してみてください。 • 上記を行っても症状が改善されないときは、最寄りの弊社サービスステーションに連絡してください。	**13**
テレビなどが誤動作する。	• ワイヤレスリモコン機能を持つテレビが、本機のリモコン信号により誤動作することがあります。本機と離して設置してご使用ください。	
タイマーインジケーターが点滅して電源が入らず、何の操作もできない。	• タイマーインジケーターが点滅しているときは、お近くのサービスステーションに連絡してください。	

• 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

設定した内容を、お買い上げ時の状態に戻す(初期化)

1.



⏻STANDBY/ON ボタンを押して、電源をオフにします

あらかじめディスクは取り出しておきます。

2.



本体の■ボタンを8秒間押し続けます

以下のように表示されます。



3.



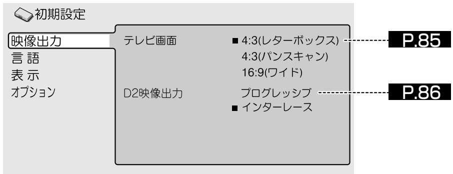
本体の DVD/CD►/II ボタンを押します。自動的に電源がオンになり、設定した内容がすべてお買い上げ時の状態に戻ります

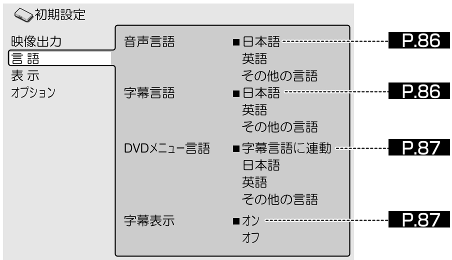
注 意

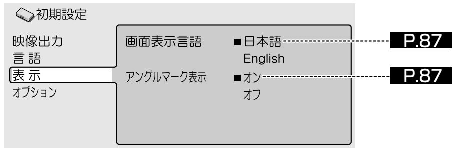
- ◆ 初期化すると、記憶していたすべてのメモリーが同時に消去されます。初期化するときは十分にご注意ください。
- ◆ HCMS により管理されている禁止残り時間(33 ページ参照)は初期化されません。

DVD の初期設定一覧

初期設定









視聴制限のお買い上げ時の設定は、暗証番号未設定、レベル変更オフ、国 / 地区コードは日本の設定となっています。

本機では、画面表示に NEC のフォント「Font Avenue」を使用しています。
Font Avenue は NEC の登録商標です。

13

その他

こんな表示が出たときは

下の項目をチェックしても直らないとき、下記以外の表示が出たときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

症状	意味	このようにしてください
Blank Disc	音楽が何も記録されていない。	再生する時は、録音されたMDと取りかえる。
Can' t COPY Can' t REC	ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった。 CD-Rなど録音禁止処理されているCDをMDに録音しようとした。	録音をやり直すか、MDを交換する。 録音禁止処理されていないCDに取りかえる。
Can' t Edit	編集できない。	もう一度、操作した項目の注意文やメモなどを見直す。
MD No Disc	MDが入っていない。 MDのデータが読めない。	MDを入れる。 MDをもう一度入れ直す。
Disc Full	MDに録音できる空きがない。	他の録音用MDと取りかえる。
Name Full	ディスク、曲名、グループ名の合計が約1700文字を超えている。 ディスク、曲名または、グループ名が100文字を超えている。	ディスク名／曲名／グループ名を短くする。 ディスク名／曲名／グループ名を短くする。
Premasterd	再生専用MDに録音や編集をしようとした。	録音用MDと取りかえる。
Protected	MDが誤消去防止状態になっている。	誤消去防止状態をもとに戻す。
? Disc TOC Error ＊ U TOC ERR ＊	MDにキズがついている。 記憶されているTOC情報がMDの規格に合ってなかったり読めない。	MDをもう一度入れ直す。 他のMDと取りかえる。または、オールイレースをしてから録音をやり直す。
Mecha Error TRK. Protect	MDが正しく働いていない。 該当するトラックにライトプロテクトがかかっている。	電源を切ってから再度電源を入れる。 MDを取りかえる。
Key Lock	キーロック機能が設定されているときは、本機のボタン操作ができない。	キーロック機能を解除する。（92ページ参照）
Tray Lock	ディスクテーブルがロックされている。	**DVD/CD▲ボタン**を8秒押して“Lock Off”を表示させる。
USB ERR	USBメモリーの消費電力が大きすぎて電力が供給できない。	29～30ページの「注意」のすべての項目を確認、実行する。
EEP ERR	故障の可能性がある。	お買上げの販売店またはお近くのサービスステーションにお問合わせください。

＊に文字が入る場合があります。

その他 13 使用上のご注意

注 意

この製品はJIS C 6802規格の基で評価されたクラス1レーザ製品ですが、内部にはクラス1のレベルを超える危険なレーザ放射があります。
分解や改造などは絶対に行わないでください。

クラス1
レーザ製品

危険なレーザ放射に接する恐れのある部分には、以下の注意文表示があります。

注意　ここを開くと CLASS 3B の可視レーザ光及び不可視レーザ光が出ます。ビームを直接見たり、触れたりしないこと。
ARW7316–A

D3-7-12-5-5_Ja

設置する場所

- 組み合わせて使用するテレビやステレオシステムの近くの安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

次のような場所は避けてください

- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ホコリの多い所
- 油煙、蒸気、熱があたる所（台所など）

上に物をのせない

本機の上に物をのせないでください。

熱を受けないように

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

本機を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

本機を移動する場合

本機を移動する場合は、必ずディスクとMDを取り出し、ディスクテーブルを閉じてください。さらに 本体の⏻**STANDBY/ONボタン**(またはリモコンの⏻ **電源ボタン**) を押し、表示窓の **"See you!"** 表示が消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

製品のお手入れについて

- 本体は通常、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

結露について

- 冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部やレンズ)に水滴が付きます(結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて１～2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。
  夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露が起こることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



保証とアフターサービス

保証書（別添）について

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から１年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後８年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買い上げの販売店へご依頼ください。また、ご転居されたりご贈答品などでお買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、別添の修理受付センターにご相談ください。
所在地、電話番号は裏表紙の「ご相談窓口のご案内・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるとき

106 ～ 110 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：DVD/CD MD ミニコンポーネントシステム
- 型番：X-MF7DV-M/-C
- お買い上げ日
- 故障の状況（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

■ 保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

■ 保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ お願い：

修理のために本機をお持ち込みいただく際は、部分的な故障と思われる場合でもシステム全体での動作確認が必要となるため、全機器をお持ち込み願います。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（例えば飲食店等での営業用の長時間使用、車輌、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

愛情点検

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。
こんな症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードにさけめやひび割れがある。
- 電気が入ったり切れたりする。
- 本体から異常な音、熱、臭いがする。

⇩

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、故障や事故防止のため電気店またはお近くのパイオニアサービスステーションに点検(有料)をご依頼ください。

DVD/MD RECEIVER部

アンプ部

実用最大出力(JEITA 4 Ω) ..... 25 W+25 W

FMチューナー部

受信周波数
.... 76.0 MHz〜90 MHz、TV1, 2, 3 ch音声
アンテナ .... 75 Ω不平衡型

AMチューナー部

受信周波数................ 522 kHz〜1 629 kHz
アンテナ .... ループアンテナ(付属)

DVDプレイヤー部

周波数特性 (音声) .... 4 Hz〜22 kHz
(48 kHzサンプリング)

映像出力 :
出力レベル............................... 1 Vp-p(75 Ω)
出力端子 .... RCA端子

S映像出力 :
Y出力レベル............................ 1 Vp-p(75 Ω)
C出力レベル.................. 286 mVp-p(75 Ω)
出力端子 .... S端子

D1/D2映像出力 :
Y出力レベル............................ 1 Vp-p(75 Ω)
C_B/P_B、C_R/P_R出力レベル .... 0.7 Vp-p(75 Ω)
出力端子 .... D端子

ミニディスク部

記録方式 .... 磁界変調オーバーライト式
再生方式 .... 非接触光学式
サンプリング周波数 .... 44.1 kHz

電源部

電源電圧 .... AC 100 V, 50 Hz/60 Hz
消費電力(電気用品安全法) .... 33 W
待機時消費電力.................................... 0.25 W

その他

外形寸法
.... 170 mm×255 mm×305 mm
(幅)×(高さ)×(奥行)
本体質量 .... 3.8 kg

スピーカーシステム部

型式 .... バスレフ式 ブックシェルフ型
防磁設計(JEITA)
使用スピーカー
ウーファー .... 10 cm(コーン型)
ツィーター .... 2 cm(ドーム型)
公称インピーダンス .... 4 Ω
再生周波数帯域 .... 50 Hz〜25 000 Hz
最大入力.................................. 25 W(JEITA)
外形寸法
.... 142 mm × 254 mm × 252 mm
(幅)×(高さ)×(奥行)
本体質量 .... 2.9 kg

付属品

FM 簡易アンテナ 1
AM ループアンテナ 1
リモートコントロールユニット(リモコン) 1
単３形乾電池(動作確認用) 2
スピーカーコード* 2
滑り止めパッド* 8
電源コード 1
ビデオコード 1
保証書 1
取扱説明書

* スピーカー部と一緒に梱包されています。
- 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

> あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
> なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。
> お問合わせ先 :
> 社団法人 私的録音補償金管理協会
> 東京都新宿区西新宿３丁目20番２号
> 東京オペラシティタワー 11F
> 電話(03)5353 − 0336
> FAX(03)5353 − 0337

サービスステーションリスト

サービス拠点のご案内

サービス拠点への電話は、修理受付センターでお受けします。（沖縄県の方は沖縄サービスステーション）
また、認定店は不在の場合もございますので、持ち込みをご希望のお客様は修理受付センターにご確認ください。

●北海道地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆札幌サービスセンター	FAX 011-611-5694	〒064-0822	札幌市中央区北2条西20-1-3　クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX 0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町1条1丁目438-89
帯広サービス認定店	FAX 0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西5条南28丁目1-1
函館サービス認定店	FAX 0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町2-18-7

●東北地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆仙台サービスセンター	FAX 022-375-4996	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈6-10-26
山形サービス認定店	FAX 023-615-1627	〒990-0023	山形市松波1-8-17
郡山サービス認定店	FAX 024-991-7466	〒963-8861	郡山市鶴見坦1-9-25　クレールアヴェニュー伊藤第2ビル1F D号
盛岡サービスステーション	FAX 019-659-1895	〒020-0051	盛岡市下太田下川原153-1
青森サービス認定店	FAX 017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田2-16-10
八戸サービス認定店	FAX 0178-44-3351	〒031-0802	八戸市小中野4-3-34
秋田サービス認定店	FAX 018-869-7401	〒010-0802	秋田市外旭川字梶の目346-1

●東京都内

受付　月～土　9:30～18:00（日・祝・弊社休業日は除く）

世田谷サービスステーション	FAX 03-3419-4234	〒155-0032	世田谷区代沢4-25-9
墨田サービスステーション	FAX 03-3621-7610	〒130-0011	墨田区石原4-27-9　中島ICハイツ1F
城北サービスステーション	FAX 03-3550-3625	〒175-0083	板橋区徳丸4-11-4
多摩サービスステーション	FAX 042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町4-18-1　エクセル立川1 F

●関東・甲信越地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

新潟サービスステーション	FAX 025-241-1879	〒950-0913	新潟市鐙1-5-23
佐渡サービス指定店　横山電機商会	FAX 0259-63-3400	〒952-1209	佐渡市金井町千種1158-1
☆千葉サービスセンター	FAX 043-207-2555	〒263-0014	千葉市稲毛区作草部町1369-1　椎の実ハイツ1F
水戸サービス認定店	FAX 029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町307-4
つくばサービス認定店	FAX 0298-58-1369	〒305-0045	つくば市梅園2-2-6
☆埼玉サービスセンター	FAX 048-651-8030	〒331-0812	さいたま市北区宮原町1-310-1
川越サービス認定店	FAX 049-233-6581	〒350-0804	川越市下広谷1128-11
宇都宮サービス認定店	FAX 028-657-5882	〒321-0912	宇都宮市石井町3373-1
群馬サービス認定店	FAX 0270-22-1859	〒372-0801	伊勢崎市宮子町1191-17　パサージュ808伊勢崎101号
☆神奈川サービスセンター	FAX 045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎
横浜北サービス認定店	FAX 045-943-3155	〒224-0036	横浜市都筑区勝田南1-19-17
厚木サービス認定店	FAX 046-224-7724	〒243-0807	厚木市金田339-1　金田コーポフロンテア201
三宅島サービス指定店　勝見電機	FAX 04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田
松本サービス認定店	FAX 0263-48-0575	〒390-0852	松本市大字島立180-5　パイオニア松本拠点1F
長野サービス認定店	FAX 026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所1-24
甲府サービス認定店	FAX 055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田4-9-14

●中部地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆名古屋サービスセンター	FAX 052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切2-8-18
岡崎サービス認定店	FAX 0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田36-1　大和ビレッジB-1
津サービス認定店	FAX 059-213-6712	〒514-0821	津市垂水522-5
岐阜サービス認定店	FAX 058-274-5256	〒500-8356	岐阜市六条江東1-1-3
静岡サービスステーション	FAX 054-237-5691	〒422-8034	静岡市駿河区高松1-6-5
沼津サービス認定店	FAX 055-967-8455	〒410-0876	沼津市北今沢12-7
浜松サービス認定店	FAX 053-422-1401	〒435-0042	浜松市篠ヶ瀬町415　ビラモデルナ5号
金沢サービスステーション	FAX 076-269-4758	〒920-0362	金沢市古府1丁目178
富山サービス認定店	FAX 076-425-3027	〒939-8211	富山市二口町1-7-1
福井サービス認定店	FAX 0776-27-1768	〒910-0001	福井市大願寺3-5-9

●関西地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆大阪サービスセンター	FAX	06-6310-9120	〒564-0052	吹田市広芝町5-8
大阪北サービス認定店	FAX	06-6453-5666	〒531-0076	大阪市北区大淀中3-9-4
大阪南サービス認定店	FAX	0722-75-2625	〒593-8322	堺市津久野町1-8-15　ローズマンション1F
神戸サービス認定店	FAX	078-265-0832	〒651-0093	神戸市中央区二宮町1丁目10-1　ローレル三宮ノースアベニュー1F
姫路サービス認定店	FAX	0792-51-2656	〒671-0224	姫路市別所町佐土4-2
和歌山サービス認定店	FAX	0734-46-3026	〒641-0021	和歌山市和歌浦東3-1-25
京都サービス認定店	FAX	075-352-2588	〒600-8322	京都市下京区西洞院通五条東南角小柳町513-2　五条久保田ビル1F
奈良サービス認定店	FAX	0742-36-8713	〒630-8132	奈良市大森西町21-26
福知山サービス認定店	FAX	0773-24-5375	〒620-0055	福知山市篠尾新町2-74　カマハチマンション

●中国・四国地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆広島サービスセンター	FAX	082-248-9939	〒730-0041	広島市中区小町2-30　第二有楽ビル1F
岡山サービス認定店	FAX	086-244-8748	〒700-0975	岡山市今8-15-21
松江サービス認定店	FAX	0852-22-7779	〒690-0017	松江市西津田4-5-40　（有）テクピット内
福山サービス認定店	FAX	0849-31-2791	〒720-0815	福山市野上町3-12-9
鳥取サービス認定店	FAX	0857-29-1290	〒680-0061	鳥取市立川町5-240-1
徳山サービス認定店	FAX	0834-33-5759	〒745-0006	周南市花畠町3-11　森広事務所1F
高松サービスステーション	FAX	087-861-4841	〒760-0078	高松市今里町1-16-1
徳島サービス認定店	FAX	088-669-6076	〒770-8023	徳島市勝占町中須92-1　大松ジョリカ地下1階103号
高知サービス認定店	FAX	088-802-3321	〒780-0051	高知市愛宕町3-12-13　晃栄ビル1Ｆ
松山サービス認定店	FAX	089-951-6270	〒791-8067	松山市古三津5-10-35　商船ビル1Ｆ

●九州地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆福岡サービスセンター	FAX	092-412-7460	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南2-12-3
北九州サービス認定店	FAX	093-941-8354	〒802-0044	北九州市小倉北区熊本1丁目9-4　植田ビル1F
博多サービス認定店	FAX	092-461-1643	〒812-0006	福岡市博多区上牟田2-6-7
長崎サービス認定店	FAX	095-849-4606	〒852-8145	長崎市昭和1丁目12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX	096-331-3323	〒862-0918	熊本市花立5丁目14-17
大分サービス認定店	FAX	097-549-2420	〒870-0851	大分市大石町5丁目1-1
鹿児島サービスステーション	FAX	099-224-7692	〒892-0841	鹿児島市照国町3-21　第二大見ビル2Ｆ
宮崎サービス認定店	FAX	0985-27-3136	〒880-0821	宮崎市浮城町98-1

●沖縄県

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）

沖縄サービスステーション	TEL	098-879-1910	〒901-2122	浦添市勢理客4-18-1　トヨタマイカーセンター3Ｆ
	FAX	098-879-1352		

平成18年 4月現在　　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>
市外局番「0070」で始まるフリーフォン及び「0120」で始まるフリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

●家庭用オーディオ/ビジュアル商品	■0070−800−8181−22	■一般電話　03−5496−2986
■ファックス	03−3490−5718	
■インターネットホームページ	http://www.pioneer.co.jp/support/index.html ※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など	

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付センター

受付時間　月曜～金曜9:30～19:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

■電話	0120−5−81028（ゴーパイオニア）	■一般電話　03−5496−2023
■ファックス	0120−5−81029	
■インターネットホームページ	http://www.pioneer.co.jp/support/repair.html ※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります	

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話	098−879−1910
■ファックス	098−879−1352

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

■電話	0120−5−81095	■一般電話　0538−43−1161
■ファックス	0120−5−81096	

平成18年4月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.017

JIS C 61000-3-2適合品　D50-5-10-1_A_Ja

JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<06D000001>　<ARA7229-A>